この説明書は100%古紙再生紙を使用しています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/　お客様ご相談センター ● ナビダイヤル 0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます） ● 携帯電話・PHS　03-5448-3311（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください） ● FAX　0466-31-2595　受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

Printed in Japan

2-348-964-**01** (3)

SONY

2-348-964-**01**（3）

DVDレコーダー
RDZ-D5

操作編

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この「取扱説明書」と別冊の「接続・準備編」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

"XMB"（クロスメディアバー）からはじめるデジタルレコーダー生活

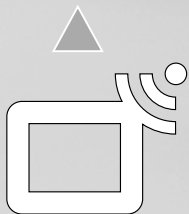
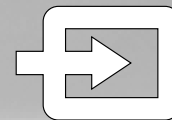
RDZ-D5は、新しい操作感を実現する"XMB"（クロスメディアバー）をホーム画面に採用しました。

まずは、（ホーム）を押してみてください。

多チャンネルデジタル放送の中からお好みの番組を選局、大容量ハードディスクドライブにたくさん録画したお気に入りのタイトルを素早く探して再生、さらには番組表、録画予約、ダビング、などの様々な機能を、視覚的･感覚的な操作で、快適にお楽しみいただけます。

基本操作とリモコン

ホームメニュー一覧

番組検索
21
地上デジタル
番組表 – データ
23
地上デジタル
番組表 – テレビ
17
地上アナログ
番組表（Gガイド）
16
番組検索
21
BSデジタル
番組表 – データ
23
BSデジタル
番組表 – ラジオ
23
BSデジタル
番組表 – テレビ
17
番組検索
21
CSデジタル
番組表 – データ
23
CSデジタル
番組表 – ラジオ
23
CSデジタル
番組表 – テレビ
17
BS
CS
地上
BS
CS
外部入力
地上アナログ
CH
14
地上デジタル
CH（テレビ）
14
地上デジタル
CH（データ）
23
BS CH（テレビ）
14
BS CH（ラジオ）
23
BS CH（データ）
23
CS CH（テレビ）
14
CS CH（ラジオ）
23
CS CH（データ）
23
入力1
71
入力2
71
HDV
71
DV
71

目次

ハイビジョン「スゴ録」入門

テレビ

録画・予約

再生

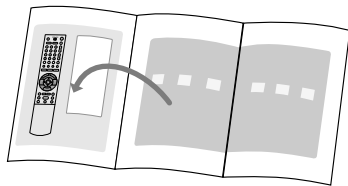
消去・編集

次のページにつづく⇨

本書の読みかた

「**こんなことができます**」(**10ページ**)**の読みかた**

本書は目次以外に、「こんなことができます」を使って、目的からページを探すことができます。「こんなことができます」は「**どんどん録画しよう**」、「**便利に再生しよう**」、「**ダビングして保存しよう**」、「**もっと楽しもう**」の4項目に分かれています。
それぞれの項目から行いたい操作を選ぶと、操作を説明したページを見ることができます。

操作の内容を説明したページをご覧になるときは、「基本操作とリモコン」のページを開いたままにして、ボタンの位置などを確認しながら本機を操作すると便利です。

この取扱説明書での放送の表記について

地上アナログ **地上アナログ放送**

従来のNHKや民放各局のテレビ放送(VHF/UHF)です。地上にある電波塔や中継塔から放送信号が送られるため地上波と呼びます。

地上デジタル **地上デジタル放送**

2003年12月、関東･近畿･中京の３大広域圏で、地上波のUHF帯を使用して開始されたNHKや民放各局のデジタルテレビ放送です。

BS **BSデジタル放送**

2000年12月から始まった、放送衛星(BS)によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。

CS **110度CSデジタル放送**

2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。
取扱説明書では、「110度CS」と省略している場合もあります。

書内でのイラストについて

本書で使われているイラストや画面は、実際のものと異なる場合があります。

こんなことができます

RDZ-D5は、地上デジタル･BSデジタル･110度CSデジタルチューナー内蔵のハードディスクドライブ(HDD)搭載DVDレコーダーです。
デジタルハイビジョン放送をそのままの高画質でHDDに録画。いつでも好きなときに、ハイビジョン映像をお楽しみいただけます。
また、お気に入りの番組や、デジタルビデオカメラから取り込んだ思い出の映像も手軽にDVDに保存することができます。
※ハイビジョン画質でDVDに録画することはできません。

「タイトル」って何?
録画された番組などの映像を「タイトル」と呼んでいます。1回の録画が1つのタイトルになります。市販の映像ソフトなどでは、1作品にあたります。

1 どんどん録画しよう

2 便利に再生しよう

3 ダビングして保存しよう

BS CS

4 もっと楽しもう

本機で使えるディスク一覧

録画と再生ができるディスク

		ハードディスク	DVD+RW	DVD-RW		DVD+R	DVD+R DL	DVD-R	
種類		ハードディスク HDD（本機内蔵）	DVD+RW DVD+ReWritable	DVD-RW（DVD-RWは、VRモードかビデオモードで初期化するまでは、同じディスクです。）		DVD+R	DVD+R DL	DVD-R R4.7	
説明書での表示		HDD	+RW	VRモード -RW VR	ビデオモード -RW Video	+R		VRモード -R VR	ビデオモード -R Video
録画時間や対応バージョン		内蔵ハードディスクへの最長録画可能時間は、約418時間。	最長約8時間まで録画可能。高速記録8倍速まで対応。	最長約8時間まで録画可能。Ver.1.1、Ver.1.1 CPRM*1、Ver.1.2、Ver.1.2 CPRM*1 対応。高速記録6倍速まで対応。		最長約8時間まで録画可能。高速記録16倍速まで対応。	最長約14時間28分まで録画可能。高速記録2.4倍速まで対応。	最長約8時間まで録画可能。高速記録16倍速までのVer.2.0、Ver.2.0 CPRM*1、Ver.2.1、Ver.2.1 CPRM*1ディスクに対応。	
初期化（新品時）		**初期化する必要はありません。**	+VRモード（DVD+RWビデオ）で**自動的に初期化される。**	**VRモードで初期化。**（41ページ）自在な編集が可能。	**ビデオモードで初期化。**（41ページ）	+VRモード（DVD+Rビデオ）で**自動的に初期化される。**		**VRモードで初期化。**（41ページ）	**ビデオモードで初期化。**（41ページ）CPRMに対応していないディスクは自動的にビデオモードで初期化される。
互換性		DVDにダビングして、他機で再生可能。	自動的にファイナライズされ（40ページ）、＋RW対応他機で再生可能。	ファイナライズ無しでVRモード対応の他機で再生可能（40ページ）。	ファイナライズして（40ページ）、多くのDVD機器で再生可能。	ファイナライズして（40ページ）、多くのDVD機器で再生可能。		ファイナライズして（40ページ）、-R VRモード対応他機で再生可能。	ファイナライズして（40ページ）、多くのDVD機器で再生可能。
主な録画機能	書き換え可能	○	○	○	○	×		×	×
	自動チャプター（▶接続・準備編）	○	○	○	○	○		○	○
	手動チャプター作成（50ページ）	○	×	○	×	×		○	×
	「1回だけ録画可能」の番組を録画（67ページ）	○	×	○*1	×	×		○*1	×
	音声多重放送の両音声（主・副）を録画（▶接続・準備編）	○	×	○	×	×		○	×
	16:9（ワイド）画面で録画（38ページ）	○	×	○	○*2	×		○	○*2
主な編集機能	タイトル名入力（59ページ）	○	○	○	○	○		○	○
	タイトル消去（54ページ）	○	○	○	○	○*3		○*3	○*3
	A-B消去（55ページ）	○	○	○	×	×		×	×
	プレイリスト作成（56ページ）	○	×	○	×	×		×	×

*1 CPRM対応のディスクのみ
CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護する為に、映像素材を暗号化する技術です。

*2 録画モードがHQまたはHSP、SP、LSPで、「DVD録画横縦比」が「16:9」に設定のときのみ。

*3 タイトルを消去しても空きはできません。

DVD+RW、DVD-RW、DVD+R、DVD+R DL、DVD-R、DVDビデオ、CDロゴは商標です。

再生のみできるディスク

種類	DVDビデオ	CD	DATA CD（CD-R/CD-RW）	8cm DVD+RW/DVD-RW/DVD-R
	DVD VIDEO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable	
説明書内での表示	DVD	CD	DATA CD	
特徴	映画などの市販ソフト。字幕や音声を切り換えて楽しめる。	音楽や音声が記録された市販ソフト。	CDレコーダーやパソコンで作成したCD。音楽用フォーマット（CD-DA）のみ再生可能。	DVDビデオカメラで撮影した8cmのDVD-RWとDVD-R。ソニー製DVDビデオカメラ（2005年4月時点）で撮影したディスクは、ファイナライズしなくても再生可能。

本機では次のディスクへの録画や再生はできません。

- CD-ROM（フォトCDを含む）
- 音楽用CD以外のフォーマットで記録されたCD-RとCD-RW
- CD-EXTRAのデータ部分
- ビデオCD
- スーパー VCD
- DVD-ROM
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- スーパーオーディオCDのHD（ハイデンシティ）レイヤー
- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）のDVDビデオ
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク（本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため）
- 2.4倍速記録に対応していないDVD+RWには録画できません。

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。

なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

DVDビデオ再生操作について

DVDビデオはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したDVD内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するDVDに付属の説明書も必ずご覧ください。

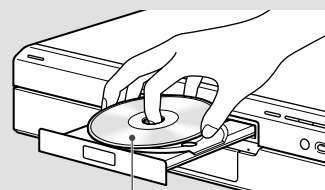
地域番号（リージョンコード）について

DVDビデオのパッケージには地域番号が表示されています。地域番号に「2」または「ALL」が含まれているときは、本機で再生可能です。

ご注意

- DVDビデオカメラで作成したフォトムービーなどは本機で編集できません。
- DVDビデオカメラで作成したJPEG静止画は本機で再生できません。
- 1枚のDVD-RWまたはDVD-RにVRモードとビデオモードを同時に設定することはできません。記録フォーマットを変更するときは、もう一度初期化してください（41ページ）。ただし、それまで録画した内容は消去されます。
- 高速記録対応DVDでも録画にかかる時間は短くなりません。また、1倍速に対応していないDVDは本機では録画できません。
- パッケージに「ビデオ用」または「for Video」と記載のあるDVDをお求めください。
- 他のDVD機器で録画したDVD-RW（ビデオモード）やDVD+R、DVD-Rには録画できません。
- 他のDVD機器で録画したDVD+RWには録画できないことがあります。録画できる場合でも、本機でDVDメニューが書き換えられることがあります。
- 2層DVDを再生する場合、レイヤー（層）が切り換わるときに映像/音声が一瞬途切れることがあります。
- 本機で読み込みができないパソコンで記録したデータは消去されることがあります。
- 本機で録画したVRモードのDVD-RWおよびDVD-Rは、それぞれVRモードのDVD-RWおよびDVD-Rに対応したDVD機器でのみ再生可能です。通常のDVDプレーヤーでは再生できません。
- 記録済みのDVD+RW/DVD+RまたはDVD-RW/DVD-R、CD-RW/CD-Rは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、CD/DVD記録ソフトの特性などにより再生できないことがあります。また、DVD-RW（VRモード）以外で、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ処理を正しくしていないディスクは、再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をお読みください。
- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

ディスクの入れかた

⏏（開/閉）を押してディスクトレイを開け、ディスクを入れる。

再生/録画面を下に

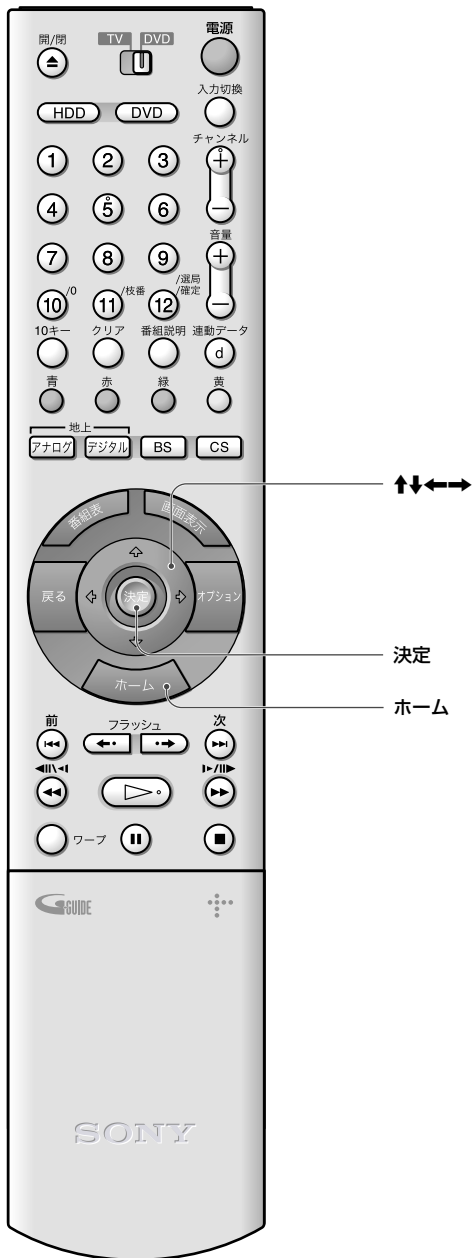
もう一度⏏（開/閉）を押してトレイを閉めます。本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

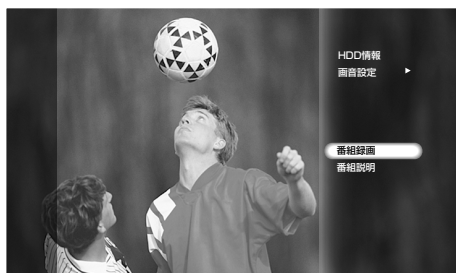
一度も録画していないDVDを入れた場合は、自動的に初期化されます。以下のディスクは本機の設定にしたがって初期化されます（➡「接続・準備編」の「録画・再生の設定をする［ビデオ設定］」）。

- DVD-RW：［ツールボックス］の［ビデオ設定］の［DVD-RW初期化設定］で設定した記録フォーマット（VRまたはビデオ）。
- DVD-R（CPRM対応）：［ツールボックス］の［ビデオ設定］の［DVD-R（CPRM）初期化設定］で設定した記録フォーマット（VRまたはビデオ）。

テレビ番組を見る

ご注意はP26へ

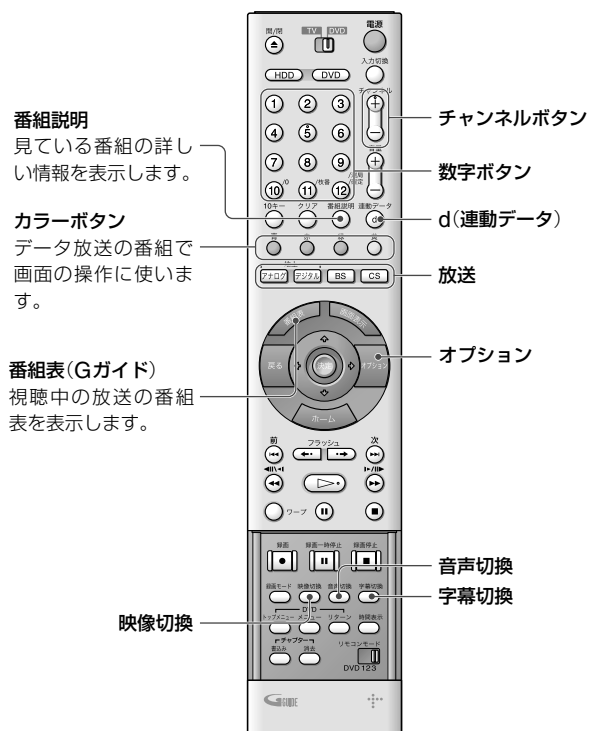
地上アナログ 地上デジタル BS CS

オプション でできること

見ている放送や使用状況によって表示されるオプションが異なります。

番組視聴中にできること

項目	できること
HDD情報	HDDの情報を表示します(39ページ)。
DVD情報	DVDの情報を表示します(39ページ)。
画音設定	画質･音質を調整します(50ページ)。
ダイヤルアップ切断	ダイヤルアップ接続を切断します。
番組録画	見ている番組を録画します。
HDD録画	見ている番組をハードディスクへ録画します。
DVD録画	見ている番組をディスクへ録画します。
録画停止	録画を停止します。
録画延長	予約録画中の録画を延長します(33ページ)。
番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します(19ページ)。
降雨対応切換	降雨対応放送に切り換えます。
追いかけ再生	録画中の番組を再生します(48ページ)。

番組表表示中にできること

項目		できること
ジャンル色設定		表示される番組ジャンルやジャンルの色を選択します。
全チャンネル表示		設定チャンネル表示中に全チャンネル表示に切り換えます。
設定チャンネル表示		全チャンネル表示中に設定チャンネル表示に切り換えます。
サービス切換	テレビ	テレビ番組のチャンネルを表示します。
	ラジオ	ラジオ番組のチャンネルを表示します。
	データ	データ放送のチャンネルを表示します。
日付指定		日付を選び、選んだ日の番組表を表示します。
番組表切換		時刻別、チャンネル別、ジャンル別番組表やトピックスに切り換えます(19ページ)。
パネル広告		選択対象を番組からパネル広告に移動します。
録画予約		番組表で選んでいる番組の録画予約をします(32ページ)。
録画停止		録画を停止します。
録画延長		録画を延長します。
番組説明		番組に関する詳細情報を表示します(19ページ)。
選局		番組表で選んでいる番組のチャンネルに画面を切り換えます。
予約修正		録画予約情報を修正します(35ページ)。
予約消去		録画予約を取り消します(35ページ)。
予約重複確認		時間が重なっている録画予約を確認します。

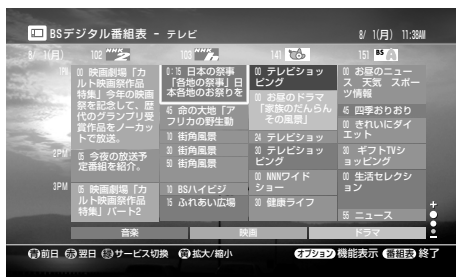
本機でテレビを見るときに使うボタン

番組表（EPG）とは

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

番組表とは、新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているような番組の一覧をテレビ画面に表示したものです。番組表から見たい番組を選ぶだけで、選局や録画予約などをすることができます。

本機では、地上デジタルやBSデジタル、110度CSデジタル、地上アナログ放送の番組表や番組説明を表示できます。

地上アナログ放送の番組表や番組説明は、Gガイド（➡「接続・準備編」の「Gガイドについて」）を利用して、データ配信する放送局（ホスト局）から自動的に受信して画面上に表示します。番組表には、約8日分の番組が表示されます。

デジタル放送の番組表

地上アナログの番組表（Gガイド）

ちょっと一言

地上デジタル放送の番組表データは、各放送局から送信されます。チャンネルを切り換えて各放送局をひととおり表示させてから、番組表を表示してください。

番組表を使うとこんなことができます

- 自分で設定したキーワードやジャンルで番組を検索して表示する（21ページ）。
- 番組表上で番組を選ぶだけで番組を予約録画する（32ページ）。
- お好みの条件に合った番組を自動で録画する「おまかせ・まる録」を楽しむ（30ページ）。

地上アナログ番組表（Gガイド）を受信するには

地上アナログ

番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。下記の手順にしたがって、番組表を受信するために必要な設定をした後、番組表データは自動的に受信されます。ただし、設定後**はじめて番組表データを受信するまで、1日（24時間）程度かかります。**

1 **アンテナ、映像・音声コード、電源コードをつなぎ、リモコンを準備する（➡「接続・準備編」）。**

2 **「かんたん初期設定」画面にしたがって、現在の日付・時刻と地域番号を正しく設定する（➡「接続・準備編」の「［準備9］かんたん初期設定をする」）。**

3 **チャンネルが正しく設定されたか確認する（➡「接続・準備編」の「［準備10］チャンネルの設定を確認する」）。**

4 **番組表データを受信する。**

- 番組表データは本機の電源を切っているときに更新されます。電源コードはつないだままにしてください。
- 1回の番組表データ受信には数十分ほどかかります。

5 **1日後、（番組表）を押して、番組表を表示する。**

以下の場合、番組表は空欄になります。

- 番組表データ受信時刻に本機を操作していたため、まだ番組表データが受信できていない ⇨ 次の番組表データ受信までしばらくお待ちください。
- お住まいの地域や電波状況、気象条件により番組表データを受信できない ⇨ 「1日たっても番組表データを受信できないときは」（17ページ）を確認してください。

1日たっても地上アナログの番組表データを受信できないときは

次の表で原因を確認し、設定や接続などをやり直してください。

原因	設定/接続
アンテナ線や電源コードを正しくつないでいない。	アンテナ線や電源コードを正しくつなぎ直す(➡「接続・準備編」)。
地域番号や受信チャンネルが正しく設定されていない。	チャンネルの設定を確認し、書き出した表と「Gガイド地域番号・放送局表」が合っていないときは、「チャンネル番号をテレビに合わせる[手動チャンネル設定]」にしたがって設定を変更する(➡「接続・準備編」の「地上アナログ放送の設定をする」)。
時刻が正しく設定されていない。	の「時刻設定」をやり直し、時報と同時に設定する(➡「接続・準備編」の「時刻を設定をする[手動時刻設定]」)。
本機の表示チャンネルをテレビに合わせて変更した。	ガイドチャンネルの設定も変更する(➡「接続・準備編」の「Gガイドチャンネルを追加する[ガイドチャンネル設定]」)。
番組表データを取得するチャンネルを手動で変更した。	取得チャンネルは、放送局などの都合で変更になったときなど以外は変更しない。変更した場合は、 の「設定初期化」でいったん出荷時の状態に戻し、「かんたん初期設定」をやり直す(➡「接続・準備編」の「お買い上げ時の設定に戻す[設定初期化]」と「[準備9]かんたん初期設定をする」)。

番組表設定を誤って変更したときは

の「設定初期化」で出荷時の状態に戻してから「かんたん初期設定」をやり直し、「番組表を受信する」を行ってください(➡「接続・準備編」の「お買い上げ時の設定に戻す[設定初期化]」)。

番組表で見たい番組を探す

ご注意はP26へ

地上アナログ　地上デジタル　BS　CS

地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送ごとに、放送局が送信する番組情報を元に番組表(地上アナログではGガイド*)が用意されています。テレビの場合は約1週間、ラジオは3日、データ放送は1日先までの番組表を見ることができます。
また、ジャンル検索やキーワード検索をして、番組を絞り込んで表示したり、番組を選んで予約したりすることもできます。

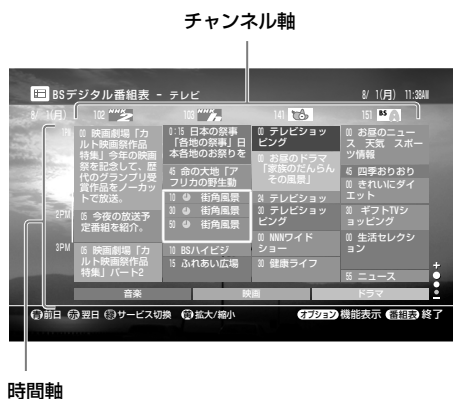
1 **(ホーム)を押す。**

2 **←→で見たい放送を選ぶ。**

- 地上アナログ
- 地上デジタル
- BSデジタル
- 110度CSデジタル

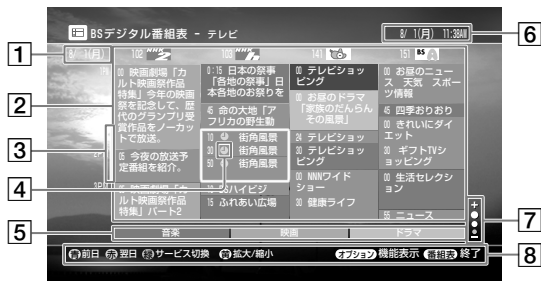
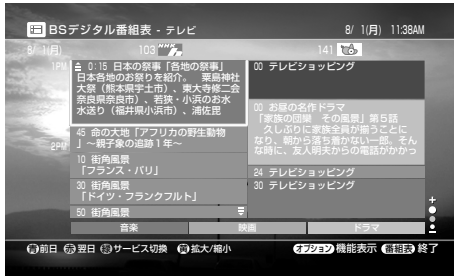
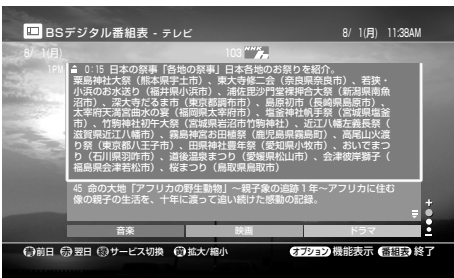
3 **↑↓で見たい放送サービス(テレビ、ラジオ、データ)の番組表( )を選び、 (決定)を押す。**
番組表が表示されます。

チャンネル軸

時間軸

* Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Incの日本国内における登録商標です。

次のページにつづく⇨

テレビ

デジタル放送の番組表

1 **放送日**

現在見ている番組表の日付を表示します。

2 **放送局名、放送開始時刻、番組名**

放送予定の番組を表示します。↑↓←→でカーソルを移動することができます。

3 **マーク**

▍: 同じ時間に他放送局の番組が録画予約されている。

4 **マーク**

●(赤色): 録画中の番組

⏻(赤色): 録画予約されている番組

⏻(灰色): 予約の一部が録画できない番組

5 **ジャンル**

番組のジャンル情報を色分けで表示します。5種類まで設定できます。

6 **現在時刻**

現在の時刻を表示します。

7 **ズーミング段階表示**

ズーミング段階を表示します。ズーミング段階は上記のように3段階あります。

8 **操作ガイド**

画面で行う操作に使うボタンを表示します。

地上アナログ放送の番組表(Gガイド)の画面

地上アナログ番組表(Gガイド)では、地上波の番組表や番組説明を、Gガイド(➡「接続・準備編」の「Gガイドについて」)を利用して、データ配信する放送局(ホスト局)から自動的に受信して画面上に表示します。

例:チャンネル別番組表

1 **パネル広告**

広告が表示されます。パネル広告を選ぶと、説明が表示される広告もあります。

2 **マーク**

●(赤色): 録画中の番組

⏻(赤色): 録画予約されている番組

⏻(灰色): 予約の一部が録画できない番組

▍: 同じ時間に他放送局の番組が録画予約されている。

3 **番組表の種類**

4 **放送局名**

5 **現在日時・現在受信中の放送局名**

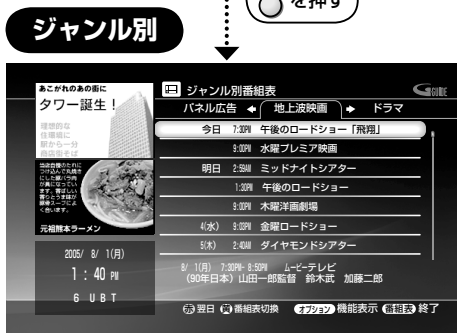
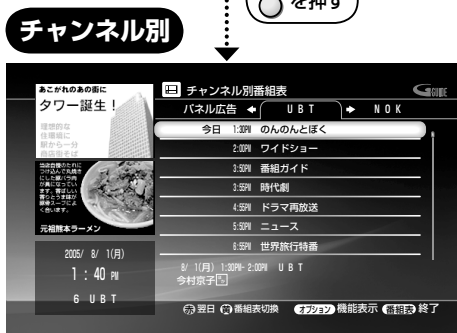
6 **番組名**

放送予定の番組を表示します。放送局の広告が表示される場合もあります。

7 **番組説明**

カーソルで選んでいる番組の説明が表示されます。

地上アナログ放送番組表(Gガイド)の種類を切り換える

地上アナログ放送の番組表(Gガイド)は、黄(黄)を押して[時刻別]、[チャンネル別]、[ジャンル別]、[トピックス]の種類に切り換えることができます。

番組説明を見る

番組名やあらすじ、出演者、映像/音声情報、ジャンルなど番組の詳しい情報を見ることができます。戻る(戻る)を押すと消えます。

1 番組表を表示中に、↑↓←→で番組を選ぶ。

2 オプション(オプション)を押す。

リモコンの番組説明ボタンを押して、番組説明を表示することもできます。

3 ↑↓で[番組説明]を選んで、決定(決定)を押す。

デジタル放送の番組説明

地上アナログ放送の番組説明

上記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などとは関係ありません。

1 番組名・放送時間

2 放送局名

デジタル放送(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル)のチャンネル番号や放送局名、放送局ロゴマークが表示されます。地上アナログのときは放送局名のみ表示されます。

3 **マーク（デジタル放送のみ）**
放送サービスの種類（テレビ、ラジオ、データ）などがマークで表示されます。詳しくは下記の「マークの意味」をご覧ください。

4 **番組の情報**
出演者や、［映像情報］（24ページ）、［音声情報］（24ページ）、［ジャンル］（21ページ）、データ情報。

5 ［**閉じる**］
詳細画面を終了し、元の番組表に戻ります。

6 ［**録画予約/予約修正/録画延長**］
予約設定画面を表示します。すでに予約しているときは、予約の修正ができます。予約録画の実行中は録画の延長ができます。

7 ［**語句登録**］
表示されている詳細の内容から、キーワードを選んで登録することができます。

テレビ

マークの意味（デジタル放送のみ）

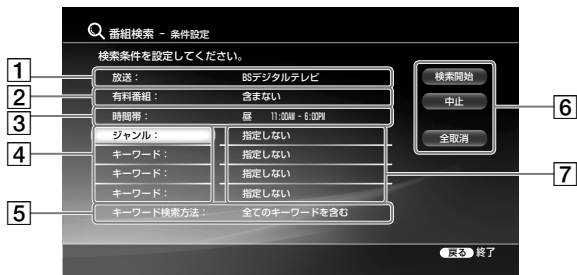
[字幕]：字幕放送（24ページ）
d：テレビやラジオと連動しているデータ放送や、独立データ放送（23ページ）
HD：デジタルハイビジョン信号
SD：標準テレビ信号
ラジオ：ラジオ放送
R[鍵]：視聴年齢制限付き番組（➡「接続・準備編」の「BS・110度CS放送の設定をする」—「視聴年齢制限を設定する［視聴年齢制限］」）
一回録画可：コピー制御信号により、1回だけ録画できる番組
録画不可：コピー制御信号により、録画できない番組
¥：有料番組

キーワードやジャンルで検索して番組を探す

ご注意はP26へ

地上アナログ 地上デジタル ＢＳ ＣＳ

キーワードやジャンルを使って、番組を簡単に探せます。キーワードは登録語句の中から選んだり、その場で入力することができます。語句は、番組表から選び出して登録できます。ジャンルは、大分類の中に中分類があります。

例:BSデジタル放送の場合

1 **放送の種類**
放送の種類を選びます。地上波放送の場合、地上デジタルと地上アナログのどちらかを選びます。

2 **有料番組の設定**
有料番組を含めて検索するかどうかを設定します。

3 **時間帯の設定**
時間帯を選びます。

4 **キーワード/ジャンル選択**
キーワードを使って検索するか、ジャンルを使って検索するかを選びます。4個すべてをキーワード、またはジャンルに設定することもできます。

5 **キーワード検索方法設定**
設定したキーワードのすべて一致、または部分一致で検索するかを設定します。

6 **ボタン**

項目	できること
検索開始	設定した検索条件で検索を開始します。
中止	検索を中止して元の画面に戻ります。設定した条件は保存されません。
全取消	設定した条件をすべて元に戻します。

7 **検索条件設定**

項目	内容
キーワード	キーワードを選びます。登録語句や最近使用した語句から選ぶか、入力します。設定しないこともできます。
ジャンル	大分類と中分類に分類されたジャンルを選びます。設定しないこともできます。

ここでは、例として「BSデジタル放送で放送されるサッカー」の番組を検索してみます。

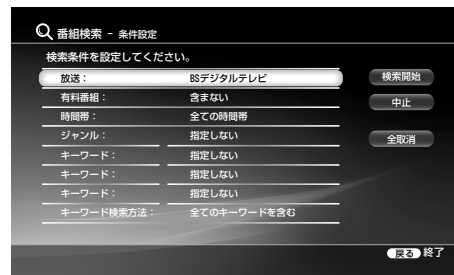
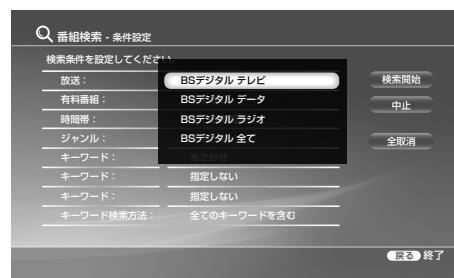
1 **(ホーム)を押す。**

2 **←→で見たい放送を選ぶ。**

●地上アナログ
●地上デジタル

●BSデジタル

●110度CSデジタル

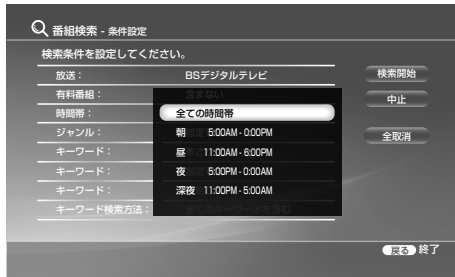
3 **↑↓で[番組検索]を選び、(決定)を押す。**
番組検索画面が表示されます。

4 **[放送]を選び、(決定)を押す。**
一覧から検索対象の放送を選び、(決定)を押します。

検索をやめるには、[中止]を選び、(決定)を押します。設定項目をすべて元の状態に戻すには、[全取消]を選び、(決定)を押します。

次のページにつづく⇨

テレビ

5

［時間帯］を選び、（決定）を押す。

一覧から時間帯を選び、（決定）を押します。

6

［キーワード］または［ジャンル］を選び、（決定）を押す。

ここでは、キーワードを使って検索します。［キーワード］の右隣の欄（［設定しない］の欄）を選びます。

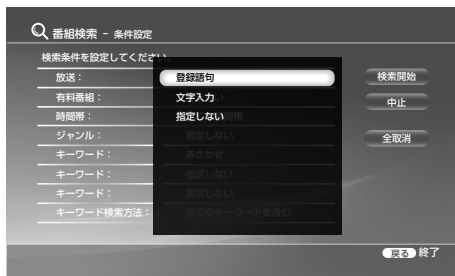
検索項目の一覧が表示されます。

ジャンルを使って検索するには

［ジャンル］の右隣の欄（［設定しない］の欄）を選びます。大ジャンルの一覧が表示されます。中ジャンルがある項目を選んだ場合は、中ジャンルも表示されます。ジャンルを選び、（決定）を押します。続けて、手順8以降を行ってください。

ジャンルを複数設定した場合、設定したジャンルのうちのいずれかに合致している番組が検索されます（OR検索）。

7

［サッカー］を選び、（決定）を押す。

検索項目一覧にないときは

下記のいずれかを行います。

▶ 語句を入力して探す

1 ［文字入力］を選び、（決定）を押す。

2 「サッカー」と入力する。

文字の入力のしかたについては、「文字入力のしかた」（73ページ）をご覧ください。

▶ 登録語句から探す

1 ［登録語句］を選び、（決定）を押す。

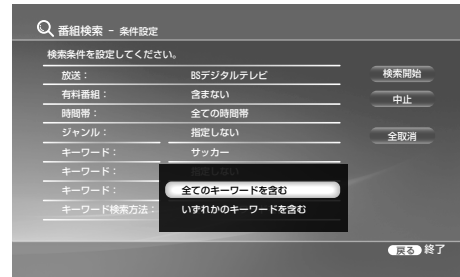
2 ［サッカー］を選び、（決定）を押す。

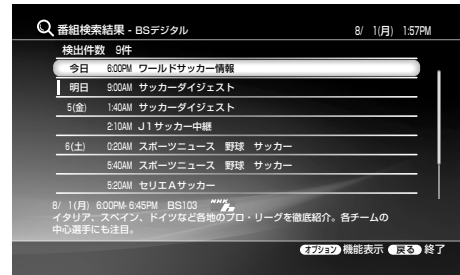
出荷時には、登録語句はありません。事前に登録しておくことをおすすめします（20ページ）。

8

［キーワード検索方法］を選び、（決定）を押す。

一覧から検索方法を選び、（決定）を押します。

9

［検索開始］を選び、（決定）を押す。

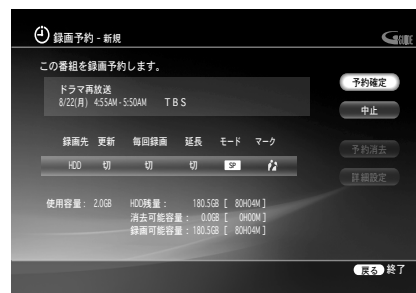
検索結果画面が表示されます。

10

検索結果から見たい番組を選び、（オプション）を押して［選局］を選び、（決定）を押す。

番組が表示されます。

番組を録画／予約するとき

1 **「キーワードやジャンルで検索して番組を探す」の手順9の後で、録画したい番組を選び、（決定）を押す。**

録画予約設定画面が表示されます。

「年齢制限」と表示されたら（BS/110度CSデジタル放送のみ）

選んだ番組は視聴年齢制限付きの番組です。録画するには、視聴年齢制限を解除する必要があります（「BS/110度CSデジタル放送の視聴年齢制限を解除する」25ページ）。視聴年齢制限を解除しない場合は、録画や予約はできません。

「有料番組」と表示されたら（BS/110度CSデジタル放送のみ）

選んだ番組は有料です。録画するには番組を購入する必要があります（「有料番組を見る」24ページ）。

購入しない場合は、録画や予約はできません。

2 ［予約確定］を選び、(決定)を押す。
画面に「録画予約手続が完了しました」と表示されます。選んだ番組が放送中の番組のときは 、録画が始まります。

検索条件を変更するには

検索結果画面で、(オプション)を押して[新規検索]を選び、(決定)を押します。変更したい項目に応じて、「キーワードやジャンルで検索して番組を探す」の手順**4**～**9**を繰り返します。

すべての項目を変更して検索したいときは、［全取消］を選び、(決定)を押してから、「キーワードやジャンルで検索して番組を探す」の手順**4**～**9**を行います。

検索条件を追加して検索するには

検索結果で検出したタイトルが多すぎる場合などのとき、検索条件を増やして検索し直すことができます。検索結果画面で(オプション)を押して[絞り込み検索]を選び、(決定)を押すと検索条件設定画面が表示されます。

登録したキーワードで検索するには

1 「キーワードやジャンルで検索して番組を探す」の手順**7**で［登録語句］を選び、(決定)を押す。
登録語句選択画面が表示されます。

2 キーワードを選び、(決定)を押す。

3 「キーワードやジャンルで検索して番組を探す」の手順**8**～**9**を行う。

デジタル放送のラジオ/データ放送を楽しむ

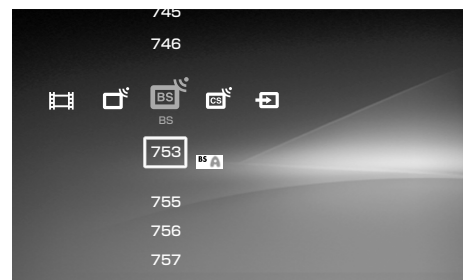
地上デジタル　BS　CS

ラジオ放送(BSデジタル・110度CSデジタルのみ)
画像や連動したデータを楽しめるラジオ放送と、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては、音楽CD並みの高音質が楽しめます。

データ放送
データ放送では、様々なニュースや情報を見たり、クイズやゲームなど双方向サービスを楽しめます。データ放送は、以下の2種類があります。

- **独立データ**
  データのみを専門に扱っている放送サービスです。
- **連動データ**
  デジタル放送のテレビやラジオの番組に連動して見ることができる放送サービスです。
  なお、ラジオ放送/データ放送を録画することはできません。

1 (ホーム)を押す。

2 ←→で見たい放送を選ぶ。

- 地上デジタル
- BSデジタル
- 110度CSデジタル

3 ↑↓で視聴したいラジオまたは独立データのチャンネルを選び、(決定)を押す。
(決定)を押す前に、放送中の番組名を確認できます。

ちょっと一言

- あらかじめ電話回線/ネットワークの接続と設定を行ってください(➡「接続・準備編」の「［準備5］電話回線/ネットワークにつなぐ」、「通信の設定をする」)。
- デジタル放送のデータ番組では、本機につないだ電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中(通信表示が点灯)は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。また、電話料金がかかる場合があります。

映像・音声・字幕を切り換える

地上アナログ 地上デジタル BS CS

映像や音声を切り換える

（映像切換）や（音声切換）を押す。

押すたびに映像信号や音声信号が切り換わります。

切り換えた信号が画面に表示されます。

例：第2映像と第1音声を選んでいるとき

字幕を切り換える*

（字幕切換）を押す。

押すたびに字幕の言語が切り換わります。

例：第2言語の字幕

* 字幕放送とはデジタル放送の映画やドラマなどの字幕のことです。

ちょっと一言

チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。

有料番組や視聴年齢制限つき番組を見る

ご注意はP26へ

BS CS

有料番組を見る

番組が有料番組の場合、「有料番組」と表示されます。購入すると番組を見たり、録画することができます。

有料番組には、番組説明画面（19ページ）で ¥ がついています。

有料番組の中には、購入前にプレビュー（番組の一部を短時間表示すること）できるものがあります。プレビューはメッセージ画面の後ろに表示されます。

プレビューについて

- 有料番組によって見られる回数、時間が異なります。プレビューが終了しても、購入手続きは引き続き行えます。
- プレビューを見た後、購入しない場合は、違うチャンネルを選んでください。

有料番組を見る前に

- デジタル放送用ICカード（B-CASカード）を本体のB-CASカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください（➡「接続・準備編」の「［準備8］デジタル放送用ICカード（B-CASカード）を入れる」）。
- 必ず電話回線をつないでください（➡「接続と接続編」の「［準備5］電話回線/ネットワークにつなぐ」）。
- 加入申し込みが別途必要になる放送局もあります（➡「接続・準備編」の「［準備11］各放送局に視聴を申し込む」）。

1 **番組表画面を表示中に（オプション）を押して、［選局］を選び、（決定）を押す。**

2 **有料番組画面が表示されたら、［視聴購入手続き］または［録画購入手続き］を選び、（決定）を押す。**

［視聴購入手続き］と［録画購入手続き］がある場合、視聴のみのときは［視聴購入手続き］を、録画をするときは［録画購入手続き］を選びます。

3 **購入確認（番組購入）画面が表示されたら、番組内容と番組の購入金額を確認のうえ、［はい］を選び、（決定）を押す。**

「購入完了」と表示されます。

「ICカードのデータが一杯になったため購入できません　電話回線の設定を確認してからICカードを抜き差ししてください」と表示されたら

購入金額がカードの上限金額を超えています。
また、番組の購入可能件数を超えたときにもこの表示が出ます。カードのデータを電話回線を使用して放送局に送信する必要があります。電話回線をつないでください（➡「接続・準備編」の「［準備5］電話回線/ネットワークにつなぐ」）。

「購入時間が過ぎているため購入できません」と表示されたら

番組によっては、購入可能時間が決まっているため購入できない場合があります。

録画防止機能について

本機は、録画防止機能（コピーガード）が付いています。そのため、番組によっては、正常な画像で録画できなかったり、録画したものを正常な画像で再生できなかったりするものがあります。
また、音声に関しても、本機のデジタル音声出力（光または同軸）端子からの信号を、正しく録音できない番組があります。ご注意ください。
また、本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社とその他の著作権利者が保有する米国特許、およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用にはマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の視聴サービスでの使用に制限されています。本機を分解したり改造することは禁じられています。

追加信号について

番組によって、複数の映像や音声を切り換えられます（24ページ）。なお、￥ の付いた映像、音声、データなどを選ぶと、選んだ分の追加料金が発生します。

BS/110度CSデジタル放送の視聴年齢制限を解除する

の［視聴年齢制限］で視聴年齢制限つき番組を見るための暗証番号を設定した場合（➡「接続・準備編」の「本体の設定をする」ー「暗証番号を設定する［暗証番号設定］」）、設定した視聴年齢制限に該当する番組を見たり、録画しようとすると、「年齢制限」と表示されます。番組を見たり、録画したりするには、暗証番号を入力して視聴年齢制限を解除します。

1 **番組表画面を表示中に （オプション）を押して、［選局］を選び、 （決定）を押す。**

2 **視聴年齢制限番組画面が表示されたら、［暗証入力手続き］を選び、 （決定）を押す。**

3 **暗証番号入力画面が表示されたら、①～⑩ を押して、4桁の暗証番号を入力する。**
①～⑩ を使って入力すると、画面上に*が表示され、カーソルが右に移動します。次の番号を入力します。
番号を間違えたときは、⬅で入力した数字を消去できます。

4 **⬆⬇⬅➡で［確定］を選び、 （決定）を押す。**
暗証番号を確認するメッセージが表示されます。

5 **番組を視聴したり、録画や予約の準備を行う。**

ちょっと一言
- ⬆⬇⬅➡で暗証番号を入力することもできます。⬆⬇で数字を選び、➡で次の桁を選びます。
- 録画後は暗証番号を入力しなくても視聴できます。

テレビに関するご注意・制約事項

ご注意 テレビ番組を見る

はじめて選局するときは、あらかじめチャンネルを自動設定しておいてください(➧「接続・準備編」の「[準備9]かんたん初期設定をする」、「地上アナログ放送の設定をする」)。

ご注意 番組表で見たい番組を探す

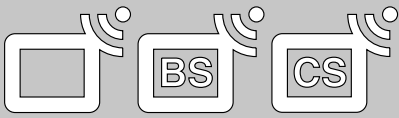
- 休止中のチャンネルは番組表に表示されません。
- 詳しい情報のない番組もあります。
- 放送時間が短い番組は、ズームの1段階目と2段階目では表示されないものがあります。
- 以下の番組は番組表に表示されません。
  - －チャンネルをとばす設定(➧「接続・準備編」の「地上アナログ放送の設定をする」－「不要なチャンネルをとばす[アップダウン選局]」)をした放送局の番組
  - －放送大学の番組
  - －CATV独自の番組*

* CATVのVHF/UHF放送の番組は表示できることがあります。ご利用のCATV局にお問い合わせください。

ご注意 キーワードやジャンルで検索して番組を探す

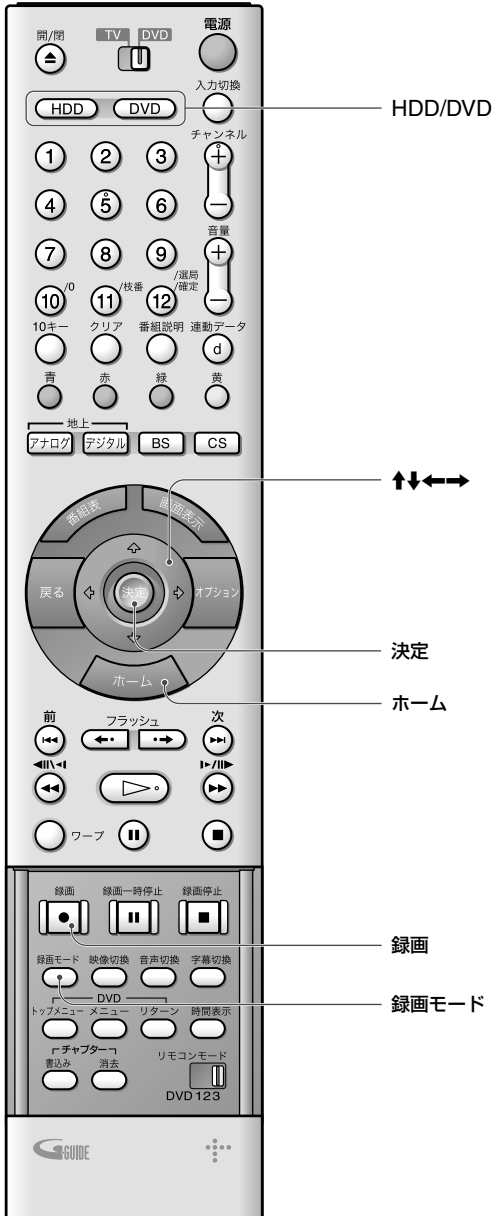
- 登録語句は、出荷時は設定されていません。よく使う語句は、先に登録することをおすすめします(20ページ)。
- 番組表のデータを受信していないときは検索はできません。
- 番組表で非表示にしている放送局の番組は検索できません。
- 詳しい情報のない番組もあります。
- キーワードには、カナや漢字、全角や半角の違いがあります。例えば、「野球」というタイトルの番組を検索するとき、「やきゅう」(ひらがな)では検索されません。

ご注意 BS/110度CSデジタル放送の視聴年齢制限を解除する

- ↑↓←→で数字を入力した後に ①～⑩ を使うと、↑↓←→を使って入力した数字は ①～⑩ で入力した数字に変わります。
- 暗証番号の設定のしかたについて詳しくは、➧「接続・準備編」の「本体の設定をする」－「暗証番号を設定する[暗証番号設定]」をご覧ください。
- 暗証番号を忘れたときは、初期設定で出荷時の状態に戻してから設定し直してください(➧「接続・準備編」の「お買い上げ時の設定に戻す」)。

録画・予約

テレビ番組を録画する

ご注意はP42へ

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video
地上アナログ 地上デジタル BS CS

1 （ホーム）を押す

2 ←→で 地上デジタル、BS または CS を選ぶ

3 ↑↓で録画したいチャンネルを選び、（決定）を押す

4 HDD（HDD）または DVD（DVD）を押して、録画先を選ぶ

5 （録画モード）を繰り返し押して、録画モードを選び、（決定）を押す

録画モード		記録可能時間の目安		（単位:時間 分）
		HDD（250GB）	DVD（4.7GB）	+R DL（8.5GB）
DR（デジタルハイビジョン画質*1）		約21時間*2	—	—
HQ+	（高画質）	約34時間	—	—
HQ	↑	約52時間	約1時間	約1時間48分
HSP	↑	約79時間	約1時間30分	約2時間42分
SP	（標準）	約105時間	約2時間	約3時間37分
LSP	↓	約132時間	約2時間30分	約4時間31分
LP	↓	約160時間	約3時間	約5時間25分
EP	↓	約213時間	約4時間	約7時間14分
SLP	↓	約314時間	約6時間	約10時間51分
SEP	（長時間）	約418時間	約8時間	約14時間28分

6 （録画）を押す

*1 デジタル放送をそのままの画質で録画できます（標準テレビ放送（SD）の番組は、そのままのSD画質で録画されます）。

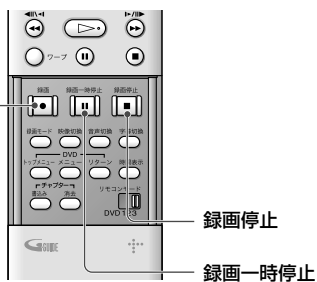
*2 BS/110度CSデジタル放送（HD）の場合。
地上デジタル放送（HD）では約24時間、地上/BS/110度CSデジタル放送（SD）では約47時間、HDVの映像では約20時間。

でできること

使用状況によって表示されるオプションが異なります。
番組表を表示中にできることについては、15ページをご覧ください。

録画中の番組を視聴中にできること

項目	できること
HDD情報	HDDの情報を表示します(39ページ)。
DVD情報	DVDの情報を表示します(39ページ)。
画音設定	画質･音質を調整します(50ページ)。
ダイヤルアップ切断	ダイヤルアップ接続を切断します。
録画停止	録画を停止します。
録画延長	予約録画中の録画を延長します(33ページ)。
番組説明	見ている番組の詳しい情報を表示します(19ページ)。
降雨対応切換	降雨対応放送に切り換えます。
追いかけ再生	録画中の番組を再生します(48ページ)。

録画で使うボタン

録画を始める前に…

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送のラジオ放送とデータ放送は録画できません。
- デジタル放送の字幕は、HDD、DVDに記録できません(DRモードでHDDに録画する場合を除く)。アナログ放送の字幕はHDD、DVDともに記録できません。
- 1タイトルの連続録画最長時間は、HDD、DVDともに約8時間です。8時間を超える予約はできません。
- HDDに録画できる最大番組数は300です。DVD+RW、DVD+Rでは49、DVD-RW、DVD-Rでは99です。ただし、使いかたによっては、最大数まで録画できないことがあります。
- HDDやDVDに空きがあるかを確認してください(39ページ)。空きが足りない場合、HDD、DVD+RW、DVD-RWではタイトルを消去して空きをつくることができます(54ページ)。
- DVD+RW、DVD-RW(ビデオモード)、DVD+R、DVD-R(ビデオモード)では音声多重放送の両音声(主･副)を記録できません。
  から[ビデオ設定]の「DVD二重音声記録」で音声の種類(「主音声」か「副音声」)を選んでください(➨「接続･準備編」の「録画･再生の設定をする」)。
- HDDとDVD-RW(VRモード)とDVD-R(VRモード)では、音声多重放送の両音声(主･副)を録画できます。「ビデオ設定」の「HDD二重音声記録」で音声の種類を選んでください(➨「接続･準備編」の「録画･再生の設定をする」)。
- 録画の画質を調整してください(38ページ)。
- AVマウス付きテレビ/チューナーと本機の録画予約を同時に設定すると、正しく録画されないことがあります。
- 本機では電源の入/切にかかわらず予約録画が始まります。また録画中に電源を入/切しても、録画に影響はありません。
- 本機が予約待機になっていても、本機を使うことができます。

録画モードについて

ビデオカセットレコーダーの録画モード(標準･3倍)と同様に、記録時間の短い録画モードを選ぶと、データ量の多い高画質で録画できます。記録時間の長い録画モードを選ぶと、データ量を減らして長時間録画することができます。
28ページの記録時間を参考に、「デジタル放送の画質をそのまま録りたいからDR」、「できるだけ美しく録りたいからHQ」(画質優先)、「できるだけ長く録りたいからSEP」(時間優先)など、録画したい時間と画質に合わせてお選びください。

HQ+について

より高画質でHDDに録画します。「ビデオ設定」で「HQ画質設定」を「HQ＋」に設定すると約34時間録画できます(28ページ)。ただし、表示はHQと表示されます。

ちょっと一言

録画した後に、画質を落としてデータ量を減らしてダビングすることができます(「録画モード変換ダビング」65ページ)。高画質で録って見終わった番組を、少ないディスク容量でたくさん録画したいときに便利です。

番組を自動で録画する（おまかせ・まる録）

ご注意はP42へ

地上アナログ 地上デジタル ＢＳ ＣＳ

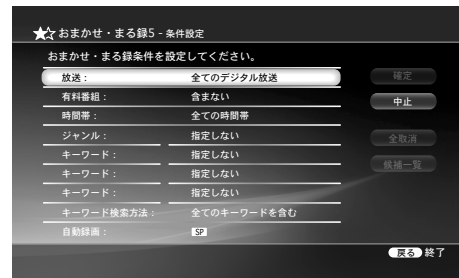
あらかじめ登録したキーワードやジャンル、時間帯に合った番組を番組表データから検索し、内蔵のハードディスクに自動的に録画します。キーワードなどお好きな条件を最大10件まで設定することができます。設定条件から検索した番組（おまかせ・まる録候補）をおまかせ・まる録候補一覧に最大30件表示できます。
お買い上げ時には、「温泉」や「音楽」、「ドキュメンタリー」、「ドラマ」が登録されています。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で［おまかせ・まる録］を選び、（決定）を押す。
おまかせ・まる録一覧画面が表示され、登録したおまかせ条件が一覧で表示されます。

1 おまかせ条件の優先順位
2 ジャンル/キーワード
3 放送の種類
4 時間帯
5 自動録画・録画モード

4 設定のない行を選び、（決定）を押す。
おまかせ・まる録設定画面が表示されます。

5 放送の種類や時間帯、有料番組を含めるかどうか、ジャンル・サブジャンル、キーワード、キーワード検索方法を設定して、（決定）を押す。
設定について詳しくは「キーワードやジャンルで検索して番組を探す」（21ページ）をご覧ください。語句登録であらかじめキーワードを設定することもできます。
なお、有料番組を［含む］に設定しても、PPV（ペイ・パー・ビュー、92ページ）の番組は自動で録画されません。

6 ［自動録画］で録画モードを設定して、（決定）を押す。
自動録画をしないときは、［切］を選びます。

7 ［確定］を選び、（決定）を押す。
おまかせ条件が設定され、おまかせ・まる録一覧画面に戻ります。
おまかせ条件の設定を変更するには、手順4からやり直してください。

オプションでできること

おまかせ・まる録一覧画面でできること

項目	できること
スポーツ延長対応	スポーツ番組などの放送時間延長に備えて録画時間を延長します。
条件設定	録画条件を設定します。
候補一覧	条件に合致した番組を表示します。
優先変更	おまかせ・まる録で録画される番組の優先順を変えます（31ページ）。

おまかせ・まる録候補一覧で番組選択中にできること

項目	できること
録画予約	録画を予約します（35ページ）。
番組説明	番組の内容が表示されます。

おまかせ・まる録候補一覧を確認するには

おまかせ・まる録設定を選んで、（オプション）を押し、[候補一覧]を選びます。設定したジャンルやキーワードなどに合った、おまかせ・まる録候補のすべての番組が一覧表示されます。

例：地上アナログ放送の場合

1 おまかせ・まる録候補リスト名

2 放送・自動録画・録画モードの設定

3 表示マーク

●（赤色）：録画中の番組

▌：予約リストの予約と重なっているので、録画されない。

：録画予約されている番組（予約リストに表示）

4 詳細情報

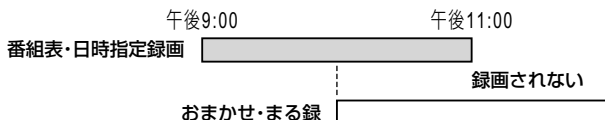
カーソルで選択されている番組の詳細を表示します。

おまかせ・まる録候補一覧の番組を予約リストに登録するには

おまかせ・まる録の予約は、他の番組表予約や日時指定予約などと重なると録画されません。また、おまかせ・まる録で録画したタイトルは、HDDの残量がなくなると、古いものから自動で消去されます。録画したい番組は、おまかせ・まる録候補一覧から予約リストに登録してください。

おまかせ・まる録候補一覧から録画したい番組を選び、（決定）を押します。その後予約設定画面が表示されるので、[予約確定]を選び、（決定）を押します。

おまかせ・まる録と他の録画予約が重なったら

他の録画予約が優先し、おまかせ・まる録は行われません。

登録したおまかせ・まる録一覧の自動録画の優先順を変えるには

おまかせ・まる録一覧で設定の優先順を変えることができます。手順4で優先させたい設定を選んで、（オプション）を押し、[優先変更]を選んで（決定）を押します。おまかせ・まる録優先変更画面で最優先させる設定をします。

「おまかせ・まる録」同士が重なったら

おまかせ・まる録画面で番号の小さい候補が優先して録画されます。同じおまかせ・まる録候補の中では、録画開始時刻が先のものが優先され、開始時刻も同じ場合はチャンネル番号が小さいものが優先されます。

おまかせ・まる録中に録画を止めるには

リモコンのふたを開け、赤い■（録画停止）を押します。録画が止まるまでに数秒かかることがあります。黒い■（停止）を押しても録画は止まりません。

ちょっと一言

- HDD残量が少なくなった場合におまかせ・まる録で録画したタイトルが自動消去される場合がありますが、消去されないよう保護することができます（57ページ）。
- おまかせ・まる録設定の内容を変更・削除しても、変更前のおまかせ・まる録が行われることがあります。録画したいときは、番組表からの予約録画をおすすめします。

番組表で予約する

ご注意はP42へ

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo
地上アナログ 地上デジタル BS CS

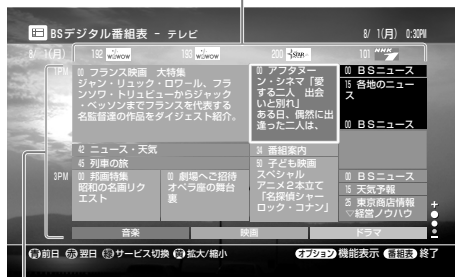
番組表で予約したい番組を選ぶと、選んだ番組の日時と放送局を自動的に予約設定します。
日時指定予約と合わせて30番組まで予約ができます。各番組表の見かたについては「番組表で見たい番組を探す」(17ページ)をご覧ください。

1 (ホーム)を押す。

2 ←→で 、 または を選ぶ。

3 ↑↓で を選び、 (決定)を押す。
番組表が表示されます。

デジタル放送の番組表

チャンネル軸

時間軸

4 録画したい番組を選び、 (決定)を押す。
予約内容(番組名、日付、録画開始･終了時刻、放送局名またはチャンネル番号、録画先、録画モード)が表示された録画予約設定画面が表示されます。

以下の項目を変更できます。

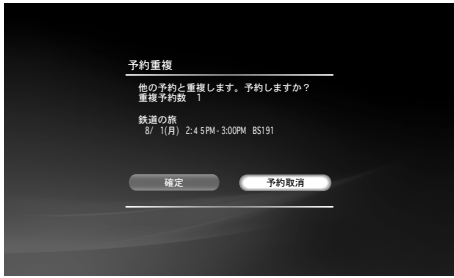
項目	設定
録画先	HDDかDVDを選びます。
更新(HDDのみ)	毎回録画を設定したときに、前回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します(37ページ)。
毎回録画	毎週や毎日放送される番組を毎回録画する(毎週、月－金など)。
延長	予約録画の終了時間を遅らせます。10分ごとに最長60分まで延長できます。スポーツ延長対応(36ページ)の延長時間と合わせると最長180分になります。デジタル放送の予約の場合は、放送の延長に合わせて本機が自動的に録画の終了時間を延長するため、[切]に設定することをおすすめします。
モード	録画モードを変更します(28ページ)。
マーク(HDDのみ)	ジャンルが設定されている番組の場合、番組のジャンルに応じたマークが自動的に付きます。また、お好みのマークを付けることもできます(59ページ)。
詳細設定	記録する信号を選択します。

5 [予約確定]を選び、 (決定)を押す。
予約設定完了画面が表示されて、自動的に番組表に戻ります。
予約した番組は、番組表に が表示されます。
本体のHDDタイマーランプまたはDVDタイマーランプが点灯し、本機が予約待機になります。
録画が始まると●(赤色)が表示されます。

予約の設定を途中で取り消すには

(戻る)を押します。番組表に戻ります。

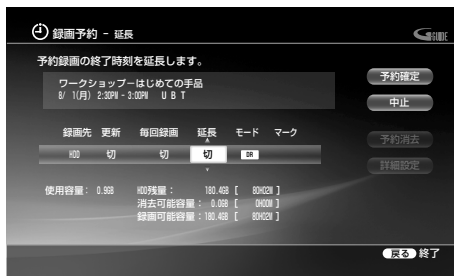
予約が重なったときは

次の画面が表示されます。

- [確定]を選ぶと、予約をそのまま設定します。予約の優先順位にしたがって録画します(37ページ)。
- [予約取消]を選ぶと、設定を取り消すことができます。

現在放送中の番組を録画するには

番組表から現在放送中の番組を選んで、手順4～6の操作を行うとすぐに録画が始まります。番組が終了すると自動的に録画が停止します。

予約録画中に録画時間を延ばすには

録画中に（オプション）を押して、[録画延長]を選びます。番組表で録画中の番組を選んで（決定）を押しても録画延長ができます。ただし、番組表から録画していない番組などはこの操作ができない場合があります。

↑↓で時間を設定します。

10分ごとに最長60分まで録画時間を延ばすことができます。

[確定]を選び、（決定）を押します。

予約録画中に録画を止めるには

リモコンのふたを開け、赤い■（録画停止）を押します。録画が止まるまでに数十秒かかることがあります。黒い■（停止）を押しても録画は止まりません。

ちょっと一言

- 録画したタイトルは、タイトルリストから再生できます(44ページ)。
- 番組表に表示されない先の日時の番組は、日時指定で予約できます(34ページ)。
- キーワードやジャンルなどを指定して番組を検索、録画予約することができます(21ページ)。
- スポーツ中継などの時間延長に合わせ、録画を自動的に延長することができます(「スポーツ延長対応」36ページ)。
- [消去可能容量]は、HDDの残量が不足したときに、自動消去機能により確保できる最大容量の目安です。

番組表から予約を変更・取り消す

番組表で設定した予約は、番組表から予約の変更や消去ができます。

1 番組表を表示する。

2 番組表から予約した番組を選び、（決定）を押す。

録画予約—修正画面が表示されます。設定項目を変更することができます。

項目	できること
予約消去	予約を取り消します。録画予約消去画面で[はい]を選び、（決定）を押します。
詳細設定	記録する信号を選択します。

3 予約を変更したら、[予約確定]を選び、（決定）を押す。

録画・予約

日時を指定して予約する

ご注意はP42へ

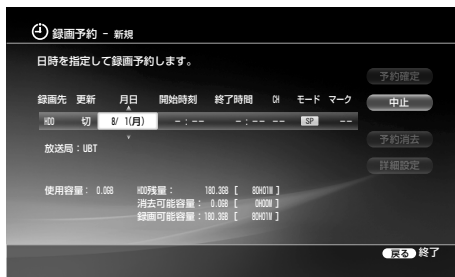
HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo
地上アナログ 地上デジタル BS CS

１ヵ月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。番組表予約と合わせて、30番組まで予約できます。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で[日時指定予約]を選び、（決定）を押す。

録画予約設定画面が表示されます。

4 ←→で下記の各設定項目を選び、↑↓で設定する。

項目	設定
録画先	HDDかDVDを選びます。DVDを選んだときは録画用のDVDを入れてください。
更新（HDDのみ）	毎日や毎週の録画を設定したときに、前回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します（37ページ）。
月日	録画の日付を選びます。以下の順でも選べます。今日 → 明日 →………（1ヵ月後）→ 毎（日）→………→ 毎（土）→ 月-金 → 月-土 → 毎日 → 今日
開始時刻	開始時刻を設定します。
終了時刻	終了時刻を設定します。
CH	チャンネルを選びます。以下の順で選べます。地上アナログ → 地上デジタル → BSデジタル → CSデジタル → 入力1 → 入力2
モード	録画モードを選びます（28ページ）。
マーク（HDDのみ）	録画したいタイトルに付けるユーザーマークを選びます（59ページ）。

5 [予約確定]を選び、（決定）を押す。

本体のHDDタイマーランプまたはDVDタイマーランプが点灯し、本機が予約待機状態になります。

BS/110度CSデジタル放送のときは、[詳細設定]で指定時間内の視聴年齢制限番組を録画するかどうかを設定できます。

予約が重なったときは

37ページをご覧ください。

予約録画中に録画時間を延ばすには

33ページをご覧ください。

予約録画中に録画を止めるには

リモコンのふたを開け、赤い■（録画停止）を押します。録画が止まるまでに数十秒かかることがあります。黒い■（停止）を押しても録画は止まりません。

予約録画を確認・変更・取り消すには

「予約を確認する・変更する・取り消す（予約リスト）」（35ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は次の日付に設定されます。
- [消去可能容量]は、HDDの残量が不足したときに、自動消去機能により確保できる最大容量の目安です。

予約を確認する・変更する・取り消す（予約リスト）

ご注意はP42へ

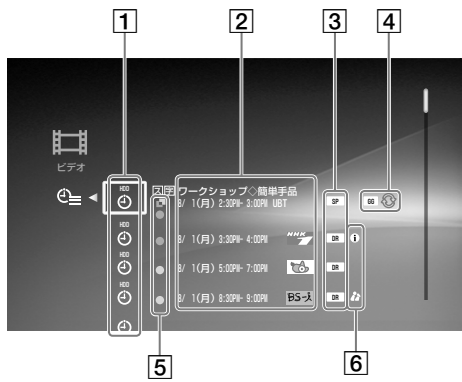
HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo
地上アナログ 地上デジタル ＢＳ ＣＳ

予約リストは録画予約されている番組を一覧表示します。予約リストから、予約の変更や消去、重複確認、優先順の変更をすることができます。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で［予約リスト］を選び、（決定）を押す。

予約リストが表示されます。

1 録画先ディスク
2 予約している番組の一覧
3 録画モード
4 予約機能マーク
（更新）：更新録画予約（37ページ）に設定されている場合に表示されます。
スポーツ（スポーツ延長）：スポーツ延長対応（36ページ）の延長対象になった場合に表示されます。
GG：地上アナログの番組表から予約した場合に表示されます。
5 録画・重複マーク
：複数の予約が重なっている場合、優先順が下位の番組に表示されます。
●（赤色）：予約録画実行中の番組
●（青色）：録画可
重複により録画されない部分は除き、予約された時間が全て録画できることを示します。
●（灰色）：録画不可
録画先に設定されたディスクに、予約された時間すべてを録画できない可能性があることを示します。
録画に対応したディスクが挿入されていない場合にも表示されます。
6 ユーザーマーク
予約設定時に設定した分類マークを表示します。ジャンルが設定されている番組の場合は、自動的にマークが設定されます。

予約を変更するには

予約リストで番組を選んで、（決定）を押します。録画予約一修正画面で、変更したい項目を設定し直してから、［予約確定］を選び、（決定）を押します。録画予約設定画面の設定項目について詳しくは、「番組表で予約する」（32ページ）の手順**4**をご覧ください。

予約を取り消すには

予約リストで番組を選んで、（決定）を押します。録画予約設定画面で、［予約消去］を選び、（決定）を押します。

ちょっと一言

録画中の予約を変更することはできませんが、録画時間を延ばすことはできます（33ページ）。

オプションでできること

予約リスト表示中にできること

項目	できること
番組追跡録画	放送時間の変更に対応して録画します（36ページ）。
スポーツ延長対応	スポーツ番組などの放送時間の延長に備えて録画時間を延長します（36ページ）。
優先順表示	優先設定されている番組を先に表示します。
日付順表示	日付順に表示します。
録画延長	録画を延長します。
録画停止	録画を停止します。
予約修正	予約を修正します。

次のページにつづく⇨

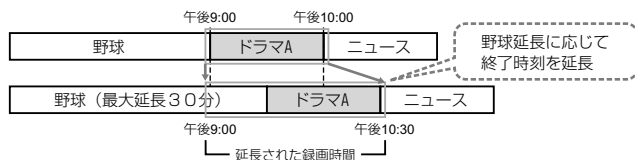
予約消去	予約を取り消します。
予約情報	設定されている予約を表示します。
優先変更	優先順を変更します。
番組追跡情報	以下の場合に、番組追跡情報を表示します。 • 地上アナログ放送の番組 • デジタル放送で毎回録画に設定した番組 • デジタル放送で延長を設定した番組
予約重複確認	重複した予約があれば、重複した予約に対して表示します。

スポーツ延長対応

スポーツ中継の放送延長により、予約した番組の放送時刻が変わる可能性がある場合、番組表データから検出された延長時間分（10分単位で最長120分）、検出できない場合は➡「接続・準備編」の「録画・再生の設定をする」―「スポーツ延長録画の延長時間を設定する［スポーツ延長対応］」で設定した時間分延長して録画します。次の条件をすべて満たしている場合、録画終了時刻が延長されます。

- 予約番組の放送開始時刻より前に、ジャンルが「スポーツ」の番組の放送予定が同じチャンネルにある。
- 中継番組の番組説明に「延長」、「試合終了まで」、または「完全中継」という語句がある。
- 中継番組が、午後7：00から午後9：00の間に放送される。
- 予約番組の開始時刻が翌日午前5:00より前である。

予約リストで、この機能に対応した予約にはスポーツがつきます。この機能はお買い上げ時は、「入」に設定されています。

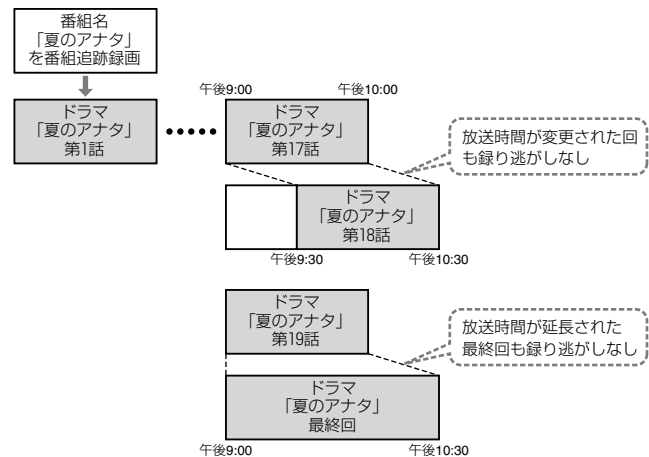
例：午後9:00から午後10:00まで放送予定のドラマAを予約しています。ドラマAの前には野球が放送され、最大30分間の放送延長の可能性があります。延長の情報があると、ドラマAの録画開始時刻はそのままで、終了時刻を30分延長します。

自動延長された結果、他のチャンネルの予約と重なった場合、録画は予約の優先順位にしたがいます（37ページ）。

この設定を取り消すには、予約リスト（35ページ）を表示して、（オプション）を押します。［スポーツ延長対応］を選び、［切］に設定します。

ちょっと一言

- 予約したスポーツ番組も延長の対象となります。
- 上記の例で「ドラマA」を他の予約より優先させたいときは、予約リストでその予約を選び、（オプション）を押して、「優先変更」を設定してください。

番組名を追跡して録画する（番組追跡録画）

連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、最終回だけ放送時間が違う場合に録り逃がすことがあります。番組追跡録画を設定すると、放送時間が違っても、番組名を追跡して予約するため、逃がさず録画できます。また、1回だけの予約の場合でも、録画の前に番組表データの更新があった場合、最新の情報に合わせて録画時間を自動補正します。追跡可能な範囲は、放送開始予定時刻1時間前から放送終了予定時刻1時間後までです。
この機能は、毎回録画に設定したデジタル放送の番組と手動で録画延長を設定したデジタル放送の番組、および、地上アナログ放送の番組で使えます。

この機能はお買い上げ時は、［入］に設定されています。
この機能を使わないようにするには、予約リスト（35ページ）を表示して、（オプション）を押します。［番組追跡録画］を選び、［切］に設定します。

番組名を変更して追跡するには

予約リストで番組を選んで、（オプション）を押し、［番組追跡情報］を選びます。追跡情報画面で［番組名変更］を選んで、追跡のための番組名を変更します。
番組追跡情報は番組表からの予約で以下の場合のみ表示され、修正できます。

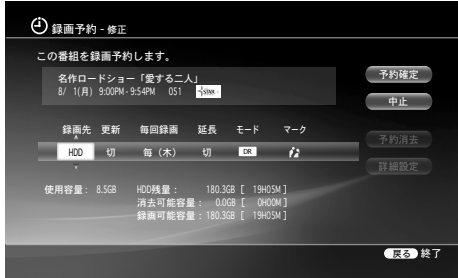
- 地上アナログ放送の番組
- デジタル放送で毎回録画に設定した番組
- デジタル放送で延長を設定した番組

前回のタイトルを消去して録画する（更新録画）

HDD

連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、前回録画したタイトルを消去して、新しい回を録画する機能です。

1 **予約リストで番組を選び、（決定）を押す。**

録画予約設定画面が表示されます。

2 **←→で［更新］を選んで、↑↓で［入］に設定し、（決定）を押す。**

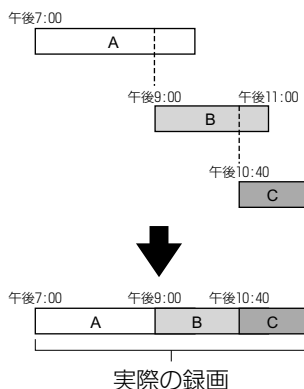
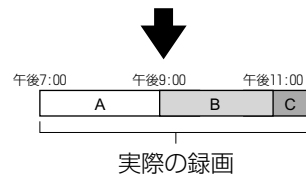
3 **［予約確定］を選んで、（決定）を押す。**

予約の優先順位を変更する

本機では、録画の「優先順位」にしたがって録画します。
「優先順位」は、予約を設定した順番に、新しいものが高くなるように設定されます。
予約が重なった場合、優先順位が高いものが録画され、低いものは録画されなかったり、途中からまたは途中までしか録画されないということが起こります。
重要な録画の場合は、予約リストで優先順位を確認し、必要に応じて番組を最優先させてください。

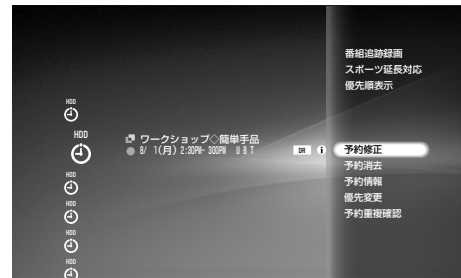
予約が重なっているときは

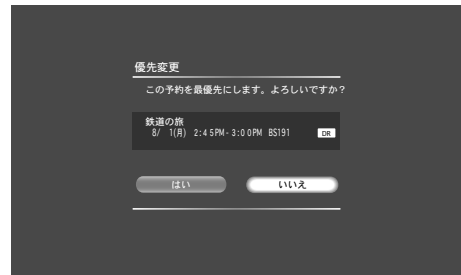
番組表や日時指定で予約したときは、後から設定した予約が優先されます。

例:番組［A］、［B］、［C］の順に予約した場合（番組［C］の優先順位が一番高い）

番組［B］の優先順位を番組［C］よりも高くすると、番組［B］は設定した録画終了時間まで録画されます。

予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは

優先順位の低い予約番組の冒頭または最後部は録画されません。

1 **予約リストで重複している番組を選んで、（オプション）を押す。**

重複している番組には がついています。

2 **［優先変更］を選び、（決定）を押す。**

優先変更画面が表示されます。

3 **［はい］を選び、（決定）を押す。**

選んだ予約が最優先で録画されます。

ちょっと一言

- 録画中に予約の優先順位を変えることもできます。
- 重複していない予約に対しても優先変更はできます。

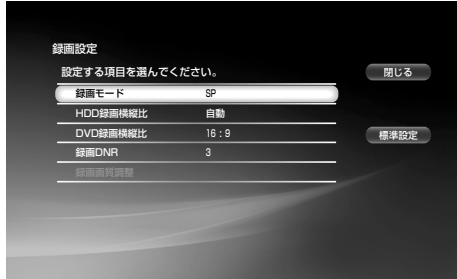
録画の画質・映像サイズを設定する

ご注意はP43へ

HDD　+RW　-RW VR　-RW Video　+R　-R VR　-R Video

録画するときの画質や映像サイズを設定することができます。録画前に行ってください。

1 **録画を始める前に、録画したいチャンネルを選び、（オプション）を押して[画音設定]－[録画設定]を選び、（決定）を押す。**

録画設定画面が表示されます。

2 **下記の各設定項目を選び、（決定）を押す。**

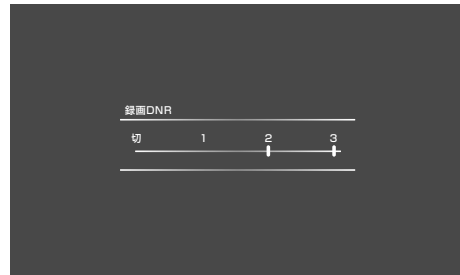
項目	設定
録画モード	録画する時間や画質に合わせて録画モードを設定します。「録画モードについて」(29ページ)をご覧ください。
HDD録画横縦比 DVD録画横縦比[1]	録画する番組に合った映像サイズに設定します。 • 4:3（DVDの初期設定）⇨ 映像サイズを4:3に設定します。 • 16:9 ⇨ 映像サイズを16:9(ワイド画面)に設定します。 • 自動(HDDのみ)(HDDの初期設定) ⇨ 録画する番組の映像サイズに合わせます。
録画DNR(ノイズリダクション)[2]	映像信号に含まれているノイズを低減します。ノイズの多いシーンを検出して、ノイズ低減効果を各設定の範囲において自動調整します。
録画画質調整[3]	各項目ごとに画質を調整します。調整する項目を選び、（決定）を押します。 • コントラスト ⇨ コントラストを調整します。 • ブライトネス ⇨ 全体の明るさを調整します。 • 色の濃さ ⇨ 色をより濃く、またはより薄く調整します。 • 色合い ⇨ 色のバランスを調整します。

[標準設定]を選び、（決定）を押すと、すべての設定を標準値に戻せます。

[1] DVD録画横縦比の設定について
+RW　+R ⇨ すべて4:3で録画されます。
-RW VR　-R VR ⇨ 設定に関係なく、実際の映像のサイズに合わせて録画します。たとえば、16:9の映像の場合、[4:3]に設定していても16:9で録画されます。
-RW Video　-R Video ⇨ 録画モードがHQまたはHSP、SP、LSPに設定されている場合に有効です。その他の録画モードでは、4:3になります。

[2] デジタル放送には働きません。

[3] 外部入力信号とDV信号にのみ働きます。

3 **↑↓←→で設定を選び、または調整し、（決定）を押す。**

例：録画DNR

お買い上げ時の設定は、下線の数値です。

項目	設定
録画DNR	（弱）切　1　2　3（強）
録画画質調整	
コントラスト	（弱）-3 ～ 0 ～ 3（強）
ブライトネス	（暗）-3 ～ 0 ～ 3（明）
色の濃さ	（薄）-3 ～ 0 ～ 3（濃）
色合い	（赤）-3 ～ 0 ～ 3（緑）

4 **他の項目も調整するときは、手順2～3を繰り返す。**

ディスク情報画面の使いかた

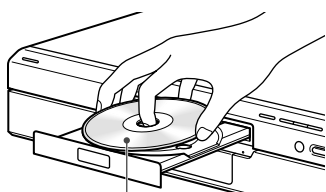
ご注意はP43へ

HDD　+RW　-RWVR　-RWVideo　+R　-RVR　-RVideo

ディスク情報画面では、ディスクの種類や残量を確認することができます。またDVDでは、ディスク名の入力、保護設定、内容の消去などディスクの管理をすることができます。

1　**⏏（開/閉）を押してディスクトレイを開け、録画済みのDVDを入れる。**

もう一度⏏（開/閉）を押して、ディスクトレイを閉めます。ハードディスクの情報を見たいときは、DVDを挿入する必要はありません。

2　**ホーム（ホーム）を押す。**

3　**←→で🎞を選ぶ。**

4　**HDDのタイトルか、DVDを選ぶ。**

5　**オプション（オプション）を押して、［HDD情報］または［DVD情報］を選び、決定（決定）を押す。**

ディスク情報画面が表示されます。

［HDD情報］を選ぶとハードディスク、［DVD情報］を選ぶと挿入されているDVDの情報画面が表示されます。情報画面の項目は、ディスクの種類や記録フォーマットによって異なります。

例：DVD-RW（VRモード）

1「**ディスク名**」（DVDのみ）

2「**メディア**」
ディスクの種類

3「**タイトル数**」
タイトルの総数

4「**プロテクト**」
DVDが保護設定されているかどうかを表示する。（DVD-RW（VRモード）とDVD-R（VRモード）のみ）

5「**録画日**」
最近および一番古くに録画した日（DVDのみ）

6「**フォーマット** 」
記録フォーマットの種類（DVD-RWとDVD-Rのみ）

7 **HDDやDVDの設定（以下の設定ができます。）**
- 名称入力
- 全消去
- プロテクト設定
- 初期化
- ファイナライズ/ファイナライズ解除

ディスクの種類によって設定できる項目は異なります。

詳しくは、HDDやDVDの設定（名称入力･保護･消去･初期化）と「ファイナライズする（他機で再生するには）」（40ページ）をご覧ください。

8「**残量**」または［**連続録画可能時間**］（**目安**）
- HDDやDVDの空きを表すバー表示
- HDDやDVDの空き容量/総容量
- DVDの連続録画可能時間

残量や空き容量は目安です。なお、HDDのDRモードの表示は、ハイビジョン放送（HD）を録画できる時間の目安です。

ディスクの名前を入力する

+RW -RW VR -RW Video +R -R Video

ディスク情報画面を使って、DVDに名前をつけたり、名前を変更したりすることができます。

1 **ディスク情報画面を表示して、[名称入力]を選び、(決定)を押す。**

2 **ディスク名入力画面で名前を入力し、[入力終了]を選んで、(決定)を押す。**

文字入力について詳しくは「文字入力のしかた」(73ページ)をご覧ください。

ファイナライズする(他機で再生するには)

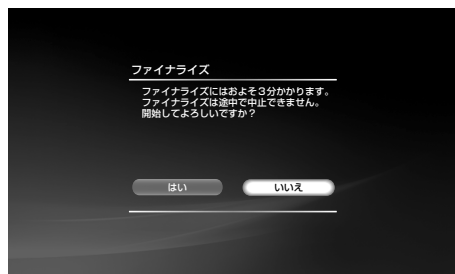
+RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

ファイナライズとは、本機で録画したDVDを他のDVD機器で再生可能なデータ配列にすることです。DVD+RWやDVD-RW(ビデオモード)、DVD+R、DVD-R(ビデオモード)をファイナライズすると、自動的にDVDメニューが作られるので、他のDVD機器で再生するときに表示することができます。

ファイナライズする前に、次の表でDVDの種類による違いをご確認ください。

+RW	**不要。**本機から取り出す際に、自動的にファイナライズ処理されます*。同時にDVDメニューも作成されます。
	ファイナライズ後も本機で追加記録や編集でき、その後の再ファイナライズは不要です。
-RW VR	**必要。**ただし、DVD-RW(VRモード)対応DVD機器での再生なら、ファイナライズ不要です*。
	ファイナライズ後も本機で追加記録や編集でき、その後の再ファイナライズは不要です。
-R VR	**必要。**ファイナライズして、DVD-R(VRモード)対応DVD機器で再生できます。
	ファイナライズ後は、本機で追加記録も編集もできません。
-RW Video	**必要。**手動ファイナライズ後は、DVDメニューも作成されます。
	ファイナライズ後は、ファイナライズを解除すれば、本機で追加記録や編集できます。その後、再ファイナライズが必要です。
+R -R Video	**必要。**手動ファイナライズ後は、DVDメニューも作成されます。
	ファイナライズ後は、本機で追加記録も編集もできません。

* 録画時間が短いときなどは必要になることがあります。

1 **ディスク情報画面を表示して、[ファイナライズ]を選び、(決定)を押す。**

2 **ファイナライズにかかる時間を確認し、[はい]を選んで、(決定)を押す。**

DVDのファイナライズが始まります。

ちょっと一言

ファイナライズされているかどうかは、ディスク情報画面で確認できます。[ファイナライズ]が選べる状態であれば、DVDはまだファイナライズされていません。

ファイナライズを解除する

-RW VR -RW Video

DVD-RW(ビデオモード)の場合

本機でファイナライズして追加録画や編集ができなくなったDVD-RW(ビデオモード)を、再び録画や編集ができるようにします。

1 **本機にファイナライズされたDVD-RW(ビデオモード)を入れ、ディスク情報画面を表示する。**

2 **[ファイナライズ解除]を選び、(決定)(決定)を押す。**

ファイナライズ解除が始まります。ファイナライズ解除には数分かかることがあります。

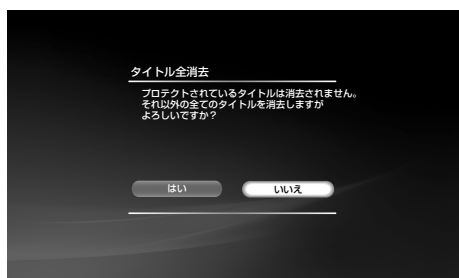
DVD-RW(VRモード)の場合

他のDVD機器でファイナライズしたDVD-RW(VRモード)の録画や編集ができないとき、「ディスクがファイナライズされています。ファイナライズ解除してください。」と表示されることがあります。その場合、DVD情報画面で[ファイナライズ解除]を選びます。

ディスク内のすべてのタイトルを消去する

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

ディスク内の保護されているタイトル以外のすべてのタイトルを消去します。

1 **ディスク情報画面を表示して、[全消去]を選び、(決定)(決定)を押す。**

2 **確認画面で[はい]を選び、(決定)(決定)を押す。**

タイトルの消去が始まります。

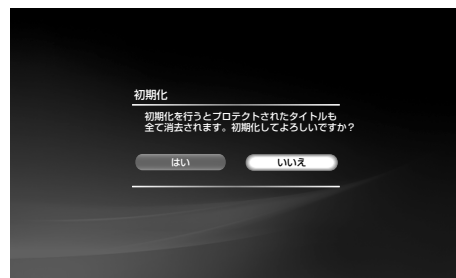
ディスクを初期化する

+RW -RW VR -RW Video -R VR

DVDの内容をすべて消去して、空きディスクにします。

DVD-RWでは、用途に合わせて記録フォーマット(「VR」または「ビデオ」)を選んでください(12ページ)。

また、ビデオモードで初期化されたDVD-Rは、未記録状態であればVRモードで初期化できます。

1 **ディスク情報画面を表示して、[初期化]を選び、(決定)(決定)を押す。**

2 **確認画面で[はい]を選び、(決定)(決定)を押す。**

ディスクの初期化が始まります。

ちょっと一言

- DVDを初期化すると、DVD-RWの記録フォーマットを変更したり、ファイナライズしたDVD-RW(ビデオモード)が再び録画できるようになります。
- HDDの初期化は、の[本体設定]の[HDD初期化]でできます(▶「接続・準備編」の「本体の設定をする」—「ハードディスクを初期化する[HDD初期化]」)。
- CPRMに対応していないDVD-Rの初期化は、未記録状態でディスクを本機に入れたときに、ビデオモードで自動で行なわれます。
- CPRM対応のDVD-Rの初期化は、未記録状態でディスクを本機に入れたときに自動で行なわれます。記録フォーマット(「VR」または「ビデオ」)は、の[ビデオ設定]の[DVD-R(CPRM)初期化設定]で設定したモードになります。

録画・予約に関するご注意・制約事項

ご注意 録画全般

- 録画した後のディスク取り出し時に、ディスクが出てくるまで数十秒かかることがあります。
- 録画ボタンを押してもすぐに録画が始まらないことがあります。
- 録画可能時間は目安としてご覧ください。実際の録画可能時間は、放送により異なります。
- 以下のようなときに録画時間が異なることがあります。
  - 受信状態の悪いテレビ放送など画質が悪い番組を録画する場合
  - 編集されたDVDに追加して録画する場合
  - 静止画像や音声のみを録画し続けた場合
- 番組連動データは録画されません。
- 録画中に録画モードを変えることはできません。
- ハイビジョン放送をDR以外のモードで録画した場合は、ハイビジョンの画質にはなりません。
- 以下の場合、HDD/DVDタイマーランプが点滅します。
  - 残量が無い場合
  - ＤＶＤ側の録画可能ディスクが入っていない

録画の制限

「録画禁止」のコピー防止信号が含まれている映像は録画できません（DVDビデオ、CS放送のペイ・パー・ビューなど）。
「録画禁止」のコピー防止信号が入っていると、録画されません。繰り返し録画のできないDVD+RやDVD-Rの場合など、特にご注意ください。

コピー防止信号	録画できるディスク
録画自由 地上波放送など（コピー防止信号なし）	HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video
1回だけ録画可能 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送など	HDD -RW VR[*1] -R VR[*1]
録画禁止 DVDビデオ、CSのPPV[*2]など	

[*1] CPRM対応ディスクのみ。
CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化する技術です。

[*2] PPV（ペイパービュー）とは、「見るたびに支払う」の意味で、番組単位で随時、視聴購入します。

ご注意 番組を自動で録画する（おまかせ・まる録）

- 録画する番組を番組表データから探すため、データが正しく受信されていないと、この機能は働きません。
- おまかせ・まる録候補一覧に表示される番組は必ず録画されるわけではありません。確実に録画するために、おまかせ・まる録候補一覧で録画予約を設定することをおすすめします。
- おまかせ・まる録候補一覧で予約マークが表示されている番組は、予約リストに登録されています。予約の修正は、予約リストから行ってください。
- 有料番組や視聴年齢制限番組が、おまかせ・まる録候補一覧に登録されることがありますが、これらの番組は、制限を解除しないと録画されません（25ページ）。
- 他の予約録画と重なったときは録画されません。また録画したタイトルは、ハードディスクの残量が足りなくなると古いものから自動的に消去されます。予約リストには表示されません。
- 録画中やタイトルダビング中、HDV/DVダビング中、タイトルの編集中、HDDの初期化中などには、おまかせ・まる録による録画は実行されません。また、［番組表取得設定］の［取得時刻］で［取得する］に設定している時刻には、おまかせ・まる録による録画が実行されません。おまかせ・まる録を優先するには、［自動］に設定してください（➡「接続・準備編」の「地上アナログ放送の設定をする［放送受信設定］」）。お買い上げ時の状態では、［取得する］に設定されている時間帯があります。
- キーワードの文字と番組表データの文字が一致していないと、番組が検索されません。
- 番組表でキーワード検索した番組と、おまかせ・まる録で同じキーワードを設定したときに録画される番組は、すべて一致するわけではありません。
- おまかせ・まる録の自動録画で、録画時間を延ばすことはできません。
- おまかせ・まる録候補一覧で新たに番組を検索することはできません。

ご注意 番組表で録画する

- 予約があっても、優先順位の高い番組（37ページ）を録画中は予約録画は実行されません。
- 毎日などの毎回録画を設定しても、優先順位の高い予約が重なっている日は録画が実行されません。予約リスト（35ページ）のタイトルに、予約が重なっていることをお知らせする 🗗 がつきますので、優先順位を確認してください。
- 1番組で8時間を超える予約はできません。
- デジタル放送の予約の場合、番組の延長に自動的に対応して録画されます。また、放送時間内に終わらなかったときに他のチャンネルで放送を継続する番組（イベントリレー）でも、本機が自動的に対応して録画します。ただし、毎回録画に設定した場合または「延長」の設定を「切」以外に設定した場合は、自動で延長されません。
- デジタル放送の予約では、番組放送時間が変更になった場合に時間変更に対応して録画しますが、放送の状況によっては時間変更の検出が遅れることがあります。このとき、元の予約時間に数秒間録画する場合があります。また、番組の先頭が録画されない場合があります。

- 先の予約の終了時刻と後の予約の開始時刻が同じ場合、重複確認画面が表示されることがあります（番組表では同じ時刻で表示されても、実際の放送が数秒重複している場合）。

ご注意 日時を指定して予約する

予約に有料番組が含まれている場合、その間の時間は録画されません。

ご注意 予約を確認する・変更する・取り消す（予約リスト）

- 予約があっても、優先順位の高い番組を録画中は予約録画は実行されません。
- 毎日などの毎回録画を設定しても、優先順位の高い予約が重なっている日は録画が実行されません。予約リストのタイトルに、予約が重なっていることをお知らせする がつきますので、優先順位を確認してください（37ページ）。

スポーツ延長対応

- この機能は、番組表で「スポーツ」のジャンルに分類された番組のみに対応しています。
- この機能は同じチャンネルの予約に対してのみ働き、他のチャンネルの予約には働きません。
- 延長時間の情報がないときは、 から[ビデオ設定]の[スポーツ延長対応]で設定した時間分（30分、60分、または120分）、録画が延長されます（➡「接続・準備編」の「録画・再生の設定をする」―「スポーツ延長録画の延長時間を設定する[スポーツ延長対応]」）。
- デジタル放送では対応できない場合があります。

番組名を追跡して録画する

以下の場合は、番組の追跡ができなかったり、他の番組を追跡してしまったりするため、録画されないことがあります

- 番組名が変わった場合
- 番組名が短い場合
- 放送時間が大幅に短くなった場合

前回のタイトルを消去して録画する（更新録画）

- 見ていないタイトルでも、次回の予約の前に消去されます（編集されている場合を除く）。
- 以下のときは、タイトルは消去されません。
  －タイトルがプロテクト設定されたとき
  －タイトルが編集されたとき
  －プレイリスト/バーチャルタイトルに加えられたとき

予約の優先順位を変更する

- 予約が重なっている場合は、優先度の低いほうの予約の冒頭または最後部は録画されない場合があります。
- 一方の予約の終了時刻と、もう一方の予約の開始時刻が同じ場合、後の予約の優先順位が高くても、後の予約の冒頭が録画されない場合があります（先の予約の録画先がDVDの場合など）。
- 予約リストの録画はおまかせ・まる録より優先します。

本機で録画したDVDを他のDVDプレーヤーで再生するにはどうすればいいの？

本機で録画したDVDを他のDVDプレーヤーやDVD対応パソコンで再生したいときは、ファイナライズします。
ファイナライズとは、DVDに録画した情報を再生可能なデータ配列にすることです。
ファイナライズの詳しい操作については「ファイナライズする（他機で再生するには）」（40ページ）をご覧ください。

ご注意 画質・映像サイズを設定する

- 映像サイズが混在する番組では、設定したどちらかの横縦比で録画されます。ただし、16:9で録画できない場合は、4:3で録画されます。
- ここでの調整は録画映像のみに反映され、画面上の映像には反映されません。
- [録画DNR]は、デジタル放送には効果がありません。
- [録画画質調整]は、外部入力信号とDV信号にのみ効果があります。

ご注意 ディスク情報画面の使いかた

本機では、1GBを10億バイトとして表示しています。

ディスクの名前を入力する

ディスク名として入力できる文字数は、最大で全角32文字、半角64文字までです。他機で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。

ファイナライズする（他機で再生するには）

- DVD機器によっては、正しくファイナライズしても再生できないことがあります。
- 他のDVD機器で録画したDVDを本機でファイナライズすることはできません。

ファイナライズを解除する

ファイナライズ解除できないDVD-RW（VRモード）もあります。

再生

再生する

ご注意はP51へ

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video DVD CD DATA CD

1 （ホーム）を押す

2 ←→で 🎞 または ♫ を選ぶ

3 ↑↓で見たい映像を選び、（決定）を押す

DVDや音楽CDの場合は、↑↓で ● を選んで、（決定）を押し、さらに↑↓で見たいディスクタイトルや聞きたいトラックを選んで、（決定）を押します。

再生をやめるには、■（停止）を押します。

オプションでできること

使用状況によって表示されるオプションが異なります。

再生中にできること

項目	できること
録画停止	録画を停止します。
HDD情報	ハードディスクの情報を表示します。
DVD情報	DVDの情報を表示します。
画音設定	画質･音質を調整します(50ページ)。
再生停止	タイトルやトラックの再生を停止します。
タイトル情報	タイトルの詳細情報を表示します。
タイトル消去	タイトルを消去します(54ページ)。
チャプターサーチ	チャプターを選んで頭出しします(49ページ)。
タイトルサーチ	タイトルを選んで頭出しします(49ページ)。

タイトルリストでタイトル選択中にできること

項目	できること
HDD情報	HDDの情報を表示します(39ページ)。
DVD情報	DVDの情報を表示します(39ページ)。
DVDへダビング	HDDのタイトルをDVDにダビングします(62ページ)。
HDDへダビング	DVDのタイトルをHDDにダビングします(62ページ)。
操作	タイトルを操作します(58ページ)。
編集	タイトルを編集します(55 ～ 56ページ)。
並び替え	タイトルの並び順を替えます(47ページ)。
再生	タイトルを停止したところから再生します。
頭出し再生	タイトルを始めから再生します。
再生停止	再生を停止します。
録画停止	録画を停止します。
タイトル情報	タイトルの詳細を表示します(59ページ)。
消去	タイトルを消去します(54ページ)。
プロテクト/プロテクト解除	タイトルにプロテクト設定をしたり解除したりします(57ページ)。
表示情報設定	タイトルの表示項目を変更します(59ページ)。

ちょっと一言

ホーム画面でタイトルを選び、▷(再生)を押しても再生が始まります。

マークの意味

●(赤):録画中

▶:再生中

●▶:追いかけ再生中

[移動マーク]:移動(ムーブ)可能なタイトル(「1回だけ録画可能」な番組。ダビングすると消去されるタイトルです。)

[ダビング不可マーク]:ダビングできないタイトル

NEW:再生されていないタイトル

ORG:オリジナルタイトル(青:DRモードで録画、ピンク:DRモード以外で録画)

PL:プレイリスト(青:参照しているオリジナルタイトルがDRモードで録画された場合。ピンク:それ以外)

★:おまかせ･まる録で録画されたタイトル

DR/HQ/HSP/SP/LSP/LP/EP/SLP/SEP:録画モード

GG:地上アナログの番組表(Gガイド)から録画したタイトル

(更新):更新録画対象

(プロテクトマーク):保護されたタイトル

ユーザーマーク:番組のジャンルに応じて自動的に付いたマーク。または、お好みで設定したマーク。

再生中のいろいろな操作

押すボタン	できること	使えるディスク
⏏(開/閉)	再生が停止し、ディスクトレイが開きます。	すべて
⇠ ⇢(フラッシュ +/−)	少し前に戻る、または先に進みます。	HDD +RW DVD -RWVideo -RWVR +R -RVR -RVideo
⏮ ⏭(前/次)	前や次のタイトル/チャプター/トラックの先頭に進みます。HDDの場合は、前や次のタイトルの先頭に進めません。	すべて
⏪ ⏩(早送り/早戻し) ⏪ ⏩(スロー、コマ送り/コマ戻し)	• 再生中に押すと3段階で早送り再生(▶▶1、▶▶2、▶▶3)または早戻し再生(◀◀1、◀◀2、◀◀3)します。ボタンを押し続けると、はなすまで選んだ速さで再生します。また ⬅➡ でも同様の操作ができます。 • 一時停止中に1秒以上押すと、スロー再生します。 • 一時停止中に軽く押すと、コマ送りまたはコマ戻し再生します。	すべて HDDの1段階目の早送りでは音声が付きます(音付き早見、DRモード以外で録画したタイトルのみ、47ページ)。音楽CDやデータCDでは、1段階目の早送り/早戻しのみできます。スロー、コマ送り/コマ戻しはできません。 **通常の再生に戻すには** ▷(再生)または 決定(決定)を押します。
⏸(一時停止)	一時停止する。また、再生中に 決定(決定)を押しても同様の操作ができます。	すべて
◯(ワープ)	再生中のタイトル内ですばやく場面を移動できる「ワープモード」に切り換えます(49ページ)。	HDD +RW DVD -RWVideo -RWVR +R -RVR -RVideo
⬭(映像切換)	複数の映像が記録されているとき(本体表示窓に「ANGLE」表示)に、繰り返し押して映像(アングル)を切り換えます。	HDD* DVD * DRモードで録画した複数映像を含むタイトル(「ANGLE」は表示されません)
⬭(音声切換)	繰り返し押してディスクごとに以下を選びます。 DVD ⇨ 音声言語を選ぶ。 HDD -RWVR -RVR ⇨ 音声トラックを主音声と副音声から選ぶ。 CD DATA CD ⇨ ステレオかモノラルから選ぶ。	HDD* -RWVR -RVR DVD CD DATA CD * DRモードで録画した複数音声を含むタイトル
⬭(字幕切換)	繰り返し押して字幕を表示します。	HDD* DVD * DRモードで録画した字幕を含むタイトル
⬭(トップメニュー) ⬭(メニュー) ⬭(リターン)	ディスクのメニューを表示できます。⬭(トップメニュー)または ⬭(メニュー)を押して、タイトルを選びます。また ⬭(リターン)を押すと、1つ前の画面に戻ります。	+RW DVD -RWVideo +R -RVideo 元の画面に戻るには⬭(トップメニュー)または ⬭(メニュー)を押します。
⬭(チャプター書込み) ⬭(チャプター消去)	チャプターマークの書込みや、消去ができます(50ページ)。	HDD -RWVR -RVR

市販のDVDビデオなどの場合、ディスクの制限により、上記のとおりに操作できないことがあります。

DVDのメニューを使うには

DVDビデオやファイナライズされたDVD+RW、DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-R（ビデオモード）では、ディスクのメニューを表示することができます。

（トップメニュー）または（メニュー）を押して、タイトルを選びます。

音声付きで早送りするには（音声付き早見）

HDD内のDRモード以外で録画されたタイトルを再生中、（早送り）を押すと音声付きで早送り再生ができます（画面に［×1.5］が表示されます）。2回以上押して、より高速の早送り再生をすると、音声は出ません。

この機能は、HQ、HSP、SP、LSP、LP、EP、SLP、SEPモードで録画したタイトルで使えます。

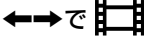
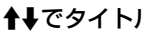
再生をやめたところから再生するには（つづき再生）

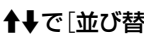
再生したことがあるタイトルでは、次の場合、前回再生を止めた位置から再生が始まります。

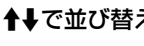
- ホーム画面でタイトルを選び、（決定）を押した場合
- （再生）を押して再生した場合

（オプション）を押して［頭出し再生］を選ぶと、タイトル/トラックの最初から再生できます。

次の場合、つづき再生が解除されます。

- ディスクトレイを開けたとき（HDDを除く）
- 他のタイトルを再生したとき（HDDを除く）
- 再生の途中で停止したタイトルを編集したとき
- 電源を切ったとき（CD、データCDのみ）
- 新たに録画を追加したとき（HDD、DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）を除く）
- ディスクがつづき再生を禁止している場合
- メニュー再生中

視聴年齢制限されたDVDを再生するには

再生、またはつづき再生を行うとき、「視聴年齢制限を一時的にレベル＊に変えますか？」と表示されたら、［はい］を選ぶと暗証番号を入力する画面が出ます。4桁の暗証番号を入力し、［確定］を選ぶと再生が始まります。暗証番号の登録や変更については、から［DVD設定］の［視聴年齢制限］（「接続・準備編」の「DVDの設定をする」）をご覧ください。

タイトルを好きな順番に並べ替える

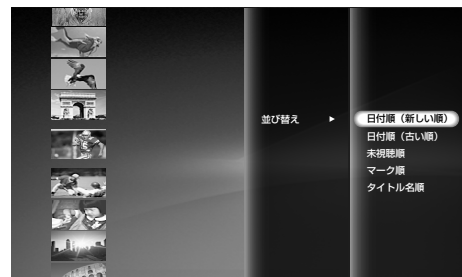
HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

録画した映像の一覧を並べ替えることができます。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、（オプション）を押す。

オプションメニューが表示されます。

4 ↑↓で［並び替え］を選び、（決定）を押す。

5 ↑↓で並び替えの種類を選び、（決定）を押す。

お買い上げ時は、［日付順（新しい順）］に設定されています。

種類	設定
日付順（新しい順）	録画開始日時の新しい順に並べます。
日付順（古い順）	録画開始日時の古い順に並べます。
未視聴順*	見ていないタイトルから並べます。
管理番号順	DVDに録画した順に並べます。
マーク順*	マークの順番に並べます。
タイトル名順	タイトル名順に並べます。

* HDD内のタイトルのみ

追いかけ再生・同時録画再生

ご注意はP51へ

番組を録画しながら、録画済みの部分や他の映像を見ることができます。

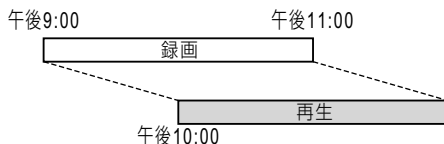
録画中の番組を最初から見る（追いかけ再生）

HDD -RWVR

録画を続けながら、録画終了を待たずに録画済みの部分を再生します。

1 録画中に、（オプション）を押す。

2 ［追いかけ再生］を選び、（決定）を押す。
録画中の番組の再生が始まります。

例：午後9時からの番組を録画中、10時に帰宅。録画中の番組を始めから見る。

早送り再生で録画に追いついたときは

DRモードで録画中の番組では、早送り再生で録画現在位置に追いつくと、再生一時停止に切り換わります。DRモード以外で録画中の番組では、再生を続けます。

録画しながら他のタイトルを見る（同時録画再生）

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD CD DATA CD

番組を録画中に、他のタイトルを再生します。また、再生中に予約録画が始まっても再生を続けることができます。DVD-RW（VRモード）では、1枚のディスクでこの同時録画再生ができます。また、HDDに録画しながらDVDやCD、音楽用フォーマットのデータCDを再生することもできます。

録画しながら	再生する
HDD	HDD[*3]
HDD	DVD DVD（DVD）を押します。
DVD-RW [*1] （VRモード）	同じDVD-RW（VRモード）[*2]
DVD	HDD[*3] HDD（HDD）を押します。

[*1] 1倍速対応のDVD-RWの場合や、録画しているタイトルの録画モードがHQまたはHSPの場合は、同時録画再生はできません。

[*2] 再生するタイトルの録画モードがHQまたはHSPのとき、記録状態によっては画像が乱れることがあります。早送り･早戻し、フラッシュ＋/－とワープ操作は、静止画が数秒ほど続いた後に動作します。

[*3] デジタル放送をDRモード以外で録画中に、DRモードで録画したタイトルは再生できません。

例：HDDで録画中に、HDDの他のタイトルを再生する

1 録画中に（ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で見たいHDDのタイトルを選び、（決定）を押す。

例：HDDで録画中に、DVDを再生する

1 再生するDVDを入れる。

2 録画中に（ホーム）を押す。

3 ←→で を選ぶ。

4 ↑↓で を選んで、（決定）を押し、さらに↑↓で見たいDVDのタイトルを選び、（決定）を押す。

見たい場面を探す

ご注意はP51へ

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD

便利に場面を探すことができます。通常の早送り/早戻しなどの操作については46ページをご覧ください。

すばやく見たい場面にとばす（ワープモード）

ワープモードを使うと、再生中のタイトル内ですばやく場面を移動できます。

1 **再生中または一時停止中に ◯（ワープ）を押す。**

ワープモードになり、画面下部にバーとワープインジケーター（現在位置を表示する四角）が表示されます。

再生中の場合、画面は一時停止します。

ワープインジケーター

2 **⬅➡で、見たい場面の位置までワープインジケーターを動かす。**

バー上のワープインジケーターは場面のおおよその位置を表示します。

3 **見たい場面の位置まで来たら、ボタン操作をやめる。**

ワープインジケーターを止めた位置の場面が一時停止で表示されます。

場面を選び直すには、⬅➡を押して、インジケーターの位置を動かします。

4 **◯（ワープ）、（決定）（決定）、または（▷）（再生）を押す。**

再生が始まります。

ちょっと一言

⏪⏩（早送り/早戻し）を押しても、⬅➡と同様の操作ができます。

ワープモードを途中でやめるには

◯（ワープ）、（決定）（決定）、または（▷）（再生）を押します。

押した場面から再生が始まります。

チャプター番号やタイトル番号で頭出しする

タイトル内にチャプターマーク（HDD/DVD）がある場合、それを選んで頭出しをすることができます。チャプターマークの付けかたについて詳しくは、「手動でチャプターマークを入れる/消去する」（50ページ）をご覧ください。

また、市販のDVDビデオでは、タイトル番号を選んで頭出しすることができます。

1 **再生中または一時停止中に（オプション）（オプション）を押して［チャプターサーチ］または［タイトルサーチ］を選び、（決定）（決定）を押す。**

チャプター番号/タイトル番号入力画面が表示されます。

例：チャプターサーチの場合

チャプター番号入力画面

2 **①～⑩ で見たいチャプター番号またはタイトル番号を入力し、⑫/確定を押す。**

数字を間違えた場合は、◯（クリア）を押してから、もう一度入力し直してください。

場面が少しの間一時停止したあと、再生が始まります。

手動でチャプターマークを入れる/消去する

HDD -RWVR -RVR

チャプター番号で頭出しするには、あらかじめチャプターマークを付ける必要があります。

チャプターマークを入れるには

再生/再生一時停止中、または録画/録画一時停止中に、タイトルをチャプターとして分けたい場面で ⬭（チャプター書込み）を押します。画面上に「チャプターマーク書込み」が表示され、5秒で消えます。
マークの前後のシーンが別々のチャプターになります。

チャプターマークを消去するには

再生中にチャプターマークを消して、2つのチャプターを結合することができます。
⏮（前）または ⏭（次）でチャプター番号を探します。消去したいチャプターマークのチャプターを再生しているときに、⬭（チャプター消去）を押します。
現在再生中のチャプターと1つ前のチャプターが結合され、1つのチャプターになります。

ちょっと一言

1つ目のチャプターマークは、自動的にタイトルの先頭に付きます。このチャプターマークは消去できません。

再生

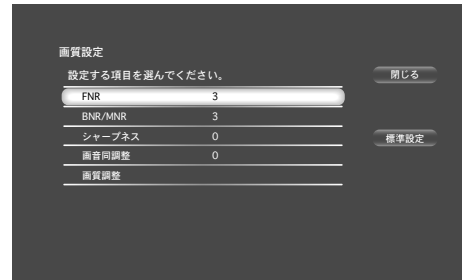
再生の画質・音質を調整する

再生するときの画質や音声を設定することができます。

画質を調整する

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD

1 **（オプション）を押して「画音設定」－［画質設定］を選び、（決定）を押す。**

画質設定画面が表示されます。

2 **各設定項目を選び、（決定）を押す。**

項目	設定
FNR	画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減するための調整を行います。
BNR/MNR	画面上にモザイクのように現れるブロックノイズや画像の輪郭部に現れる細かいノイズ（モスキートノイズ）を低減するための調整を行います。
シャープネス	画像の輪郭を調整するための設定を行います。
画音同期調整	画像と音声のずれを調整するための設定を行います。画像に対して音声を遅らせます（0 ～ 100ミリ秒）。
画質調整*	各項目ごとに画質を調整します。調整する項目を選び、（決定）を押します。 • コントラスト ⇨ コントラストを調整する。 • ブライトネス ⇨ 全体の明るさを調整する。 • 色の濃さ ⇨ 色をより濃く、またはより薄く調整する。 • 色合い ⇨ 色のバランスを調整する。

* 視聴中のテレビ映像と再生中のタイトルにのみ効果があります。

［標準設定］を選び、（決定）を押すと、すべての設定を標準値に戻せます。

3 ↑↓←→で設定を選び、または調整し、(決定)を押す。

お買い上げ時の設定は、下線の数値です。

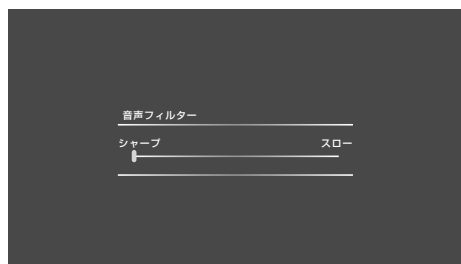
項目	設定
FNR	(弱) 切 1 2 3 (強)
BNR/MNR	(弱) 切 1 2 3 (強)
シャープネス	(弱) -3 ~ 0 ~ 3 (強)
画音同期調整	(短) 0 ~ 100msec(長)
画質調整	
コントラスト	(弱) -3 ~ 0 ~ 3 (強)
ブライトネス	(暗) -3 ~ 0 ~ 3 (明)
色の濃さ	(薄) -3 ~ 0 ~ 3 (濃)
色合い	(赤) -3 ~ 0 ~ 3 (緑)

他の項目も調整するときは、手順2 ~ 3を繰り返します。

音声を調整する[音声フィルター]

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo DVD CD DATA CD

1 (オプション)を押して「画音設定」-[音声フィルター]を選び、(決定)を押す。

音声フィルター画面が表示されます。

2 音声フィルターを設定し、(決定)を押す。

項目	設定
シャープ	フラットな音質で明瞭な音像定位が得られます。通常はこの設定にします。
スロー	雰囲気のあるあたたかい音が得られます。

この機能は、デジタル音声出力には効果ありません。

再生に関するご注意・制約事項

ご注意 再生全般

予約録画中などタイトルのサムネイルが表示されないことがあります。

ご注意 追いかけ再生・同時録画再生

- 以下のDVD-RW(VRモード)の場合、この機能は使えません。
  - 1倍速対応のDVD-RW
  - 録画モードがHQまたはHSPのとき
- DVDでは、早送り·早戻し、フラッシュ+/−やワープ操作は、静止画が数秒ほど続いた後に動作します。録画開始後、数分たたないと追いかけ再生できません。
- デジタル放送をDR以外のモードで録画中は、DRモードのタイトルは再生できません

ご注意 見たいタイトル・場面を探す

すばやく見たい場面にとばす(ワープモード)

短いタイトルでは、ワープ操作ができない場合があります。

チャプター番号やタイトル番号で頭出しする

市販のDVDビデオによっては頭出しできないことがあります。

手動でチャプターマークを入れる

- 1タイトル中に入れられるチャプターマークは、VRモードのDVD-RWとDVD-Rで最大999個、HDDでは最大99個です。
- チャプターマークを入れる間隔が短すぎると、チャプターマークが入れられないことがあります。
- チャプターマークを追加できないときはメッセージが表示されます。この場合、HDDやDVDの録画や編集ができなくなることがあります。
- ダビングした場合、ダビング元のチャプターマークは残りません。
- 追いかけ再生、同時録画再生中はチャプターマークを追加/削除することはできません。

ご注意 画質・音声を調整する

画質を調整する

再生している場面によっては、FNRやBNR、MNRの効果がわかりにくいことがあります。

音声を調整する［音声フィルター］

ディスクの種類や視聴条件によっては、音声フィルターの効果がわかりにくいことがあります。

ご注意 DTS音声再生時のご注意

CDを再生する場合

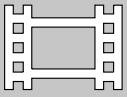
DTSで記録されたCDを再生するとアナログ出力からは極端に大きなノイズがでます。また、再生条件により、デジタル接続の場合でもノイズが出ることがあります。本機のアナログ出力をアンプにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS Digital Surround™の再生をお楽しみいただくには、本機のデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surround™デコーダーを接続する必要があります。

DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないでいるときに、CDのDTS音声を再生すると、接続した機器の音声出力から異音が出ます。CDのDTS音声を再生するときは、（音声切換）を繰り返し押して、音声を「ステレオ」に設定してください(24ページ)。

DVDを再生する場合

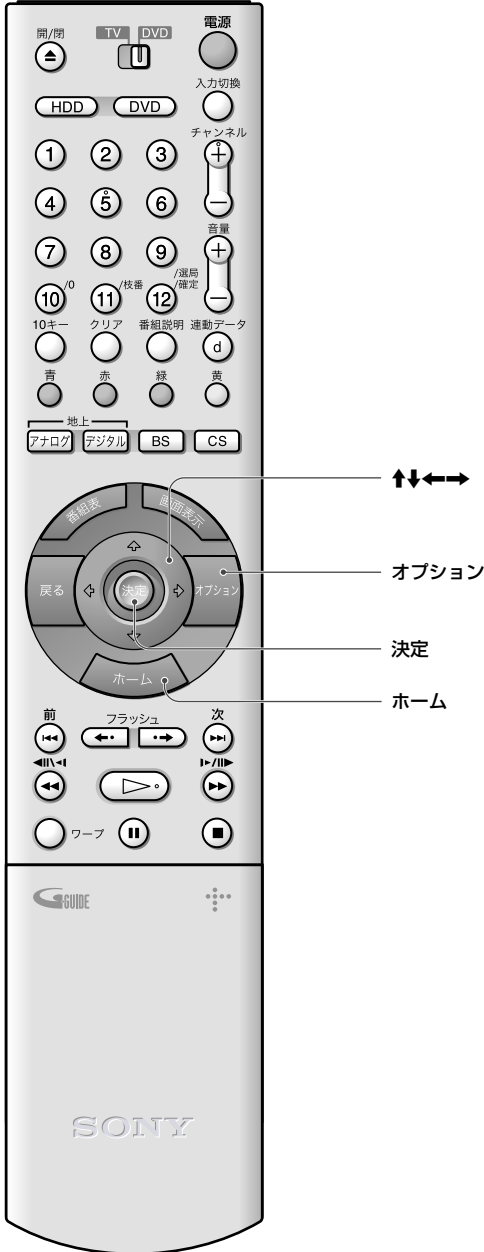
DTS音声信号はデジタル音声出力端子から出力します。の［音声設定］で［DTS］を［入］にしてください(▶「接続・準備編」の「音声を設定する」－「デジタル音声を設定する［音声デジタル出力］［ドルビーデジタル］［AAC］［DTS］［48kHz/96kHz PCM］」)。

ご注意 タイトルリストに関するご注意

- 他のDVD機器で録画したDVDは元のタイトル名が表示されないことがあります。
- サムネイルの表示に時間がかかることがあります。
- DVDに記録できない文字は消去されます。ただし、N と 天 はそれぞれ「N」と「天」に置き換えられます。
- DVD-RW(VRモード）やDVD-R(VRモード）で画面横縦比（16:9と4:3)が混在しているタイトルは、サムネイルの縦横比が正しく表示できないことがあります。

消去・編集

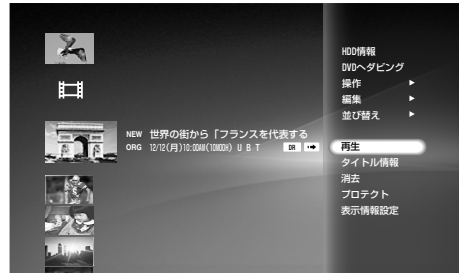
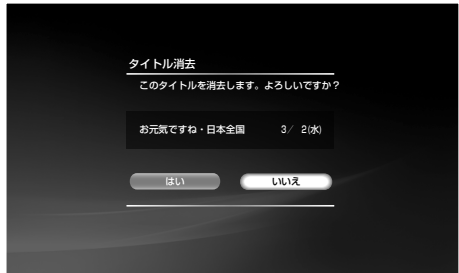
タイトルを消去する

ご注意はP61へ

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

1 ホーム（ホーム）を押す

2 ←→で 🎞 を選ぶ

3 ↓↑で消去したい映像（タイトル）を選び、オプション（オプション）を押す

DVDの場合は、↑↓で ● を選んで 決定（決定）を押し、さらに↑↓で消去したいディスクタイトルを選んで、オプション（オプション）を押します。

4 ↓↑で［消去］を選び、決定（決定）を押す

5 確認画面で［はい］を選び、決定（決定）を押す

タイトルが保護されているときは、確認画面で［プロテクト解除］を選び、決定（決定）を押します。

タイトルを編集する

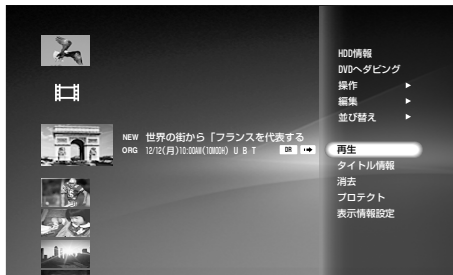
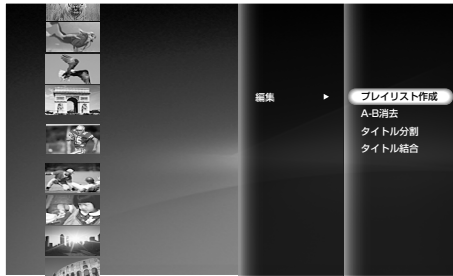
ご注意はP61へ

HDD +RW -RW VR

ここでは基本的な編集について説明します。タイトルを編集した後は、元の状態に戻すことができないのでご注意ください。元の録画を変えずに編集したいときは、プレイリストを作成してください(HDD、DVD-RW(VRモード)のみ)(56ページ)。なお、録画中は編集できません。

1 (ホーム)を押す。

2 ←→で を選び、 (オプション)を押す。

DVDの場合は、↑↓で を選んで (決定)を押し、 (オプション)を押します。

3 [編集]を選び、 (決定)を押す。

4 やりたい編集を選び、 (決定)を押す。

それぞれの編集操作について詳しくは、55 ~ 56ページをご覧ください。

タイトルの一部を消去する[A-B消去]

HDD +RW -RW VR

タイトル内の一部分(シーン)を選んで消去することができます。シーン消去後は元の状態に戻すことができないので、ご注意ください。

1 「タイトルを編集する」の手順4で、[A-B消去]を選び、 (決定)を押す。

2 タイトルを選び、 (決定)を押す。

3 (早送り/早戻し)などを使って消去開始場面(A点)を選び、さらに[A点設定]を選んで、 (決定)を押す。

4 (早送り/早戻し)などを使って消去終了場面(B点)を選び、さらに[B点設定]を選んで、 (決定)を押す。

A点とB点が矢印で表示されます。

B点を先に設定することもできます。

5 [確定]を選び、 (決定)を押す。

6 [はい]を選び、 (決定)を押す。

A点からB点までのシーンが消去されます。

ちょっと一言

シーンを消去した場所にはチャプターマークが入り、前後のシーンはそれぞれ別のチャプターになります。

タイトルを2つに分ける[タイトル分割]

HDD -RWVR

長時間のタイトルを画質を落とさずにディスクにダビングしたいときなどは、タイトルを分割します。
HDDでは、オリジナルタイトルとプレイリストタイトルを分割でき、DVD-RW(VRモード)ではプレイリストタイトルのみを分割できます。
DRモード以外で録画したオリジナルタイトルは、分割すると元に戻せないのでご注意ください。

1 「タイトルを編集する」の手順4で、[タイトル分割]を選び、(決定)を押す。

2 タイトルを選び、(決定)を押す。

3 (早送り/早戻し)などを使って2つに分ける場面を選び、さらに[確定]を選んで、(決定)を押す。

4 [はい]を選び、(決定)を押す。

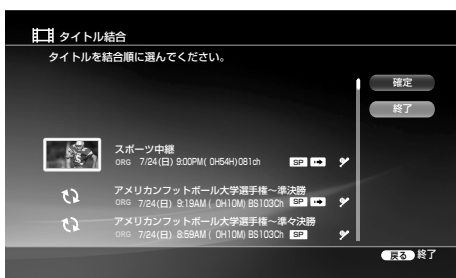
5 分割した後のタイトル名を変更するか選ぶ。
[はい]を選ぶと、タイトル名を変更します。タイトル名を入力後、タイトルが分割されます。
[いいえ]を選ぶと、元のタイトル名を両方のタイトルに使います。

複数のタイトルを1つにする[タイトル結合]

HDD -RWVR

次の場合、タイトルの結合ができます。

- DRモードのプレイリストタイトル同士
- DRモード以外のプレイリストタイトル同士
- DRモードで録画したオリジナルタイトル同士

1 「タイトルを編集する」の手順4で、[タイトル結合]を選び、(決定)を押す。

2 結合するタイトルを選び、(決定)を押す。
もう一度押すと取り消すことができます。

3 手順2を繰り返して、結合したいタイトルをすべて選ぶ。
最初に選んだタイトルに結合できないタイトルは選べない状態になります。
タイトルは、選んだ順に結合されます。

4 [確定]を選び、(決定)を押す。
選んだタイトルからタイトル名を選ぶ画面が表示されます。

5 使いたいタイトル名を選び、(決定)を押す。
[文字入力]を選ぶと、新しくタイトル名を入力できます。
[再選択]を選ぶと、前の画面に戻って再び結合するタイトルを選び直せます。

お好みの場面を集めたタイトルリストを作成する[プレイリスト作成]

HDD -RWVR

オリジナルのタイトルや他のプレイリストのタイトルから映像の範囲(シーン)を選び、新しいプレイリストのタイトルを作成します。1タイトルにつき50シーンまで設定できます。
オリジナルとプレイリストについては、「HDD、DVD-RW(VRモード)の編集」(60ページ)をご覧ください。
「1回だけ録画可能」のコピー防止信号が付いたタイトルを含むプレイリストは、ダビングができないのでご注意ください。

1 「タイトルを編集する」の手順4で、[プレイリスト作成]を選び、(決定)を押す。
プレイリスト作成タイトル選択画面が表示されます。

2 プレイリストに含めたいタイトルを選び、(決定)を押す。
選んだタイトルの再生が最初から、または以前に再生したつづきから始まります。

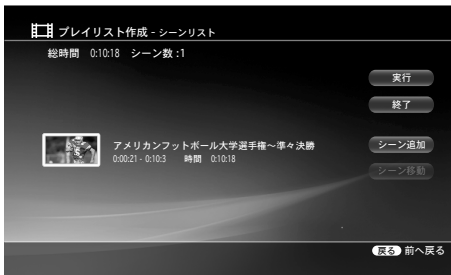
3 (早送り/早戻し)などを使って開始点(イン点)を選び、さらに[イン点設定]を選んで、(決定)を押す。
タイトル全体を1つのシーンとして追加するには、[全切出し]を選びます。

4 ⏪ ⏩（早送り/早戻し）などを使って終了点（アウト点）を選び、さらに［アウト点設定］を選んで、（決定）を押す。

イン点とアウト点が矢印で表示されます。

アウト点を先に設定することもできます。

5 ［確定］を選び、（決定）を押す。

選んだシーンの一覧（シーンリスト）が表示されます。

項目名	説明
シーン追加	同じプレイリストに追加したい別のシーンを選びます。手順2～5を繰り返します。
シーン移動	シーンの順番を変えます。

シーンリスト画面でシーンを選んで（決定）を押すと、シーンの消去、またはイン点とアウト点の修正ができます。

6 ［確定］を選び、（決定）を押す。

プレイリストのタイトルができます。タイトル名を設定する画面が表示されます。

［文字入力］を選ぶと、新しくタイトル名を入力できます。

ちょっと一言

プレイリストのタイトルを作成すると、設定したイン点がチャプターマークになり、それぞれのシーンがそのままチャプターになります。

タイトルを誤って消さないようにする［プロテクト設定］

ご注意はP61へ

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

誤ってタイトルを消去しないよう、タイトルごとにプロテクト（保護）の設定をします。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↓↑でタイトルを選び、（オプション）を押す。

DVDの場合は、↑↓で を選んで（決定）を押し、さらに↑↓でディスクタイトルを選んで、（オプション）を押します。

4 ［プロテクト］を選び、（決定）を押す。

タイトルが保護され、🔒が表示されます。

プロテクト設定を解除するには

手順4で［プロテクト解除］を選び、（決定）を押します。タイトルから🔒が消えます。

複数のタイトルを消去する［選択消去］

ご注意はP61へ

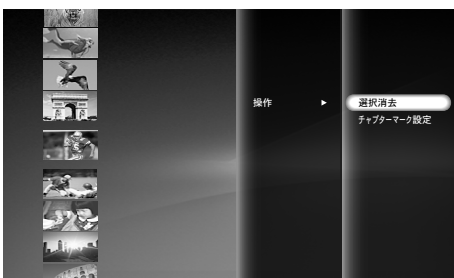
HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

複数のタイトルを選んでまとめて消去します。

1 （ホーム）を押す。

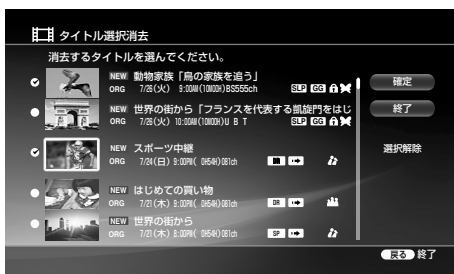
2 ←→で を選び、（オプション）を押す。

DVDの場合は、↑↓で を選んで （決定）を押し、（オプション）を押します。

3 ［操作］を選び、（決定）を押す。

4 ［選択消去］を選び、（決定）を押す。

5 消去したいタイトルを選び、（決定）を押す。

選んだタイトルの横のボックスに、チェックマークが付きます。チェックマークを消すには、もう一度 （決定）を押します。［選択解除］を選ぶと、すべてのチェックマークが消えます。

プロテクトが設定されているタイトルを選んだときは、確認画面で［プロテクト解除］を選び、プロテクトを解除してください。

6 手順5を繰り返して、消去したいタイトルをすべて選ぶ。

選んだタイトルの横のボックスに、チェックマークが付きます。

7 ［確定］を選び、（決定）を押す。

8 ［はい］を選び、（決定）を押す。

チャプターマークを付ける［チャプターマーク設定］

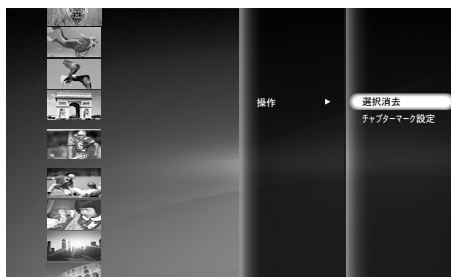
HDD -RWVR -RVR

6分間隔または15分間隔でチャプターマークを付けることができます。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選び、（オプション）を押す。

DVDの場合は、↑↓で を選んで （決定）を押し、（オプション）を押します。

3 ［操作］を選び、（決定）を押す。

4 ［チャプターマーク設定］を選び、（決定）を押す。

5 チャプターマークを付けたいタイトルを選び、（決定）を押す。

6 チャプターの間隔（［6分］または［15分］）を選び、（決定）を押す。

チャプターマークが付きます。

チャプターマークを消去するには

1 手順6で、［全消去］を選び、（決定）を押す。

タイトルの表示情報を変更する

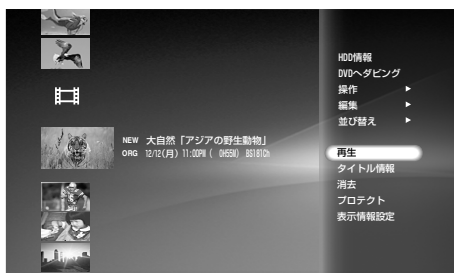
HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

タイトル名、画面(サムネイル)、およびタイトルに付くマークを変更します。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓でタイトルを選び、 （オプション）を押す。

DVDの場合は、↑↓で を選んで （決定）を押し、さらに↑↓でディスクタイトルを選んで、 （オプション）を押します。

4 ［表示情報設定］を選び、 （決定）を押す。

タイトル表示情報設定画面が表示されます。

5 ←→で変更したい項目を選び、 （決定）を押す。

それぞれの操作について詳しくは、以下をご覧ください。

タイトルの名前を変更する［名前変更］

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

1 「タイトルの表示情報を変更する」の手順5で、［名前変更］を選び、 （決定）を押す。

2 キーボードが表示されるので、新しいタイトル名を入力する（73ページ）。

サムネイル画像を変更する［サムネイル設定］

HDD -RWVR -RVR

1 「タイトルの表示情報を変更する」の手順5で、［サムネイル設定］を選び、 （決定）を押す。

2 （早送り/早戻し）などを使って場面を選び、さらに［確定］を選んで、 （決定）を押す。

3 ［はい］を選び、 （決定）を押す。

マークを変更する［マーク設定］

HDD

タイトルにマークを設定します。30種類のマークから選べます。

1 「タイトルの表示情報を変更する」の手順5で、［マーク設定］を選び、 （決定）を押す。

2 ↑↓←→でマークを選び、 （決定）を押す。

未視聴マークをつける［NEW設定］

HDD

再生したことがないタイトルに付いているNEWマークをはずしたり、視聴後に再度付けたりできます。

1 「タイトルの表示情報を変更する」の手順5で、付けるときは［NEW設定］を、はずすときは［NEW解除］を選び、 （決定）を押す。

編集に関するご注意・制約事項

- 編集する前にディスクの種類を本体表示窓(95ページ)で確認して、編集機能をお選びください。
- 編集中にディスクを取り出したり、予約録画が始まると、編集内容が取り消されることがあります。
- DVDビデオカメラで作成したフォトムービーなどは編集できないことがあります。

HDD、DVD-RW(VRモード)の編集

HDD、DVD-RW(VRモード)では編集方法が2つあります。「**オリジナル**」と呼ばれる実際に録画したそのままの映像を編集する方法と、「**プレイリスト**」と呼ばれる仮想映像(オリジナルの映像を元に作る)を編集する方法です。それぞれ性質も長所も異なりますので、以下を読んで、より用途に適した方を選んでください。

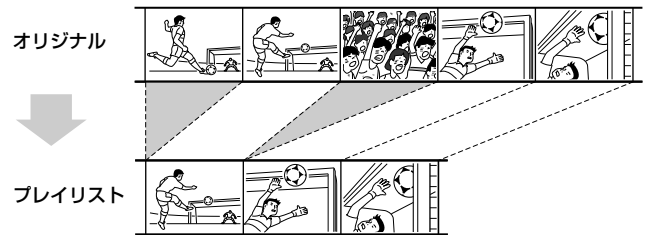
「オリジナル」を編集する

一度編集を行うと、元の状態に戻すことはできません。元の録画内容を全く変えずに保存しておきたいときは、プレイリストを作って編集してください。オリジナルのタイトルでは以下の編集ができます。

－誤消去しないように、タイトルを保護する(57ページ)。
－タイトルの名前を変更する(59ページ)。
－1つのタイトルを消去する(54ページ)。
－タイトル内の一部を消去する(A-B 消去)(55ページ)。
－複数のタイトルを消去する(58ページ)。
－1つのタイトルを2つのタイトルに分割する(HDDのみ、56ページ)。
－複数のタイトルを1つのタイトルに結合する(HDDのみ、56ページ)。

「プレイリスト」を作成・編集する

プレイリストとは、オリジナルのタイトルから編集用に作られた、仮想映像のことです。プレイリストのタイトルを作ると、再生順など、再生に必要な管理情報だけをディスクに保存します。オリジナルのタイトルは元の状態なので、何度でも編集をやり直すことができます。

例:サッカーの決勝トーナメントの数試合をDVD-RW(VRモード)に録画した。ゴール場面などのハイライトシーンでダイジェストを作りたいが、元の録画も残しておきたい。
このような場合、ハイライトシーンを集めることができます(「お好みの場面を集めたタイトルリストを作成する[プレイリスト作成]」、56ページ)。

このようにして作られたプレイリストのタイトルにはさまざまな編集ができます。

－誤消去しないように、タイトルを保護する(HDDのみ)(57ページ)。
－タイトルの名前を変更する(59ページ)。
－1つのタイトルを消去する(54ページ)。
－タイトル内の一部を消去する(A-B 消去)(55ページ)。
－複数のタイトルを消去する(58ページ)。
－1つのタイトルを2つのタイトルに分割する(56ページ)。
－複数のタイトルを1つのタイトルに結合する(56ページ)。

ご注意

- データ元のオリジナルのタイトルは消去や編集ができなくなります。
- 「管理情報がいっぱいです」が画面に表示されたら、いらないタイトルを消去してください。

「1回だけ録画可能」のコピー防止信号が記録されているタイトルを含むプレイリストのタイトルをダビング/移動することはできません。ダビング/移動できないタイトルには、(コピー禁止マーク)が付きます。

消去・編集

DVD+RW、DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-R（ビデオモード）の編集

かんたんな編集をすることができます。一度編集を行うと、元の状態に戻すことはできません。以下の編集ができます。
－誤消去しないように、タイトルを保護する（57ページ）。
－タイトルの名前を変更する（59ページ）。
－1つのタイトルを消去する（54ページ）。
－タイトル内の一部を消去する（A-B消去）（DVD+RWのみ）（55ページ）。
－複数のタイトルを消去する（58ページ）。

ご注意

- DVDをファイナライズすると、編集や録画はできなくなります（DVD+RWは除く）。
- プレイリストを作ることはできません。
- 「管理情報がいっぱいです」が画面に表示されたら、いらないタイトルを消去してください。
- DVD+RWでA-B消去すると、消去される場面が設定と若干ずれることがあります。
- A-B消去した場所の画像や音声が途切れることがあります。
- 5秒未満のシーンは、A-B消去できないことがあります。

ご注意 タイトルを消去する

- プレイリストから参照されているオリジナルタイトルを消去することはできません。
- 消去して増える残量は、タイトル情報の容量を目安にしてください。プレイリストタイトルでもタイトル情報に容量が表示されますが、プレイリストタイトルは消去しても残量は増えません。
- DVD-R/+Rでは消去しても録画できる時間は増えません。

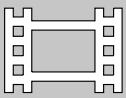
ご注意 タイトルを編集する

- DVD-RW（ビデオモード）とDVD+R、DVD-Rでは、編集を終えてからファイナライズしてください。ファイナライズ後は編集できません。
- DVD-RW（ビデオモード）とDVD-R、DVD+Rでは、A-B消去できません。
- A-B消去した場所の画像や音声が途切れることがあります。
- 5秒未満のシーンは、A-B消去できないことがあります。
- プレイリストを作成すると、編集したシーンを再生するとき、画像が一時停止することがあります。
- 結合するタイトル中のチャプター数の合計が上限を超えるときは、後方のチャプターが結合されて1つのチャプターになります。

ご注意 タイトルを誤って消さないようにする［プロテクト設定］

DVD-RW（VRモード）のプレイリストタイトルを保護することはできません。

ご注意 複数のタイトルを消去する［選択消去］

- プレイリストから参照されているオリジナルタイトルを消去することはできません。
- 消去して増える残量は、タイトル情報の容量を目安にしてください。
- DVD-R/+Rでは消去しても録画できる時間は増えません。

ディスクダビング

タイトルをダビングする［タイトルダビング］

ご注意はP66へ

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

1 （ホーム）を押す

2 ←→で を選ぶ

3 ↑↓で［HDD→DVDダビング］または［DVD→HDDダビング］を選び、（決定）を押す

タイトル選択画面が表示されます。

4 ↑↓でダビングしたいタイトルを選び、（決定）を押す

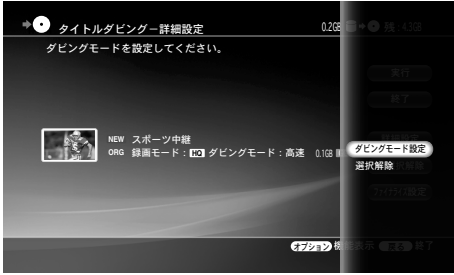
最大30個までタイトルを選ぶことができます。ダビングモードは元の録画モードと同じ設定になります（高速ダビング可能なタイトルは「高速ダビング」に設定されます）。なお、ダビングモードは変更できます（「ダビングモードを変更するには」、65ページ）。

5 ［実行］を選び、（決定）を押す

ダビング実行中画面が表示され、タイトルのダビングが始まります。

※HDDにDRモードで録画されたタイトルは、自動的にHQモードや他のモードに設定されます。

オプションでできること

使用状況によって表示されるオプションが異なります。

タイトルダビングー詳細設定画面でできること

項目	できること
ダビングモード設定	ダビングモードを設定します(65ページ)。
信号選択	ダビングする信号を設定します。
選択解除	タイトルの選択を解除し、ダビング選択リストから消去します。

ダビングをする前に…

- 本機ではいろいろな種類のディスクにダビングできます。目的に合ったディスクを選んでください(12ページ)。
- ダビング中は他の操作は出来ません。
- DVD+RW、DVD-RW(ビデオモード)、DVD+R、DVD-R(ビデオモード)では音声多重放送を記録できません。音声多重放送のタイトルをダビングするときは、音声の種類([主音声]または[副音声])を選んでください(➡「接続・準備編」の「録画・再生の設定をする」-「DVD-RW/R(VRモード)以外のDVDへ録画する音声を設定する[DVD二重音声記録]」)。
- ダビング中は予約録画ができません。ダビングの前にまもなく始まる予約がないかを予約リストで確認してください。
- HDDからDVDへダビングする場合、🧰から[ビデオ設定]ー[自動チャプターマーク]の設定(6分/15分/切)に合わせて、チャプターマークが書き込まれます。ダビング元のチャプターマークは引き継ぎません。
- 画面横縦比(16:9と4:3)が混在しているタイトルでは、HDDからDVD-RW(ビデオモード)、DVD-R(ビデオモード)にダビングする場合、「DVD録画横縦比」(38ページ)で設定した映像サイズでダビングされます。HDDからDVD+RW、DVD+Rにダビングする場合は、常に4:3でダビングされ、DVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)にはダビング元の映像サイズのままダビングされます。

ちょっと一言

- HDD、DVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)のプレイリストタイトルはオリジナルタイトルとしてダビングすることができます。
- DVDからHDDにダビングする場合、ディスクの映像サイズや音声の種類はそのままダビングされます。
- タイトルダビング中に本機の電源を切ることができます。電源を切ってもダビングは続きます。

タイトルダビング画面の見かた

1 **ファイナライズマーク**
ダビング完了後にファイナライズする設定になっている場合、表示されます。

2 **ダビングする全タイトル容量**

3 **ダビングの方向**

4 **ダビング先の残量（目安）**

5 **ダビングする順番**

6 **タイトルの種類**
NEW: 再生したことがないタイトル。
ORG/PL: オリジナルタイトルかプレイリストタイトルかを表します。

7 **マーク**
DR/HQ/HSP/SP/LSP/LP/EP/SLP/SEP: 録画モード
GG:Gガイド
（ムーブ）: ダビングすると元のメディアからはなくなるタイトル（移動）
（ムーブ不可）:他のメディアにダビングできないタイトル
（更新）: 更新録画したタイトル
（プロテクト）:保護されているタイトル

8 **ボタン**
詳細設定:タイトルダビングー詳細設定画面で、タイトルごとにダビングの設定ができます（65ページ）。
全選択解除:ダビング対象に選んだタイトルをすべて取り消します。
ファイナライズ設定*:ダビング完了後ディスクのファイナライズを行うか設定します。
* DVDへのダビング時のみ（DVD+RWを除く）

ダビングモードについて

本機はダビング時の録画モードを「ダビングモード」と表示します。録画モードを変えずにすばやくダビングする高速ダビングと、ダビング元とは異なる録画モードに変換してデータ量を減らす録画モード変換ダビングがあります。以下を読んで所要時間やディスク容量、画質に合わせてお選びください。

すばやくダビングする（高速ダビング）

HDD ➡ +RW/-RWVR/-RWVideo/+R/-RVR/-RVideo

HDDに録りだめした内容を高速記録対応のDVDに、録画モードを変えずに高速でダビングすることができます。
画質を落とした録画モードでは、さらに速くダビングできます。
タイトルダビングやタイトル選択ダビング時の［ダビングモード］で、［高速］を選んで実行します（65ページ）。
最短の所要時間は次の表のようになります（目安）。
DRモードで録画されたタイトルを、DVDにダビングする場合はDRモードは選べません。別の録画モードを選んでください。ダビング速度は等倍になり、ハイビジョン画質ではなくなります。

HDDからDVDへの高速ダビング所要時間一覧（60分番組の場合）[1]

速度[2]	6倍速[3]	6倍速	8倍速[4]	8倍速[4]	2.4倍速
モード	DVD+RW	DVD-RW	DVD+R	DVD-R	DVD+R DL
HQ	10分	10分	8分	8分	25分
HSP	6分40秒	6分40秒	5分	5分	16分40秒
SP	5分	5分	3分45秒	3分45秒	12分30秒
LSP	4分	4分	3分	3分	10分
LP	3分20秒	3分20秒	2分30秒	2分30秒	8分20秒
EP	2分30秒	2分30秒	2分	2分	6分15秒
SLP	60分[5]	1分40秒	60分[5]	1分15秒	60分[5]
SEP	60分[5]	1分15秒	60分[5]	56秒	60分[5]

1) 表中の時間は目安です。実際の所要時間には、ディスク管理情報の作成時間も加わります。
2) 本機の記録速度の最大値です。ディスクの状態によっては、この値と異なる場合があります。また、最大値を超える記録速度のディスクには、この値で記録できないことがあります。
3) 6倍速を超えるDVD+RWを使用しても、本機のドライブ速度は最大6倍速です。
4) 8倍速を超えるDVD+R/DVD-Rを使用しても、本機のドライブ速度は最大8倍速です。
5) 録画モードがSLP、SEPのタイトルは、DVD+RWおよびDVD+Rに高速ダビングできません。

録画モードを変えてダビングする（録画モード変換ダビング）

HDD ⟷ +RW/-RW VR/-RW Video/+R/-R VR/-R Video

HDDからDVD、またはDVDからHDDの双方向へ、ダビング元とは異なる録画モードを設定してダビングします。たとえば、高画質でデータ量の多いHQで録画したタイトルを、データ量の少ない[SP]に設定して変換ダビングすると、少ないディスク容量でたくさん保存することができます。
タイトルダビングやタイトル選択ダビング時の[ダビングモード]で、[SP]などダビング元とは異なる録画モードを選んで実行します（65ページ）。
HQまたはHQ+でHDDに録画したタイトルをHSP～SEPの録画モードで変換ダビングした場合、タイトル全体として自動的に最適なビットレートを配分します。これにより画質の劣化を最小限に抑えます。

ダビングモードを自動で調整してダビングする

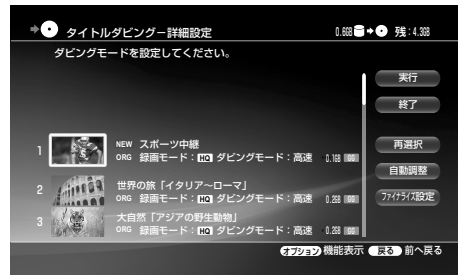
HDD ⟷ +RW/-RW VR/-RW Video/+R/-R VR/-R Video

ダビング先の残量が足りないときは、ダビング実行時に「残量が足りないためダビングできません。」と画面に表示されます。
ダビングモードを調整することによりダビングが可能になる場合は、「ダビングモードを自動調整して実行しますか？」と表示されます。この画面で[はい]を選ぶと、ダビング先の残量に合わせてダビングモードの設定を自動で変更してダビングします。タイトルダビング―詳細設定画面で[自動調整]を選んで（決定）を押しても、ダビングモードの自動調整ができます。

ちょっと一言

編集して作られたタイトルで録画モード変換ダビングをすると、シーンの継ぎ目がなめらかになります。

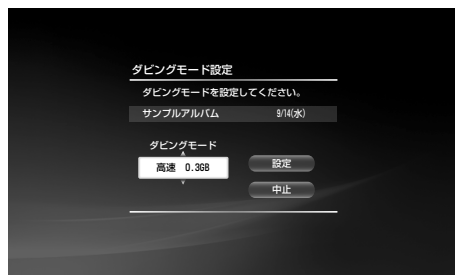
タイトルごとに設定するには

「タイトルをダビングする[タイトルダビング]」（62ページ）の手順**4**で[詳細設定]を選び、（決定）を押すと、タイトルダビング―詳細画面から、ダビングに関する細かい設定ができます。

タイトルダビング－詳細設定画面でボタンを選んで、（決定）を押し、下記の設定を行ってください。

項目	できること
再選択	手順**4**に戻って、タイトルを選び直します。
自動調整	ディスクの残量に合わせてダビングモードを設定します。
ファイナライズ設定	ダビング完了後にファイナライズを行う設定を有効にします。

ダビングモードを変更するには

1　タイトルダビング－詳細設定画面でタイトルを選び、（決定）を押す。

ダビングモード設定画面に切り換わります。

2　ダビングモードを選び、（決定）を押す。

高速*/HQ/HSP/SP/LSP/LP/EP/SLP/SEPから好みのダビングモードを選びます。

* HDDからDVDへのダビング時のみ表示されます。また、高速ダビングができるタイトルの場合のみ表示されます。

ダビングする信号を設定するには

複数の映像または音声が記録されているタイトルのみ設定できます。

1 **タイトルダビングー詳細画面でタイトルを選び、（オプション）を押し、［信号選択］を選ぶ。**
信号選択画面に切り換わります。

2 **←→で［映像］または［音声］を、↑↓でダビングする信号を選ぶ。**

3 **［確定］を選び、（決定）を押す。**

ダビングを途中でやめるときは

タイトルダビング画面で（決定）を押します。確認画面で、［はい］を選び、（決定）を押します。録画が止まるまでに数十秒かかることがあります。

ディスクダビングに関するご注意・制約事項

- 本機ではいろいろな種類のディスクにダビングできます。目的に合ったディスクを選んでください（12ページ）。
- DVD+RW、DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-R（ビデオモード）では音声多重放送を記録できません。音声多重放送のタイトルをダビングするときは、音声の種類（［主音声］または［副音声］）を選んでください（▶「接続・準備編」の「録画・再生の設定をする」－「DVD-RW/R（VRモード）以外のDVDへ録画する音声を設定する［DVD二重音声記録］」）。
- ダビング中は予約録画ができません。ダビングの前にまもなく始まる予約がないかを予約リストで確認してください。
- HDDからDVDへダビングする場合、から［ビデオ設定］ー［自動チャプターマーク］の設定（6分/15分/切）に合わせて、チャプターマークが書き込まれます（▶「接続・準備編」の「録画・再生の設定をする」）。ダビング元のチャプターマークは引き継ぎません。
- 画面横縦比（16:9と4:3）が混在しているタイトルでは、HDDからDVD-RW（ビデオモード）、DVD-Rにダビングする場合、「DVD録画横縦比」（38ページ）で設定した映像サイズでダビングされます。HDDからDVD+RW、DVD+Rにダビングする場合は、常に4:3でダビングされ、DVD-RW（VRモード）、DVD-R(VRモード)にはダビング元の映像サイズのままダビングされます。
- HDDやDVDの状態などにより、手順どおりに動作しない場合があります。画面のメッセージにしたがって操作してください。
- 「管理情報がいっぱいです」と画面に表示されたら、タイトルを消去してください（54ページ）。
- 市販のDVDから本機のHDDにダビングすることはできません。
- 本機で録画したタイトルであっても、ダビングできないことがあります。

ご注意 ダビングモードについて

すばやくダビングする（高速ダビング）

- 以下のタイトルは高速ダビングができません。録画モード変換ダビングを行ってください。
  －DRモードで録画したタイトル
  －HQ+の録画モードで録画したタイトル
  －音声多重放送を主音声、副音声とも録音したタイトル
  （DVD-RW（VRモード）およびDVD-R（VRモード）以外）
  －画面横縦比（4:3や16:9など）が混在するタイトル
  （DVD-RW（VRモード）およびDVD-R（VRモード）以外）
  －SLP、SEPの録画モードで録画したタイトル（DVD+RWとDVD+Rのみ）
- DVD+RW、DVD-RW（ビデオモード）、DVD+R、DVD-R（ビデオモード）に高速ダビングすると、消去した画像が一部残ることがあります。

録画モードを変えてダビングする（録画モード変換ダビング）

録画モード変換ダビングで、ダビング元の録画モードより高画質の録画モードに変換しても画質は良くなりません。

ご注意 ダビングの制限について

本機では以下のダビングと移動ができます。
映画などの市販ソフトはHDDにダビングできません。また、DVDからHDDへのダビングで、コピー防止信号を含むシーンがある場合、録画一時停止になり録画されません。

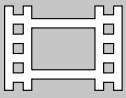
コピー防止信号	ダビング
録画自由 地上波放送など（コピー防止信号なし）	HDD ⇄ +RW、-RW VR、-RW Video、+R、-R VR、-R Video
1回だけ録画可能 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送など	HDD 移動→ -RW VR（CPRM対応）、-R VR（CPRM対応）

移動（ムーブ）について

HDD ➡ -RW VR/-R VR

「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像（デジタル放送）は、HDDからDVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）*へのみ移動させることができます（移動が終了すると、HDD内の元の映像は消去されます）。「移動」はダビングと同じ手順で行います（62ページ）。「1回だけ録画可能」のコピー防止信号が含まれているタイトルには ➡ マークがついています。

- HDD内の以下のタイトルは移動できません。
  - 保護されているタイトル
  - プレイリストのタイトル
  - プレイリストから参照されているオリジナルタイトル
- DVDに移動したタイトルをHDDに戻すことはできません。
- 移動を途中で停止したときは、HDD内のタイトルは消えません。また、DVDにタイトルは記録されません。DVD-R（VRモード）は残量が減りますので、ご注意ください。

* CPRM対応DVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）のみ。CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化する技術です。

HDV/DVダビング

HDV/DVダビングを始める前に…

この章では本機前面のHDV/DV入力端子につないだデジタルビデオカメラとのダビング(HDV/DVダビング)を説明します。入力端子に接続した機器とのダビングについては、「ビデオなど他機から録画する」(71ページ)をご覧ください。

HDV/DV入力端子から録画するには

本機のHDV/DV入力端子はi.LINK標準に準拠していますので、他のi.LINK(DV)端子のある機器とつなぐ(➡「接続・準備編」の「[準備4]ビデオやAVアンプをつなぐ」)とデジタル信号を記録することができます。

i.LINKについて詳しくは、「i.LINK(アイリンク)について」(88ページ)をご覧ください。

本機は以下の方式の信号に対応しています。

- DVC-SD方式(DV規格)
- 1080i方式(HDV規格)

ちょっと一言

ダビングの後で編集をしたいときは、HDV/DV入力端子を使ってDVD-RW(VRモード)またはHDDに録画してください。

テープをディスクにまるごとダビングする(おまかせHDV/DVダビング)

HDD +RW -RW VR -RW Video +R -R VR -R Video

本機のHDV/DV入力端子にデジタルビデオカメラをつなぐと、HDV/DV方式のテープからかんたんにダビングすることができます。HDV規格に対応したデジタルビデオカメラとつなげば、撮影したハイビジョン映像をそのままの画質で、HDDにダビングすることができます。

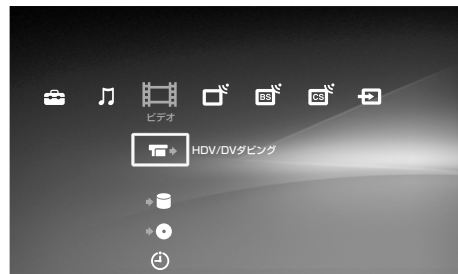
ダビングを実行すると、自動的にテープを始めまで巻き戻し、HDV/DV方式のテープの内容をまるごとダビングします。

本機にデジタルビデオカメラを接続する前に、デジタルビデオカメラの取扱説明書もご覧ください。

1 ダビングするHDV/DV方式のテープをデジタルビデオカメラに入れる。

本機で録画や編集をするとき、デジタルビデオカメラは必ずビデオ再生モードにします。デジタルビデオカメラ側でテープを巻き戻すなどの操作は必要ありません。

2 ホーム(ホーム)を押す。

3 ←→で を選ぶ。

4 ↑↓で[HDV/DVダビング]を選び、決定(決定)を押す。

HDV/DVダビング画面が、表示されます。

5 ←→で下記の各設定項目を選び、↑↓で設定する。

項目	設定
録画信号	DV機器を接続した場合、自動的に[DV]に固定されます。 HDV機器を接続した場合は、ダビングしたい信号に合わせて[HDV]または[DV]を手動で選んでください。 • HDV ⇨ ハイビジョン画質で記録されたHDV信号のみをHDDにダビングする場合。 • DV ⇨ 従来方式のDV信号のみをHDDまたはDVDにダビングする場合。
録画先	[HDD]または[DVD]を選びます。 ただし、HDV信号の場合は[HDD]に固定されます。
録画モード	録画モードを選びます。ただし、録画信号に「HDV」を選択したときは、自動的に[DR]に固定され、ハイビジョン画質のままHDDに録画することができます。録画モードについて詳しくは、「テレビ番組を録画する」(28ページ)の手順**5**をご覧ください。
音声設定（DVのみ）	音声入力用の設定を選び、(決定)を押します。お買い上げ時は[ステレオ1]に設定されています。 • ステレオ1 ⇨ 最初からの記録音声のみをダビングします。DVテープをダビングするときは通常この設定を選びます。 • ミックス ⇨ ステレオ1、ステレオ2音声の両方をダビングします。 • ステレオ2 ⇨ あとから追加された音声のみをダビングします。[ミックス]や[ステレオ2]はデジタルビデオカメラで記録したあとから第2音声を加えたときにだけ、選んでください。

6 **[実行]を選び、(決定)を押す。**
ダビング実行中画面が表示され、ダビングが始まります。ダビングが完了すると、終了します。

チャプターの作られかた（自動チャプター機能）

HDVまたはDVから、HDDまたはDVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）にダビングする場合、テープ上の1回の撮影が自動的に1つのチャプターになります。それ以外のディスクへのダビングでは、の[チャプターマーク書込み]の設定時間（切/6分/15分）にしたがって、タイトルにチャプターマークが書き込まれ分割されます。
HDVまたはDVから、HDDまたはDVD-RW（VRモード）、DVD-R（VRモード）にダビングする場合、リモコンのチャプター書込みボタンで書き込むこともできます。

ダビングを止めるには

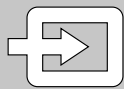
リモコンのふたを開け、赤い ■（録画停止）を押します。録画が止まるまでに数十秒かかることがあります。黒い ■（停止）を押しても録画は止まりません。
または、（オプション）を押し、[ダビング停止]を選び、（決定）を押します。確認画面で、[はい]を選び、（決定）を押します。

ちょっと一言

- HDV/DVダビング中に本機の電源を切ることはできません。
- ダビングの前に、録画の画質を調整することができます。「録画の画質・映像サイズを設定する」をご覧ください(38ページ)。
- HDV/DV機器側の停止ボタンを押すとダビングは停止します。

HDV/DVダビングに関するご注意・制約事項

ご注意 テープをディスクにまるごとダビングする

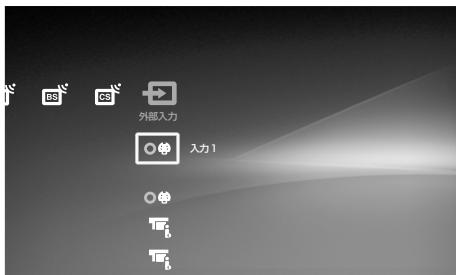
- 本機のHDV/DV入力端子は入力専用です。信号は出力されません。
- 以下の場合、HDV/DV入力端子は使えません。
  - デジタルビデオカメラと本機のHDV/DV入力端子に互換性がない場合。本機の入力端子につなぎ、「ビデオなど他機から録画する」(71ページ)の手順にしたがってください。
  - テープの記録画像がコピー防止信号を含んでいる場合。
- i.LINK端子があってもMICRO MV方式のデジタルビデオカメラは接続しないでください。
- ディスクを他のDVD機器で再生したい場合は、ファイナライズをしてください(40ページ)。
- 本機に複数のデジタルビデオ機器をつなぐことはできません。
- 他の機器や本機と同じ機種のレコーダーを使って、本機を操作することはできません。
- テープの記録日時やカセットメモリーの内容は、ディスクに記録できません。
- 複数のサンプリング周波数(48kHz、44.1kHz、または32kHz)で記録された音声トラックのあるHDV/DV方式のテープからダビングした場合、ディスク上のサンプリング周波数が切り換わる箇所を再生するときに音が途切れたり不自然な音が出たりします。
- テープに5分以上の無記録部分があると、ダビングは自動的に終了します。
- ダビング終了前に、本機は5分間、テープの無記録部分の録画を続けます。HDV機器からのダビングの場合、無記録部分は本機に録画されません。DV機器からのダビングの場合は録画されます。止めるには、■(録画停止)を押してください。
- ダビング元の画像サイズが途中で変わったり無記録部分があったりすると、ダビングされた画像に影響が出る場合があります。
- 撮影の前にデジタルビデオカメラの時計が正しく設定されていることを確認してください。デジタルビデオカメラの時計が正しく設定されていないと、HDDまたはDVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)へのダビングで自動チャプター機能(69ページ)が正しく働きません。
- HDV信号とDV信号が混在したテープをHDV機器からDVダビングする場合、HDVとDVの信号の変わり目で画像と音声が一瞬途切れることがあります。

他機との録画

ビデオなど他機から録画する

HDD +RW -RWVR -RWVideo +R -RVR -RVideo

本機につないだビデオなどから録画することができます。接続については■「接続・準備編」の「[準備4]ビデオやAVアンプをつなぐ」をご覧ください。他機のDV出力端子(i.LINK)をお使いになるときは、本体前面のHDV/DV入力端子をお使いください(93ページ)。

1 (ホーム)を押す。

2 ←→で を選ぶ。

3 ↑↓で[入力1]または[入力2]を選び、(決定)を押す。

外部機器を接続した端子に応じて、[入力1]か[入力2]を選んでください。放送を見ている状態で◯(入力切換)を繰り返し押して、選ぶこともできます。

画面が外部入力の映像に切り換わります。

4 HDD (HDD)または DVD (DVD)を押して、録画先を選ぶ。

5 リモコンのふたを開け、(録画モード)を繰り返し押して、録画モードを選ぶ。

録画モードについて詳しくは、「テレビ番組を録画する」(28ページ)の手順5をご覧ください。

6 (オプション)を押し、[画音設定]を選び、(決定)を押す。

7 [外部入力音声設定]を選び、(決定)を押す。

外部入力音声設定画面が表示されます。

8 [ステレオ]または[二重音声]*を選び、(決定)を押す。

お買い上げ時はステレオに設定されています。

* 音声多重放送の番組をDVD+RWまたはDVD-RW(ビデオモード)、DVD+R、DVD-R(ビデオモード)に録画するときは、 から[ビデオ設定]の[DVD二重音声記録]で[主音声]または[副音声]を選びます(■「接続・準備編」の「録画・再生の設定をする」)。

HDDに録画するときは、[HDD二重音声記録]で[主音声]または[副音声]、[主+副音声]を選びます(■「接続・準備編」の「録画・再生の設定をする」)。

9 [入力1レベル調整]または[入力2レベル調整]を選び、(決定)を押す。

10 ←→で調整し、(決定)を押す。

[−2](小)から[2](大)の間で、記録される音量を調整できます。お買い上げ時は、[0]に設定されています。

11 Ⅱ (録画一時停止)を押して、本機を録画一時停止状態にする。

12 本機の入力端子につないだ機器にテープを入れて、再生一時停止状態にする。

13 本機の Ⅱ (録画一時停止)と、他機の一時停止または再生ボタンを同時に押す。

録画が始まります。

録画を止めるには、本機の ■ (録画停止)を押します。

ちょっと一言

録画をする前に、録画の画質を調整することができます。「録画の画質・映像サイズを設定する」をご覧ください(38ページ)。

他機との録画に関するご注意・制約事項

- ゲームの画面を録画すると、画像が乱れることがあります。
- 「録画禁止」のコピー防止信号が含まれている映像は、録画できません。本機は録画防止機能（コピーガード）に対応しています。

文字入力

文字入力のしかた

ディスクにディスク名をつけたり、録画したタイトルの名前を変更したり、タイトルを変更したりするときは、文字入力画面で文字を入力します。文字入力画面は、文字を入力する項目を選択すると表示されます。

文字入力画面について

例:かな/カナモードの文字入力画面

1 入力文字表示エリア

入力できる最大文字数は以下のとおりです。

DRモードで録画したタイトルのタイトル名:

全角40文字(半角80文字)

DRモード以外で録画したタイトルのタイトル名:

全角32文字(半角64文字)

ディスク名:全角32文字(半角64文字)

キーワード入力:全角10文字(半角20文字)

2 入力文字種類切換ボタン

入力する文字の種類を切り換えます。

3 画面内操作ボタン

項目	できること
語句登録	入力文字表示エリアに表示されている語句を登録します。
語句一覧	登録してある語句の一覧を表示します。
中止	文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに入力した文字は記録されません。
入力終了	文字入力を終了します。

4 操作ガイド

画面で行う操作に使うボタンを表示します。

5 文字選択/変換/確定操作欄

文字を選択し、変換、確定します。文字選択欄の左の数字(1～12)は、リモコンの数字ボタン(①～⑫)に対応しています。

項目	できること
変換	漢字やカタカナに変換します([かな/カナ]のみ)。
全/半角	入力した文字を全角または半角に変換します(「英字」、「記号」のみ)。
確定	入力した文字、または変換した文字を確定します(「かな/カナ」、「英字」、「記号」のみ)。
← 削除	1つ前の文字を消します。
全クリア	入力した文字をすべて消します。
スペース	スペース(1文字分の空き)を入力します。

入力モードの種類

本機には、かな/カナ、英字、数字、記号の4種類の入力モードがあります。入力モードによって、文字入力画面は次のように切り換わります。

英字モード

数字モード

記号モード

ちょっと一言

カタカナは、ひらがなを変換していくと候補として表示されます。

文字を入力する

文字を入力するには、⬆⬇⬅➡で画面上の文字を選びます。また、携帯電話のように ①～⑫ で文字を入力する方法もあります。①～⑫ で入力する方法については、75ページをご覧ください。

例として、「お父さんのDisc」と入力してみます。

1　**［お］を選び、(決定)（決定）を押す。**

入力文字表示エリアに「お」が表示されます。

同様にして「と」、「う」、「さ」、「ん」、「の」と入力します。

2　**［変換］を選び、(決定)（決定）を押す。**

変換候補が表示されます。

3　**変換候補から入力したい文字を選んで、(決定)（決定）を押す。**

漢字変換された文節が決定されます。

4　**［英字］を選び、(決定)（決定）を押す。**

英字入力モードに切り換わります。

数字モードに切り換えるには

［数字］を選びます。

記号モードに切り換えるには

［記号］を選びます。

かな/カナモードに戻すには

［かな/カナ］を選びます。

5　**画面左側の大文字枠の［D］を選び、(決定)（決定）を押す。**

「D」が表示されます。

同様に画面右側の小文字枠から、［i］、［s］、［c］を選んで、入力します。

6　**［全/半角］を選び、(決定)（決定）を押す。**

半角で表示されます。

⬆⬇で全角に戻すこともできます。

7　**(決定)（決定）を押す。**

文節が決定されます。

文字入力

8 ［入力終了］を選び、（決定）を押す。
文字入力が終了し、元の画面に戻ります。

予測変換機能を使うには

文字入力中、変換された語句が画面右の予測変換エリアに表示されます。その中から正しい語句を選んで、入力することができます。
➡で予測変換エリアを選んで（決定）を押し、⬆⬇で語句を選んで（決定）を押します。
予測変換エリアから抜けるときは、（戻る）を押します。

数字ボタンで入力する

①～⑫とカラーボタンで文字を入力することができます。
カラーボタンは次のように使います。

- 青：漢字やカタカナに変換します（「かな/カナ」のみ）。入力した文字を全角または半角に変換します（「英字」、「記号」のみ）。
- 赤：入力した文字、または変換した文字を確定します（「かな/カナ」、「英字」、「記号」のみ）。
- 緑：1つ前の文字を消します。
- 黄：スペースを入力します。

例として「お父さんのDisc」と入力してみます。

1 ① を繰り返し押して［お］を選ぶ。
「お」が入力されます。

2 ④ を繰り返し押して［と］を選ぶ。
「と」が入力されます。
同様に ① で「う」、③ で「さ」、⑩ で「ん」、⑤ で「の」を入力します。

3 青（青）を押す。
漢字に変換されます。
正しい漢字に変換されない場合は、さらに 青（青）を押して次の候補を表示します。

4 赤（赤）を押す。
すべての文節が確定されます。

5 （入力切換）を繰り返し押して、英字モードに切り換える。

6 ①を繰り返し押して［D］を選ぶ。
「D」が入力されます。
同様に ⑦ で「i」、⑨ で「s」、⑥ で「c」を入力します。

7 青（青）を押す。
入力した文字が半角で表示されます。
もう一度 青（青）を押すと、全角に戻ります。

8 赤（赤）を押す。

9 ⬆⬇⬅➡で［入力終了］を選び、（決定）を押す。
文字入力が終了し、元の画面に戻ります。

ちょっと一言

⬆⬇⬅➡で文字を選んで入力する方法と、①～⑫ で文字を入力する方法を同時に使うことができます。

連文節の漢字変換について

連文節の文章を漢字変換すると、まず最初の1文節だけ漢字変換されます。文節の区切りを変更するときは、次のように操作します。

1 連文節の文章を入力する。
文字の入力のしかたについては「文字を入力する」（74ページ）の手順**1**をご覧ください。

2 ［変換］を選び、（決定）を押す（または 青（青）を押す）。

3 ⬅➡で、文節の長さを調節する。

4 変換候補から入力したい文字を選び、（決定）を押して選んだ文節の変換を確定する。
次の文節が自動的に漢字変換されます。

文字を挿入するには

⬆⬇⬅➡で入力文字表示エリアにカーソルを動かし、⬅➡で挿入したい箇所の右側の文字にカーソルを動かします。⬆⬇⬅➡またはダイレクトキーを使って文字を入力します。入力時に文字が挿入されます。

1文字ずつ消去するには

［←削除］を選んで（決定）を押すか、緑（緑）を押します。
1文字ずつ消去されます。

確定済みの文字を消去するには

⬆⬇⬅➡で入力文字表示エリアにカーソルを動かし、⬅➡で消したい文字の右側にカーソルを動かします。緑（緑）を押して、すでに確定している文字を削除することができます。

入力済みの文字をすべて消去するには

［全クリア］を選んで（決定）を押すか、（クリア）を押します。

ダイレクトキーを使って、続けて同じ行の文字を入力するには

最初の文字を入力したあと、（10キー）を押します。続けて次の文字を入力します。
例：「ちち」と入力するには、④ を2回押してから、（10キー）を押し、もう一度 ④ を2回押す。

文字入力を中止するには

［中止］を選んで（決定）を押すか、（戻る）を押します。
入力文字表示エリア内の文字は入力されずに、元の画面に戻ります。

文字入力に関するご注意・制約事項

ご注意 入力モードの種類

- 記号の中には半角表示できないものもあります。

ご注意 文字を入力する

- 文字を入力している途中で文字種のモードを変えると、入力文字表示エリア内の文字は、表示されている状態で確定します。
- DRモードで録画したタイトルは、全角40文字(半角80文字)まで入力できますが、DVDへダビングしたときは全角32文字(半角64文字)までしか入りません。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、裏表紙のお客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源	
電源が入らない。	➔ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

画像	
映像が出ない、乱れる。	➔ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。 ➔ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。 ➔ 接続コードが断線している。 ➔ テレビを本機に接続している入力（「ビデオ」など）に切り換える。 ➔ ハイビジョンテレビ専用のコンポーネント入力端子（Y/P_B/P_R）に本機を接続している。S映像コードまたは映像コードで接続する。 ➔ プログレッシブ方式に対応していないテレビとD映像コードまたはコンポーネント映像コードでつないでいるときに、本機をプログレッシブ方式に設定している。D1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、設定をD1に切り換える。 ➔ プログレッシブ方式に対応しているテレビとD映像コードまたはコンポーネント映像コードでつないでいても、プログレッシブを設定していると映像が乱れることがある。D1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、設定をD1に切り換える。 ➔ 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続していると、一部のDVDプログラムやデジタル放送に使用されているコピー防止信号が画質に悪影響をおよぼす可能性がある。 本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続する。 ➔ ハードディスクの特性上、ごくまれに画像が乱れることがある。故障ではありません。 ➔ 2層DVDを再生する場合、レイヤー（層）が切り換わるときに映像/音声が一瞬途切れることがある。
D端子で接続したとき、画像が出ない。	➔ ［出力映像解像度設定］を［D1/2/3/4設定優先］に設定する（➧「接続・準備編」の「映像の設定をする」）。
HDMI接続したとき、画像が出ない。	➔ HDCP非対応機器に接続している（➧「接続・準備編」の「［準備2］映像・音声コードをつなぐ」）。 ➔ DVIアダプターを使っている場合、接続機器がDVIアダプターに対応していない。 ➔ から［映像設定］の［HDMI解像度］の設定を変えると解消される場合がある（➧「接続・準備編」の「映像の設定をする」）。テレビと本機をHDMI出力端子以外の映像出力端子で接続し、テレビの入力を本機につないだ映像入力に切り換えて、設定画面をテレビ画面に表示させる。［出力映像解像度設定］を［HDMI解像度優先］に設定する。次に［映像設定］の［HDMI解像度］の設定を変え、テレビ側の入力をHDMIに戻す。それでも画像が出ない場合は、この手順を繰り返して他の解像度を試す。 ➔ ［HDMI解像度］の設定項目が［自動］しか選べない場合は、正しく接続されていない場合がありますので、その場合はケーブルを差し直すか本体の電源を入れ直す。
テレビのチャンネルを変えられない。	➔ テレビの入力切換を押して見たいチャンネルに切り換える。 ➔ 本機の入力切換ボタンを押して映像が映るように入力をBS放送か地上波放送に合わせる。 ➔ チャンネルをとばすよう設定している場合は、チャンネル＋/－ボタンでは選局できない（➧「接続・準備編」の「地上アナログ放送の設定をする」－「不要なチャンネルをとばす［アップダウン選局］」）。 ➔ 予約録画やおまかせ・まる録が始まってチャンネルが自動的に切り換わった。テレビの入力を切り換えて、テレビ側でチャンネルを切り換える。

次のページにつづく⇨

本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。	➔ 入力切換ボタンを押して、入力1端子につないでいるときは「LINE1」を、入力2端子につないでいるときは「LINE2」を、本体表示窓に出す。 ➔ S映像端子を使って本機の入力1端子につないだ場合は、［映像設定］で［映像入力1］を［S映像］に設定する（➡「接続・準備編」の「映像の設定をする」）。
［DVD設定］の「ワイド画像表示」で設定した画像の形で再生できない。	➔ 画像の形が固定されているタイトルを再生している。
画面の横縦比がおかしい。	➔ テレビの横縦比に画像を合わせる（➡「接続・準備編」の「映像の設定をする」）。 ➔ 録画時に設定が間違っていた。信号の縦横比に合わせて設定する（38ページ）。
サムネイルが表示されない。	➔ 動作モード、または録画内容によってはサムネイルを作成できない場合がある。

テレビの受信

本機で受信しているテレビ放送が映らない。	➔ アンテナケーブルをアンテナ出力端子につないでいる。アンテナケーブルをアンテナ入力端子につなぐ。 ➔ から［放送受信設定］の［地上アナログ受信設定］を選び、［手動チャンネル設定］で、手動でチャンネルを合わせる（➡「接続・準備編」の「地上アナログ放送の設定をする」）。 ➔ テレビの入力切換ボタンで正しい外部入力を選ぶ。または、本機のチャンネル+/－ボタンで他のテレビ局を選ぶ。 ➔ 地上デジタル放送の開始にともない、「アナログ周波数変更」が行われた地域では、変更前のチャンネルは停波され、番組が見られない。変更後のチャンネルに手動で合わせる（➡「接続・準備編」の「地上アナログ放送の設定をする」－「受信できるチャンネルを追加する［手動チャンネル設定］」）。 ➔ 地上デジタルが受信できなくなった場合は、再スキャンして受信設定する（➡「接続・準備編」の「地上デジタル放送の設定をする」－「受信できるチャンネルをスキャンして設定する［チャンネルスキャン］」）。
本機で受信しているテレビ放送の画像が汚い。	➔ アンテナの向きを調節する。 ➔ アンテナケーブルをアンテナ出力端子につないでいる。アンテナケーブルをアンテナ入力端子につなぐ。 ➔ 画像を手動微調整する（➡「接続・準備編」の「地上アナログ放送の設定をする」－「受信状態を調整する［ゴーストリダクション］［微調整］」）。 ➔ 本機とテレビを離して設置する。 ➔ 本機から離してアンテナ線をたばねる。 ➔ 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。
本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。	➔ DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、別売りの外部チューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれている。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つなぐ。
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の番組が映らない。	➔ BSアンテナを本機に正しくつなぐ（➡「接続・準備編」の「［準備1］テレビのアンテナをつなぐ」）。 ➔ BSアンテナの向きを調整する（➡「接続・準備編」の「BS・110度CS放送の設定をする」－「受信状態を確認する［BS/CSアンテナレベル表示］」）。 ➔ BSアンテナからゴミや雪を取り除く。
地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組が映らない。	➔ 本機のB-CASカード挿入口にデジタル放送用ICカード（B-CASカード）が挿入されていない。デジタル放送用ICカード（B-CASカード）を挿入する。（➡「接続・準備編」の「［準備8］デジタル放送用ICカード（B-CASカード）を入れる」）。
WOWOWが映らない。	➔ 受信契約をする（➡「接続・準備編」の「［準備11］各放送局に視聴を申し込む」）。
スター・チャンネルが映らない。	➔ 受信契約をする（➡「接続・準備編」の「［準備11］各放送局に視聴を申し込む」）。
110度CSデジタルの有料放送が映らない。	➔ 受信契約をする（➡「接続・準備編」の「［準備11］各放送局に視聴を申し込む」）。

番組表	
番組表が表示されない。	➔ ❶接続と[かんたん初期設定]が終了しても、番組表データを受信するまでは表示されない。❷受信が終わるまで電源を切ってしばらく待つ。❸受信までに、1日程度かかることもある(16ページ)。 ➔ 日付や時刻が正しく設定されていない(➡「接続・準備編」の「時刻の設定をする」－「時刻を設定する[手動時刻設定]」)。 ➔ 番組表データを送信している放送局(➡「接続・準備編」の「Gガイドについて」)の受信状態が悪いため、番組表を表示できない。 ➔ 間違った地域番号が設定されている。から[かんたん初期設定]を選び、正しい地域番号でかんたん初期設定をやり直す(➡「接続・準備編」の「[準備9]かんたん初期設定をする」)。 ➔ 番組表データを送信している放送局が変わったため。正しい放送局や時刻を設定する(➡「接続・準備編」の「地上アナログ放送の設定をする」－「地上アナログ番組表データを受信するための設定をする[番組表取得設定]」)。 ➔ 番組表の取得時刻をすべて[自動]に設定している(➡「接続・準備編」の「地上アナログ放送の設定をする」－「地上アナログ番組表データを受信するための設定をする[番組表取得設定])。 ➔ 番組表データを送信している放送局が誤った設定になっている。の[設定初期化]から[出荷時の状態に設定]を選び(➡「接続・準備編」の「お買い上げ時の設定に戻す」)、初期状態に戻してから[かんたん初期設定]を選び直す(➡「接続・準備編」の「[準備9]かんたん初期設定をする」)。 ➔ 番組表の取得時刻に本機の電源が入っていたため、番組表データが取得されていない。 ➔ ケーブルテレビの送信チャンネルが元のチャンネルと異なっているため。手動でチャンネル設定をする(➡「接続・準備編」の「地上アナログ放送の設定をする」－「受信できるチャンネルを追加する[手動チャンネル設定]、または「地上アナログ放送の設定をする」－「地上アナログ番組表データを受信するための設定をする[番組表取得設定]」)。 ➔ お住まいの地域によっては、番組表データを受信できない場合がある。

番組表に表示されない放送局がある。	➔ [アップダウン選局]が「選局しない」に設定されている(地上アナログ:➡「接続・準備編」の「地上アナログ放送の設定をする」、デジタル放送:➡「接続・準備編」の 「BS・110度CS放送の設定をする」)。 ➔ 間違った地域番号が設定されている。から[かんたん初期設定]を選び、正しい地域番号でかんたん初期設定をやり直す(➡「接続・準備編」の「[準備9]かんたん初期設定をする」)。 ➔ 番組表データに含まれない放送局は表示されない。
番組表が更新されない。	➔ 更新時の受信状態が悪く、最新の番組表データを受信できなかった。 ➔ 番組表データを送信している放送局が変わったため。正しい放送局や時刻を設定する(➡「接続・準備編」の「地上アナログ放送の設定をする」－「地上アナログ番組表データを受信するための設定をする[番組表取得設定]」)。 ➔ 番組表の取得時刻に本機の電源が入っていたため、番組表データが受信・更新されていない。
番組表に表示されない番組がある。	➔ 受信状態が悪いため、すべての番組表データを受信できなかった。 ➔ 時刻別番組表には、短い番組(5分間の番組など)は表示されない。チャンネル別番組表を使う(19ページ)。
間違った放送局名が表示される。	➔ 間違った地域番号が設定されている。から[かんたん初期設定]を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直す(➡「接続・準備編」の「[準備9]かんたん初期設定をする」)。 ➔ 引越して番組表データを受信できない場合などに、前に受信していた放送局名が表示されることがある。から[設定初期化]で[出荷時の状態に設定](➡「接続・準備編」の「お買い上げ時の設定に戻す」)を行うと、消すことができる。

次のページにつづく⇨

録画・予約・ダビング	
録画中、テレビのチャンネルを変えられない。	→ テレビ本体のチャンネルを見たいチャンネルに切り換える。
[●]（録画）を押しても、すぐに録画が始まらない。	→ 録画されていないDVD-RWを入れて、VRモードに初期化しているため。本体表示窓の「FORMAT」が消えるまで待つ。
録画中に [■]（録画停止）を押してもすぐに録画が止まらない。	→ 録画が止まる前にHDDやDVDにデータを記録するため、止まるまでに数十秒かかる。
録画中に黒い ⦿（停止）を押しても、録画が止まらない。	→ リモコンのふたを開け、赤い [■]（録画停止）を押す。
予約したのに録画されていない。	→ 自己メールを確認する（➡「接続・準備編」の「お知らせを見る」）。 → 録画中に停電があった。 → 1時間以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す（➡「接続・準備編」の「時刻の設定をする」－「時刻を設定する［手動時刻設定］」）。 → コピー防止信号が含まれている映像を録画した。 → 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていた（37ページ）。 → デジタル放送で、番組が中止になった。 → ダビング中だった。 → DVDが入っていない。 → HDDやDVDの残量が足りなかった。 → タイトル数が上限（300タイトル）に達しているため録画できなかった。 → HDV/DVダビング中だった。 → 視聴年齢制限を超えた番組を予約していた。 → 録画できないディスクだった。 → 有料番組があった。 → B-CASカードが入っていなかった。 → B-CAS扉が開いていた。
予約した内容が途中で切れている。	→ 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていた（37ページ）。 → デジタル放送で、番組の中断があった。 → コピー防止信号が含まれている映像が途中から始まった。 → HDDやDVDの残量が足りなかった。 → DRモードで録画中に停電があった。
以前録画した内容がなくなっている。	→ DVDにパソコンで録画したデータは、DVDを本機に入れたときに消去されることがある。 → 更新録画が行われた（37ページ）。 → HDDの容量がなくなり、おまかせ・まる録で録画されたタイトルが自動的に消去された。

再生	
再生が始まらない。	→ DVDやCDが入っていない。 → 録画されていないDVDが入っている。 → DVDやCDが裏返しに入っている。再生面を下にする。 → DVDやCDが斜めにずれて入っている。 → CD-ROMなどの再生できないディスクを入れている（12ページ）。 → 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている（13ページ）。 → 結露している（➡「接続・準備編」の「使用上のご注意」）。 → 他機で記録したDVDやCDを本機で再生する場合、ファイナライズされていないDVDやCDは再生することができない。
再生がHDDやDVDの最初から始まらない。	→ つづき再生になっている（47ページ）。タイトル選択時に、オプションから［頭出し再生］を選ぶ。 → 自動的にタイトルメニュー、DVDメニューの画面が出るDVDを入れている。
再生が自動的に始まる。	→ 自動的に再生が始まるDVDを入れている。
再生が自動的に止まる。	→ DVDによってはオートポーズ信号が記録されているものがある。このようなDVDを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。
停止、早送り/早戻し、スロー再生などの操作ができない。	→ 操作を禁止しているDVDを再生している。DVDに付属の説明書もあわせて見る。
音声言語を変更できない。	→ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。 → 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。 → DVDメニューから操作してみる。
字幕を変更できない。	→ 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。 → 字幕の変更や消去を禁止しているDVDを再生している。 → DVDメニューから操作してみる。 → 本機で録画したタイトルでは変更できない。

アングルを変更して見ることができない。	→ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。 → 本体表示窓に「ANGLE」と表示されていない場面で、アングルを切り換えている(46ページ)。 → アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。 → DVDメニューから操作してみる。 → 本機で録画したタイトルでは変更できない。

音声

音が出ない。	→ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。 → 接続コードが断線している。 → アンプの入力端子を確認する。 → アンプの入力切換で本機の音声が出るようにしていない。 → 一時停止、スロー再生になっている。 → 早送りまたは早戻しになっている。 → デジタル音声出力(光または同軸)端子から音声が出ないときは の[音声設定]の[音声デジタル出力]を確認する(「接続・準備編」の「音声の設定をする」)。
HDMI接続したとき、音声が出ない。	→ DVI機器の場合、音声は出力されない。 → HDMI出力端子につないだ機器が、音声信号のフォーマットに対応していない。 の[音声設定]の[HDMI音声出力]で[PCM]を選ぶ(「接続・準備編」の「音声の設定をする」)。
音がひずむ。	→ の[音声設定]で[音声出力ATT]を[入]に設定する(「接続・準備編」の「音声の設定をする」)。
音が小さい。	→ DVDによっては、再生時の音量が小さい場合がある。 の[DVD設定]で[オーディオDRC]を[テレビ]に設定すると、改善されることがある(「接続・準備編」の「DVDの設定をする」)。 → の[音声設定]で[音声出力ATT]を[切]に設定する(「接続・準備編」の「音声の設定をする」)。
音声多重放送の音声が切り換えられない。	→ 音声多重放送(主音声および副音声)の音声をDVD+RWやDVD-RW(ビデオモード)、DVD+R、DVD-R(ビデオモード)に記録することはできない。録画する前に、 の[ビデオ設定]で[DVD二重音声記録]を[主音声]または[副音声]に設定する(「接続・準備編」の「録画・再生の設定をする」)。 → 主音声と副音声の両方を記録するには、HDDまたはDVD-RW(VRモード)、DVD-R(VRモード)に録画する。HDDに記録するときは、 の[ビデオ設定]で[HDD二重音声記録]を[主+副音声]に設定する(「接続・準備編」の「録画・再生の設定をする」)。 → 外部入力をしているときは、オプションの[画音設定]の[外部入力音声設定]から[二重音声]を選ぶ(71ページ)。 → 電波が弱いためモノラルまたは主音声だけで録画されていた。アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を増幅する。 → デジタル音声出力(同軸または光)端子にアンプをつないでいる場合、HDDまたはDVD-RW/R(VRモード)で音声を切り換えるには、 の[音声設定]で[ドルビーデジタル]を[PCM]に設定する(「接続・準備編」の「音声の設定をする」)。

表示

本体の録画予約ランプが点滅している。	→ HDDやDVDに空きがない。 → 本機に録画可能なDVDが入っていない。 → DVDが保護(プロテクト)されている(57ページ)。
録画モードが正しく表示されない。	→ 10分未満の録画やダビングをしたときや、10分以上でも静止画などの動きの少ない映像では、録画モードを正しく表示できないことがある。設定した録画モードで録画やダビングがされるが、表示が変わることがある。
本機の表示窓に時計が表示されない。	→ の[本体設定]で[表示窓の明るさ]を[消灯]に設定している(「接続・準備編」の「本体の設定をする」)。

次のページにつづく⇨

リモコン

症状	原因・対処
リモコンが働かない。	➔ 乾電池が消耗している。 ➔ 乾電池を交換すると、テレビのメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る場合がある。リモコンのメーカー指定ボタンを合わせ直す（➧「接続・準備編」の「［準備7］リモコンを準備する」）。 ➔TV/DVDスイッチを操作する機器に合わせる。 ➔ リモコンを本体に向けて操作する（➧「接続・準備編」の「［準備7］リモコンを準備する」）。 ➔ 本体とリモコンのリモコンモードが違っている。同じリモコンモードにする（➧「接続・準備編」の「［準備7］リモコンを準備する」）。 ➔ リモコンを本体から遠いところで操作している。
本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニー製のDVD プレーヤーが同時に動いてしまった。	➔ 本機と他機のリモコンモードが同じになっている。本機のリモコンモードを変える（➧「接続・準備編」の「［準備7］リモコンを準備する」）。お買い上げ時は［DVD3］になっている。
リモコンの数字ボタンでチャンネルを選ぶことができない。（ソニー製、アイワ製の対応機種を除く）	➔ チャンネルは、チャンネル＋/－ボタンで選ぶ。

その他

症状	原因・対処
正常に動作しない。	➔ 本体のB-CAS扉内のRESETボタンを押し、本機を再起動させる。 ➔ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切って本体表示窓に時計が表示されてから電源コードを抜く。しばらく置いてから再び電源コードをつなぎ、電源を入れる。
自動的に再起動する。	➔ 本機に不具合が生じたときに、本機が自動的に再起動することがある。
チャンネルを切り換えたとき画像が出るまで時間がかかる。	➔ 番組表データの受信後、画像が出るまでに時間がかかることがある。
アルファベットと数字で5桁の番号が本体表示窓に出ている。	➔ 自己診断機能が働いている（83ページ）。
⏏（開/閉）を押してもディスクトレイが開かない。	➔ DVDに録画や編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに時間がかかることがある。これは、本機がDVDにディスク情報を追加しているため。
⏏（開/閉）を押してもディスクが取り出せない。	➔ 電源を切って電源コードを抜く。本体の開/閉ボタンを押しながら電源コードをつなぎ直し、ディスクトレイが出たら開/閉ボタンをはなす。ディスクを取り出した後、本体のB-CAS扉内のRESETボタンを押して、本機を再起動させる。 ➔ 録画した後のディスク取り出し時に、ディスクが出てくるまで数十秒かかることがある。
モデム接続できない。	➔ 電話回線用無線ユニットを使用している。無線通信ユニットは使わない（➧「接続・準備編」の「［準備5］電話回線/ネットワークにつなぐ」）。

自己診断機能について（アルファベットで始まる表示が出たら）

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号（例：C 15 50）が表示されます。その際は次のように対応してください。

サービス番号の最初の3桁	原因と対策
C 13	DVDが汚れている。 ➡ 柔らかい布でDVDを拭く（☞「接続・準備編」の「使用上のご注意」）。
C 31	DVD/CDが正しく入っていない。 ➡ DVD/CDを正しく入れ直す。
EXX （XXは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働いている。 ➡ お客様ご相談センターへご相談ください。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。 例：E 61 10

ハイビジョン「スゴ録」点検シート

「故障かな?と思ったら」(77ページ)をご覧になり、もう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、この点検シートにご記入の上、お客様ご相談センターにお問い合わせください(裏表紙の連絡先へ)。

点検シート ご記入のお願い

1 不具合内容について、該当する項目に✓をご記入ください。

いつ症状が起きますか?
□ 今回が初めて　□ いつも　□ 時々
□ 特定の操作を行なったとき
(具体的に:　　　　　　　　　　　　)

症状が発生した後、どのような状況になりましたか?
□ リモコン、本機のボタンを操作しても反応しない
□ リモコン、本機のボタンによる操作はできた
□ その他(　　　　　　　　　　　　)

反応しない場合、本体のリセットボタンを押してしばらく待ち、時計表示が出てから電源ボタンを押すと、通常に操作できるようになりますか?
□ はい　□ いいえ

2 症状について、「A」から「F」の中から該当する項目に✓をご記入ください。

□ A 電源が入らない
「故障かな?と思ったら」の「電源」(77ページ)をもう一度点検してください。

いつ症状が起きますか?
□ 電源プラグをコンセントにさしてから
□ 電源ボタンを押して画面がでるまでの間
□ その他(　　　　　　　　　　　　)

画面、表示窓にどのような表示が出ていますか?
(　　　　　　　　　　　　)

□ B 画面が映らない
「故障かな?と思ったら」の「画像」(77ページ)、「テレビの受信」(78ページ)をもう一度点検してください。

どの映像が映りませんか?
□ 地上デジタル　□ BSデジタル　□ CSデジタル
□ 地上アナログ　□ HDV/DV入力端子
□ 映像/音声入力端子(□ S端子　□ 映像コード)

ケーブルテレビ(CATV)をお使いですか?
□ 使用している　CATV会社名(　　　　　　　　)
□ 使用していない

どのようなコードでテレビに接続されていますか?
□ 映像コード　□ S映像コード　□ D映像コード
□ コンポーネント映像コード　□ HDMI

本機につないであるアンテナケーブルを直接テレビにつないだとき、画面は正常に映りますか?
□ はい　□ いいえ

□ C 番組表が表示されない
「故障かな?と思ったら」の「番組表」(79ページ)をもう一度点検してください。

どの「番組表」が表示されませんか?
□ 地上アナログ放送　□ 地上デジタル放送
□ BSデジタル放送　□ CSデジタル放送

過去に受信したことはありますか?
□ 以前は正常に表示されていた　□ 全く表示した事がない

放送は受信できていますか?
□ 地上アナログ放送　□ 地上デジタル放送
□ BSデジタル放送　□ CSデジタル放送

ケーブルテレビ(CATV)をお使いですか?
□ 使用している　□ 使用していない
ケーブルテレビ局名(　　　　　　)

「設定」—「放送受信設定」—「Gガイド設定」—「番組表取得設定」で「取得チャンネル」を変えたことがありますか?
□ はい　□ いいえ　□ わからない

□ D 録画ができない(お知らせメールをご覧ください)
「故障かな?と思ったら」の「録画・予約・ダビング」(80ページ)をもう一度点検してください。

どの場合に症状が起きますか?
□ HDDへ録画　□ DVDへ録画
□ HDDからDVDへダビング
□ DVDからHDDへダビング
□ HDV/DV入力端子からのダビング(□ DVDへ　□ HDDへ)

DVDへ録画/ダビングの場合、どのディスクで起きますか?
□ DVD-R　□ DVD+R　□ DVD-RW　□ DVD+R DL
□ DVD+RW　□ その他　□ CPRM対応
ディスクメーカー名(　　　　　　)　倍速(　　)

→ 次頁へつづく

→ D 録画ができない(つづき)

DVDへ録画/ダビングの場合、どのようなディスクをお使いですか?
☐ 新品　☐ 本機で録画したディスク
☐ 他の機器で録画したディスク　☐ パソコンで録画したディスク
機種名を教えてください。(　　　　　　　　　　)

どのような症状ですか?
☐ まったく録画出来ない　☐ 録画できるが途中で止まる
☐ 録画できたが再生できない
☐ その他(　　　　　　　　　　)

どの録画ができませんか?
☐ 地上アナログ放送　☐ 地上デジタル放送
☐ BSデジタル放送　☐ CSデジタル放送
☐ 本機の入力端子につないだ他機からの録画
(☐ 入力1　☐ 入力2　☐ HDV/DV)
☐ その他(　　　　　　　　　　)

どの録画モードで症状が起きますか? (複数チェック可)
☐ DR　☐ HQ　☐ HSP　☐ SP　☐ LSP
☐ LP　☐ EP　☐ SLP　☐ SEP

録画はどのようにして行いましたか?
☐ 予約録画(☐ 番組表　☐ 日時指定)
☐ 手動録画(☐ 本体ボタン　☐ リモコンボタン)
☐ おまかせ･まる録
☐ ダビング(☐HDD⇒DVD ☐DVD⇒DVD ☐HDV/DV)

画面、表示窓にどのような表示が出ていますか?
(　　　　　　　　　　)

☐ E 再生ができない

「故障かな?と思ったら」の「再生」(81ページ)をもう一度点検してください。

どのような症状が起きますか? (複数チェック可)
☐ 画像が出ない　☐ 音声が出ない
☐ 途中で止まる　☐ メッセージは出る

症状が起きるタイトル数は?
☐ 1タイトル　☐ 数タイトル　☐ 全タイトル

どちらで症状が起きますか? (複数チェック可)
☐ HDD　☐ DVD　☐ HDV/DV

DVDの場合、どのディスクで起きますか?
☐ DVD-R　☐ DVD+R　☐ DVD-RW　☐ DVD+R DL
☐ DVD+RW　☐ 音楽CD　☐ DVDソフト
☐ CD-R　☐ 8cmDVD　☐ その他(　　　　　　)

DVDの場合、どの機器で録画したディスクですか?
☐ 本機で録画したディスク
☐ 他の機器で録画したディスク
☐ パソコンで録画したディスク
(ソフト名:　　　　　　　バージョン名:　　　　)

ディスクのタイトル名を教えてください。〈具体的に〉
(　　　　　　　　　　)

書き込みされたディスクのメーカー名を教えてください。
(　　　　　　　　　　)

☐ F リモコンが働かない

「故障かな?と思ったら」の「リモコン」(82ページ)をもう一度点検してください。

いつ症状が起きますか?
☐ 本機の電源が「切」のとき
☐ 本機の電源が「入」のとき

リモコンのリモコンモードはいくつですか?
☐ DVD1　☐ DVD2　☐ DVD3

本体のリモコンモードはいくつですか?
☐ DVD1　☐ DVD2　☐ DVD3

本体のボタンで操作はできますか?
☐ はい　☐ いいえ

電池を交換した後、症状は改善されましたか?
☐ はい　☐ いいえ

3 その他お気付きの点がございましたら、症状をご記入ください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合が悪いときはお客様ご相談センターへ

「ハイビジョン「スゴ録」点検シート」（84、85ページ）にご記入の上、お客様ご相談センターへご相談ください（裏表紙）。
BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）に問い合わせてください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではDVDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ソフトウェアアップデートについて

本機には、内部ソフトウェアを自動的にアップデートして更新する機能が搭載されています。ソフトウェアはデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。
お買い上げ時は、本機がアップデートを自動で行う設定になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新版に書き換えられたソフトウェアで、本機をお使いいただけます。

次の2つの条件を満たしていれば、アップデートが行われます

条件1：BSデジタルの「受信レベル」が「20以上」になっている。または地上デジタルを安定して受信できている（➡「接続・準備編」の「地上デジタル放送の設定をする」－「受信状態を確認する［アンテナレベル表示］」）。

条件2：［ソフトウェアアップデート］が［自動］（お買い上げ時の設定）になっている（➡「接続・準備編」の「本体の設定をする」－「ソフトウェアのバージョンを自動更新する［ソフトウェアアップデート］」）。

データのダウンロードの実行

データのダウンロードは自動で行われます。

アップデート（ソフトウェア更新）の実行

ソフトウェア更新用のデータが正常に取得された状態で、本機の電源を切ったときにソフトウェアの更新が自動的に開始されます。
アップデート中は、表示窓に「VERSION UP」が点灯し、HDDランプとDVDランプが同時に点滅します。

アップデートが正常に終了すると

「アップデート終了のお知らせ」のメールが届きます。

ソフトウェアアップデートについてのQ＆A

「1回目の信号でうまくダウンロードできなかったら？」
ご安心ください。ソフトウェア更新用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

「電源コードを抜いておくとアップデートできないの？」
電源コードが抜かれていた場合は、アップデートは行われません。

「アップデート中に電源コードを抜くとどうなるの？」
アップデート中は、電源コードを抜かないでください。アップデートの中断により、ソフトウェアの更新が途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

「アップデートによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの？」
ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

i.LINK（アイリンク）について

本機のデジタルビデオカメラ用i.LINK端子はi.LINKに準拠したデジタルビデオカメラ用HDV/DV入力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ちょっと一言

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

ご注意

- i.LINKは、すべての対応機器での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機は、ソニー製HDV/DVビデオカメラレコーダーと接続できます（DCR-VX1000/DCR-VX700/DHR-1000は対象外）。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100Mbps*）
S200（最大転送速度　約200Mbps）
S400（最大転送速度　約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

本機のi.LINK端子は入力専用です。また、本機のi.LINK端子（DVC-SD方式）は、MICROMV方式のデジタルビデオカメラのi.LINK端子（MICROMV信号）、および地上デジタルハイビジョンテレビ、地上デジタルチューナー、BSデジタルハイビジョンテレビ、BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナーやD-VHSデッキのi.LINK端子（MPEG-TS信号）とは信号が異なるため、接続できません。使用方法および、接続の際のご注意については70ページをご覧ください。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションの有無などについては、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。
4ピン ←→ 4ピン（HDV/DVダビング時）

i.LINKはIEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINK、i™は商標です。

主な仕様

システム

形式 DVDレコーダー
受信チャンネル 地上デジタルチューナー：UHF、CATV
地上アナログチューナー：
VHF：1 ～ 12ch、UHF：13 ～ 62ch
CATV地上アナログチューナー：13 ～ 63ch
BS・110度CSデジタルチューナー：
1022 ～ 2072MHz
映像受信方式 周波数シンセサイザー方式
音声受信方式 スプリットキャリア方式
アンテナ入出力 地上波：VHF/UHF1軸、75Ω F型コネクター
BS/110度CS-IF：75Ω F型コネクター
（コンバーター用電源出力DC15V/11V 最大4W、芯線側＋、メニューにて電源連動入/切を切り換え）
タイマー 時計方式：クォーツクロック、12時間デジタル表示
停電補償時間：約1時間
映像圧縮方式 MPEG
音声圧縮方式/ビットレート
Dolby Digital（256kbps/128kbps（SEPモード時））
MPEG-2 AAC（DRモード時）

入・出力端子

映像入力 入力1、入力2（前面）の2系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
映像出力 出力1、出力2の2系統、ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
S映像入力 入力1、入力2（前面）の2系統、4ピンミニDIN
輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω
色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
S1映像出力 出力1、出力2の2系統、4ピンミニDIN
輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω
色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
音声入力 入力1、入力2（前面）の2系統、ピンジャック
入力レベル：2 Vrms（入力インピーダンス：22 kΩ以上）
音声出力 出力3系統、ピンジャック
出力レベル：2 Vrms（負荷インピーダンス：10 kΩ）
デジタル音声出力 光：角型光ジャック1系統/-18 dBm（発光波長660 nm）
同軸：ピンジャック1系統/0.5 Vp-p/75 Ω
コンポーネント映像出力
ピンジャック/Y：1.0 Vp-p/75 Ω、PB/CB：0.7 Vp-p/75 Ω、PR/CR：0.7 Vp-p/75 Ω
D1/D2/D3/D4映像出力
D端子/Y：1.0 Vp-p/75 Ω、
PB/CB：0.7 Vp-p/75 Ω、
PR/CR：0.7 Vp-p/75 Ω
HDV/DV入力 i.LINK 4ピン S100 HDV/DV IN 1系統
HDMI出力 タイプA（19ピン）
電話回線端子 モジュラージャック
LAN端子 10BASE-T/100BASE-TXコネクター
（ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）

電源、その他

電源 AC100 V、50/60 Hz
消費電力 68 W
許容動作温度 5 ℃～ 35 ℃
許容動作湿度 25 %～ 80 %
最大外形寸法 430 × 95 × 387.5 mm（幅×高さ×奥行き）最大突起含む
ハードディスク容量 250ギガバイト
本体質量 約6.9kg
付属品 B-CASカード（1）
映像・音声コード（1）
電源コード（1）
VHF/UHF用アンテナ接続ケーブル（1）
リモコン（1）
単3形（R6）乾電池（2）
テレホンコード（1）
モジュラーテレホンコードカプラー（1）

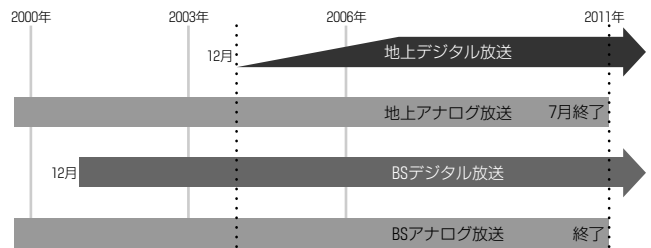
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。
Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。
また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

- HDMI、HDMI、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Interface LLCの商標または、登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSおよびDTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ“ ”は商標です。
- “XMB”、“xross media bar”および“ ”は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

用語解説

五十音順

インターレース（飛び越し走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方法。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっている。

オリジナルタイトル
HDDやDVD-RW（VRモード）に実際に録画したそのままのタイトル。オリジナルのタイトルを消去するとHDDやDVDの空きが増える。

ガイドチャンネル
ジェムスター社が各放送局に割り当てている識別番号。

緊急警報放送
地上デジタル、BSデジタルの標準テレビ信号のマルチ放送を利用した放送。
緊急警報放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがある。

降雨対応放送
激しい雨による映像·音声の遮断を防ぐために、通常の放送に並行して、降雨に強い方式で同じ番組を送るもの。
本機では、お買い上げ時、番組によって降雨対応放送に自動的に切り換わるように設定されている。
降雨対応放送は、画質や音質が通常の放送に比べ低下する。

コピー防止信号
複製防止機能のこと。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトや放送番組を録画することができない。

視聴年齢制限
国·地域ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限するDVDの機能。制限のしかたはDVDによって異なり、まったく再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、別の場面に差し換えて再生する場合などがある。

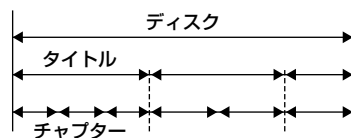
字幕放送
画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送。
本機では、字幕を入/切したり、字幕の言語を切り換えたりできる。

受信チャンネル
本機が放送局を受信したときのチャンネル。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じ。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定される。

タイトル
HDDやDVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたる。
本機で録画された番組などの映像のこともタイトルと呼んでいる。

地上デジタル
2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送。UHFの周波数帯域を利用して送信される。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質·高音質で楽しめる。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送などがある。

デジタルハイビジョン信号（HD）
デジタル放送の画像方式で、1125iと750pがあり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめる。

チャプター
HDDやDVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないタイトルもある。

トラック
ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）。

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズの開発した音声の圧縮技術。マルチチャンネル·サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができる。

ハードディスク
大容量データ記憶装置のひとつ。表面に磁性体を塗った平らな円盤（ディスク）を回転させ、それに磁気ヘッドを近づけてデータを記憶する。磁気ディスクと駆動機構が一体になっているため、非常に高速で読み書きすることができ、データの検索性にすぐれている。

表示チャンネル
本機で放送局を選ぶとき表示されるチャンネル。変更することもできる。

標準テレビ信号（SD）
デジタル放送の画像方式で、525pと525iがあり、525iは地上アナログと同等の画質。

プレイリストタイトル
HDDやDVD-RW（VRモード）に録画したタイトルをもとに作る仮想映像。オリジナルのタイトルはそのままで、再生順をコントロールするための情報のみを持つ。プレイリストを消去してもオリジナルに影響はなく、HDDやDVDの残量が少ないときでも新しくタイトルを作って、編集を楽しむことができる。

プログレッシブ（順次走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方法。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対して、はじめから1秒を60フレームで構成することで高品質な映像を再現できる。

臨時放送
地上デジタルやBSデジタルの標準テレビ信号のマルチチャンネル放送を利用した放送。
同じ放送局の別のチャンネルで、臨時放送を行う。

次のページにつづく⇨

アルファベット順/数字順

AAC
デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式。「アドバンスド・オーディオ・コーディング(Advanced Audio Coding)」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現する。

B-CASカード(デジタル放送用ICカード)
プラスチック・カードに集積回路を埋め込んだもの。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記憶される。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信される。

BSデジタル
2000年12月から始まった、放送衛星(BS)によってデジタル信号で映像や音声を流す放送。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめる。くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがある。

D映像信号
D端子付きテレビと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。D端子には対応する信号フォーマットによってD1、D2、D3、D4端子がある。
- D1端子:525i(480i)の信号
- D2端子:525i(480i)と525p(480p)の信号
- D3端子:525i(480i)と525p(480p)と1125i(1080i)の信号
- D4端子:525i(480i)と525p(480p)と1125i(1080i)と750p(720p)の信号

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DTS
デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができる。

EPG
「エレクトロニック・プログラム・ガイド(Electronic Program Guide)」の略で、放送局から送信される番組表(タイトルや番組説明、放映時間など)のこと。

GB
ギガバイトと読む。HDDやDVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量となる。

HDMI(High-Definition Multimedia Interface)
パソコン用ディスプレイなどで使用されているDVI(Ditital Visual Interface)規格を拡張した次世代テレビ向けのデジタルインターフェース規格。映像と音声を1つのケーブルで、信号がデジタルのまま、劣化することなく伝送できる。
デジタル画像信号の暗号化記述を使用した著作権保護技術であるHDCPにも対応している。

HDV(HDV規格)
DVカセットにハイビジョン映像の記録・再生ができるように開発されたビデオ方式のこと。本機では、有効走査線数1080本のインターレース方式(1080i方式)の信号に対応している。
HDV規格の記録機能を搭載したデジタルビデオカメラとi.LINKで接続すれば、撮影したハイビジョン映像を、そのままの画質で、HDDにダビングすることができる。

PPV(ペイ・パー・ビュー)
「見るたびに支払う」という意味で、1回視聴するごとに購入する番組のこと。

110度CSデジタル放送
2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめる。文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがある。

5.1ch(チャンネル)
左フロント、右フロント、センター、左リア、右リアの5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式。
本機の光デジタル音声出力端子に5.1ch対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドの音声を楽しめる。

各部の名前

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。
*のボタンには凸(突起)がついています(チャンネル＋/－ボタンは「＋」のみ)。操作の目印としてお使いください。
各部の説明は(　)内のページをご覧ください。

本体前(上)面

1 I/⏻(電源)ボタン(➡「接続・準備編」の「[準備9]かんたん初期設定をする」)
2 HDD TIMER(タイマー)ランプ(34)
3 ディスクトレイ(13)
4 Ⓡ(リモコン受光部)(➡「接続・準備編」の「[準備7]リモコンを準備する」)
5 ⏏(開/閉)ボタン(13)
6 ▷(再生)ボタン*(46)
❚❚(一時停止)ボタン(46)
■(停止)ボタン(44)
7 REC●(録画)ボタン(28)
REC PAUSE❚❚(録画一時停止)ボタン(29)
REC STOP■(録画停止)ボタン(29)
8 HDDボタン/ランプ(28)
DVDボタン/ランプ(28)
9 REC MODE(録画モード)ボタン(28)
10 HDV/DV入力端子(➡「接続・準備編」の「[準備4]ビデオやAVアンプをつなぐ」)
11 LINE 2 IN(入力2) 端子(➡「接続・準備編」の「[準備4]ビデオやAVアンプをつなぐ」)
12 ⏮/⏭(前/次)ボタン(46)
13 HOME(ホーム)ボタン(3)
↑↓←→(3)
ENTER(決定)ボタン(3)
OPTION(オプション)ボタン(3)
RETURN(戻る)ボタン(3)
14 DVD TIMER(タイマー)(34)
15 表示窓(95)
16 INPUT SELECT(入力切換)ボタン(➡「接続・準備編」の「[準備7]リモコンを準備する」)
CHANNEL(チャンネル)＋/－ボタン*(➡「接続・準備編」の「[準備3]CATVや別売りのチューナーをつなぐ」)
D1/D2/D3/D4切換ボタン(➡「接続・準備編」の「[準備3]CATVや別売りのチューナーをつなぐ」)
17 B-CASカード挿入口(➡「接続・準備編」の「[準備8]デジタル放送用ICカード(B-CASカード)を入れる」)
18 RESET(リセット)ボタン(83)

その他

次のページにつづく⇨

本体後面

1 地上デジタル 入力/出力端子
(➡「接続・準備編」の「[準備1]テレビのアンテナをつなぐ」)

2 BS/110度CS IF 入力/出力端子
(➡「接続・準備編」の「[準備1]テレビのアンテナをつなぐ」)

3 入力1 音声/映像/S映像端子
(➡「接続・準備編」の「[準備3]CATVや別売りのチューナーをつなぐ」)

4 コンポーネント映像出力
Y、PB/CB、PR/CR 端子
(➡「接続・準備編」の「[準備2]映像・音声コードをつなぐ」)

5 VHF/UHF 入力/出力端子
(➡「接続・準備編」の「[準備1]テレビのアンテナをつなぐ」)

6 電源入力端子
(➡「接続・準備編」の「[準備6]電源コードをつなぐ」)

7 音声出力端子(➡「接続・準備編」の「[準備2]映像・音声コードをつなぐ」)

8 D1/D2/D3/D4映像出力端子(➡「接続・準備編」の「[準備2]映像・音声コードをつなぐ」)

9 出力1 音声/映像/S1映像端子
(➡「接続・準備編」の「[準備2]映像・音声コードをつなぐ」)

10 出力2 音声/映像/S1映像端子
(➡「接続・準備編」の「[準備2]映像・音声コードをつなぐ」)

11 デジタル音声出力 同軸/光端子
(➡「接続・準備編」の「[準備4]ビデオやAVアンプをつなぐ」)

12 LAN10/100端子
(➡「接続・準備編」の「[準備5]電話回線やネットワークにつなぐ」)

13 電話回線端子
(➡「接続・準備編」の「[準備5]電話回線やネットワークにつなぐ」)

14 HDMI出力端子
(➡「接続・準備編」の「[準備2]映像・音声コードをつなぐ」)

本体表示窓

1 HDMI表示(➡「接続・準備編」の「[準備2]映像・音声コードをつなぐ」

2 D映像出力表示(➡「接続・準備編」の「[準備2]映像・音声コードをつなぐ」

3 DVD/CD表示(種類、記録フォーマット)

4 ANGLE(アングル)表示

5 STEREO/BILINGUAL(ステレオ/音声多重)表示

6 番組表受信表示

7 お知らせ(メール)表示(➡「接続・準備編」の「お知らせを見る[お知らせ]」)

8 リモコンモード表示(➡「接続・準備編」の「[準備7]リモコンを準備する」)

9 STREAM(ストリーム)表示(➡「接続・準備編」の「音声の設定をする[音声設定]」)
HDV/DV端子からHDVのストリーム信号の入力があることを表示します。

10 音声信号表示(➡「接続・準備編」の「音声の設定をする[音声設定]」)

11 通信表示
LANや電話回線で通信中であることを表示します。

12 主に以下の情報を表示します。
タイトル/チャプター/トラック番号表示(49)
再生経過時間/残量時間表示(44)
録画時経過時間表示(28)
録画モード(28)
ダビング時残り時間表示(62)
現在時刻表示
BSチャンネル表示
チャンネル表示

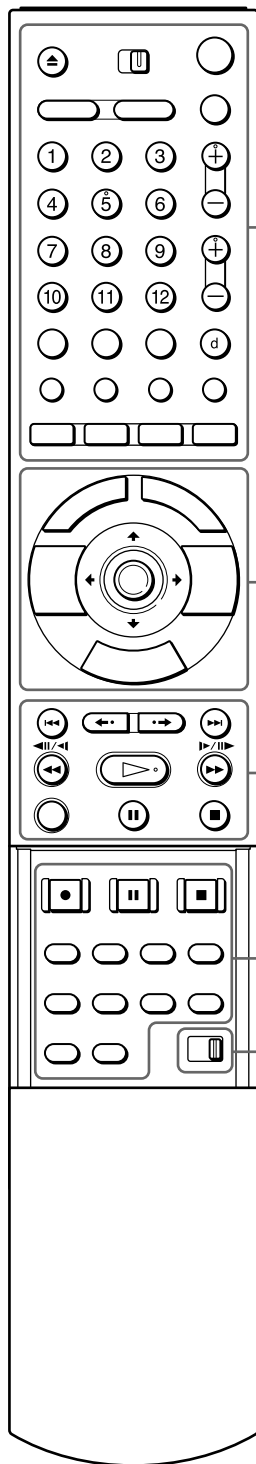
13 HDD/DVD表示
それぞれのディスクの再生/録画動作を表示します。

ちょっと一言

表示窓の明るさを設定することができます。
(ツールボックス)の[本体設定]で[表示窓の明るさ]を選んでください(➡「接続・準備編」の「本体の設定をする」)。

その他

リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。

A 表示切り換え・テレビ操作部

開/閉	**開/閉**（13）
TV DVD	**TV/DVDスイッチ**（➡「接続・準備編」の「[準備7]リモコンを準備する」）
電源	**電源**（➡「接続・準備編」の「[準備7]リモコンを準備する」）
HDD	**HDD**（28）
DVD	**DVD**（28）
入力切換	**入力切換**（➡「接続・準備編」の「[準備7]リモコンを準備する」）
①～⑫	**数字ボタン***（15、25、49、75）
チャンネル ＋／－	**チャンネル＋/－***（15）
音量 ＋／－	**音量＋/－**（➡「接続・準備編」の「[準備7]リモコンを準備する」）
10キー	**10キー**（75）
クリア	**クリア**（75）
番組説明	**番組説明**（15）
連動データ d	**連動データ**（15）
青 赤 緑 黄	**カラーボタン**（15、19、75）
アナログ デジタル BS CS	**放送切換**（**地上アナログ/地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタル**）（14）

B 画面操作部

番組表	**番組表**（16）
画面表示	**画面表示**（➡「接続・準備編」の「[準備7]リモコンを準備する」）
戻る	**戻る**（3）
↑↓←→/決定	**↑↓←→/決定**（3）
オプション	**オプション**（3）
ホーム	**ホーム**（3）

C 再生操作部

フラッシュ	**フラッシュ＋/－**（46）
前 次	**前/次**（46）
◀II/◀I I▶/II▶	**早送り/早戻し、コマ送り/コマ戻し、スロー**（46）
▷	**再生***（45）
II	**一時停止**（46）
■	**停止**（44）
○	**ワープ**（49）

D 録画・DVD・テレビ操作部

録画	**録画**（28）
録画一時停止	**録画一時停止**（29）
録画停止	**録画停止**（29）
録画モード	**録画モード**（28）
映像切換	**映像切換**（24）
音声切換	**音声切換**（24）
字幕切換	**字幕切換**（24）
トップメニュー	**トップメニュー**（46）
メニュー	**メニュー**（46）
リターン	**リターン**（46）
時間表示	**時間表示**
書込み	**チャプター書込み**（50）
消去	**チャプター消去**（50）

E リモコンモード

リモコンモード DVD 1 2 3	**リモコンモードスイッチ**（➡「接続・準備編」の[準備7]リモコンを準備する） お買い上げ時は「DVD3」に設定されています。

*のボタンには凸(突起)がついています(数字ボタンは「5」のみ、チャンネル＋/－ボタンの「＋」のみ)。操作の目印としてお使いください。

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

アルファベット/数字順

その他